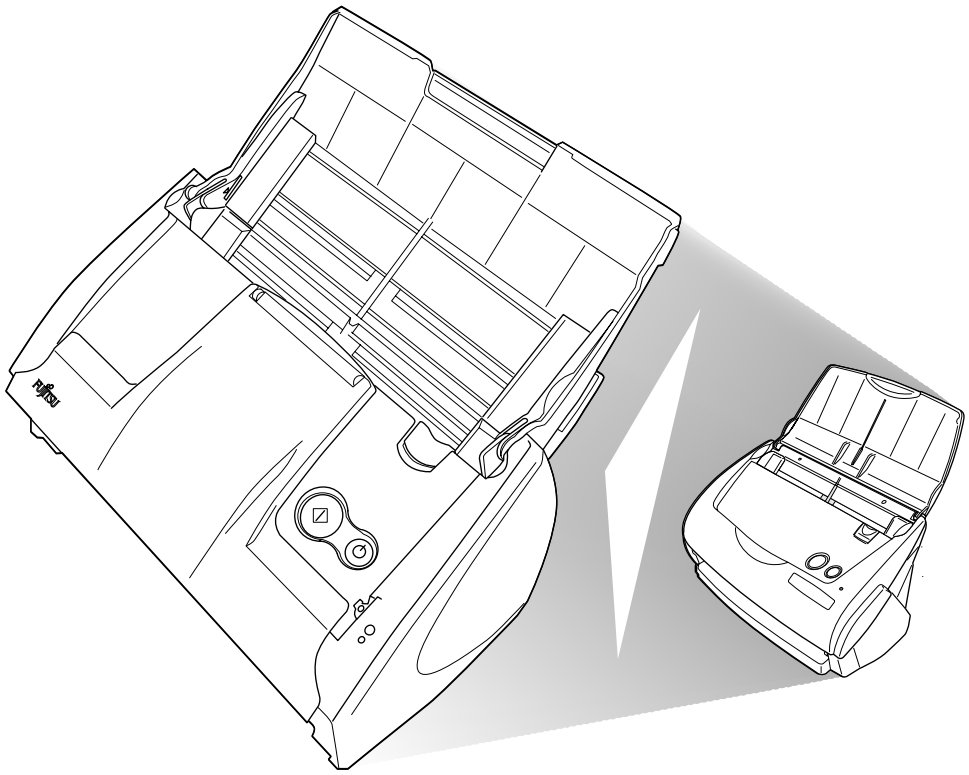
P3PC-1872-01Z0

ScanSnap

アップグレード

ユーザーズガイド



FUJITSU

目　次

1. はじめに 1

1.1. 梱包内容 5
1.2. 動作環境 5

2. インストール方法 6

2.1. ABBYY FineReader for ScanSnap のインストール 7
2.2. ScanSnap アップグレードのインストール 10

3. ScanSnap の新しい機能について 16

3.1. 追加される機能について 16
3.2. 各機能の設定方法 18
3.2.1. 右クリックメニュー 18
3.2.2. 左クリックメニュー 19
3.2.3. 読み取りと保存に関する設定 20
3.3. 読み取り設定の保存・管理について 37
3.3.1. 読み取り設定の登録 37
3.3.2. 読み取り設定の使用 40
3.3.3. 読み取り設定の変更 41
3.3.4. 読み取り設定の名前変更 43
3.3.5. 読み取り設定の削除 45
3.4. クイックメニューの使い方 47
3.5. アプリケーションの自動連携について 50
3.5.1. 自動連携モード 50
3.5.2. 自動連携モードの切り替え 52
3.6. オンラインアップデートについて 53

4. 操作の流れについて 55

4.1. 基本的な操作の流れ 56
4.2. クイックメニューモードの読み取り方 58
4.3. 左クリックメニューモードの読み取り方 61
4.4. クイックメニューモードと左クリックメニューモードの機能差 62

5. オフィス機能について 64

5.1. 追加される機能について 64
5.2. 指定したフォルダに保存する 65
5.2.1. クイックメニューモードの場合 67
5.2.2. 左クリックメニューモードの場合 72
5.3. メールに添付して送信する 77
5.3.1. クイックメニューモードの場合 79
5.3.2. 左クリックメニューモードの場合 86
5.4. ScanSnap をコピー機代わりに利用する 93
5.4.1. クイックメニューモードの場合 94
5.4.2. 左クリックメニューモードの場合 99
5.5. Word／Excel 文書に変換する 103
5.5.1. クイックメニューモードの場合 106
5.5.2. 左クリックメニューモードの場合 108
5.5.3. ABBYY FineReader for ScanSnap の設定について 110
5.6. 楽 2 ライブラリと連携する 115
5.6.1. クイックメニューモードの場合 116
5.6.2. 左クリックメニューモードの場合 120
6. A3 キャリアシートについて 123
6.1. 操作の流れ 124
6.2. 読み取りできる原稿 126
6.3. 原稿のセット方法 127
6.3.1. 「見開き画像を出力します」の場合 128
6.3.2. 「表裏の画像をそれぞれ出力します」の場合 131
6.4. A3 キャリアシートの設定方法 134
6.5. A3 キャリアシートの清掃について 140
6.5.1. 清掃方法 140
6.5.2. 清掃用品 140
6.6. 「A3 キャリアシート」のご購入について 141
7. トラブルと対策 142
8. 添付アプリケーションについて 145
問い合わせについて 146

1. はじめに

このたびは、「ScanSnap（スキャンスナップ） アップグレード」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

ScanSnap は、これまで、fi-4110EOX シリーズ → fi-5110EOX シリーズ → S500 → S510 と進化を遂げ、そのたびごとに新たな機能や、添付ソフトウェアが追加されてきました。本製品は、ScanSnap fi-5110EOX シリーズおよび ScanSnap S500 をお買い上げいただいたお客さまのために、S510 までに追加されてきた新機能を、お手持ちの ScanSnap で実現するための、機能拡張用プログラムです。
本製品を導入することにより、ScanSnap に新たな機能が追加され、よりいっそう簡単、便利にご使用いただくことができます。（※機種により、拡張される機能が異なります。これは、機種間の仕様の違いにより、実現不可能な機能があるためです。あらかじめご了承ください。）
また、本製品には、以下のソフトウェアが添付されています。

- **名刺ファイリング OCR V2.1**
  ScanSnap で読み取った名刺の文字を認識して、データとして管理するためのアプリケーションです。
- **ScanSnap Organizer V3.1**
  ScanSnap で読み取った画像を、閲覧、整理するためのアプリケーションです。
- **ABBYY FineReader for ScanSnap™ 3.0**
  ScanSnap で読み取った画像を、Word/Excel 文書に変換するためのアプリケーションです。

併せてご利用ください。
（※機種によっては、既に製品に添付されている場合があります。 お買い上げの製品に添付されている取扱説明書あるいは、スタートアップガイド、オペレーターガイドでご確認ください。）

なお、本書では、ScanSnap アップグレードのインストール方法や、ScanSnap に新たに追加される機能について説明しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

商標および登録商標について

ScanSnap および ScanSnap ロゴは、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Word および Excel は、米国 Microsoft Corporation の製品です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。

その他、本書に記載されている社名や商品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

ABBYY™ FineReader™ 7.x Engine © ABBYY Software House 2005.

OCR by ABBYY Software House. All rights reserved.

ABBYY, FineReader are trademarks of ABBYY Software House.

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

Windows 2000	：	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP	：	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版（32 ビット版） Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows Vista	：	Microsoft® Windows Vista™ Home Basic operating system 日本語版（32 ビット版） Microsoft® Windows Vista™ Home Premium operating system 日本語版（32 ビット版） Microsoft® Windows Vista™ Business operating system 日本語版（32 ビット版） Microsoft® Windows Vista™ Enterprise operating system 日本語版（32 ビット版） Microsoft® Windows Vista™ Ultimate operating system 日本語版（32 ビット版）
Windows	：	Windows 2000、Windows XP および Windows Vista
Internet Explorer	：	Microsoft® Internet Explorer
Adobe Acrobat	：	Adobe® Acrobat® 本書では、本製品に添付されている Adobe Acrobat の使用を前提にして説明しております。特に指定がない場合は、本製品に添付されている Adobe Acrobat のことを指します。 また、本製品に添付されている Adobe Acrobat は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。 本書の説明が実際の画面と異なる場合は、「Acrobat のヘルプ」を参照してください。
ABBYY FineReader for ScanSnap	：	ABBYY FineReader for ScanSnap™

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

複製についてのご注意

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となります。処罰の対象となりますので、おやめください。

紙幣などの偽造防止について

紙幣、有価証券などを、スキャナを使用してプリンタで不正に印刷すると、その印刷物の使用の如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法　第148条、第149条、第162条

通貨及証券模造取締法　第1条、第2条など

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

製造元・販売元

株式会社 PFU
〒212-8563
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 （ソリッドスクエア東館）
TEL: 044-540-4538

本書で使用している記号について

本書では、説明中に以下の記号を使用しています。

特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。

操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。
また、表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、実際の画面にしたがって操作してください。

本書では、Windows XP の画面を使って説明しています。お使いのオペレーティングシステム（OS）によっては、表示される画面および操作が異なる場合があります。

1.1. 梱包内容

本パッケージには以下のものが梱包されております。

・ScanSnap アップグレード CD-ROM　1 枚
・ABBYY FineReader for ScanSnap CD-ROM　1 枚
・A3 キャリアシート　1 枚
・インストールガイド　1 枚

1.2. 動作環境

「ScanSnap アップグレード」をインストールして、ScanSnap を使用するには、以下の環境が必要です。

コンピュータ	CPU	Intel® Pentium® Ⅲプロセッサ 600MHz 以上 （Intel® Pentium® 4 プロセッサ 1.8GHz 以上を推奨）
	メモリ	Windows 2000/Windows XP の場合 128MB 以上（256MB 以上を推奨） ※「読み取りモードの選択：」を「エクセレント」で使用する場合は、512M バイト以上を推奨 Windows Vista の場合 512MB 以上
	ディスク容量	・ ScanSnap アップグレード ScanSnap Manager 280MB ScanSnap Organizer 320MB 名刺ファイリング OCR 120MB ※インストール時には、OS がインストールされているドライブに、上記以外に 720MB 以上の空きディスク容量が必要です。 ・ ABBYY FineReader for ScanSnap 270MB
オペレーティング システム（OS）		・ Windows® 2000 Professional ・ Windows® XP (Service Pack 1 以降) ・ Windows Vista™ Home Basic / Home Premium / Business / Enterprise / Ultimate ※ すべて日本語版および、32 ビット版です。
スキャナ装置		・ ScanSnap fi-5110EOX ・ ScanSnap fi-5110EOX2 ・ ScanSnap fi-5110EOX3 ・ ScanSnap S500

※ ScanSnap Manager および ScanSnap Organizer のタイムスタンプ、検索、パスワード機能は、Adobe Acrobat の機能を使用しています。Windows Vista でこれらの機能を使用する場合は、Windows Vista に対応した Adobe Acrobat の版数を適用してからご使用ください。
Windows Vista に対応していない版数の Adobe Acrobat をご使用の場合は、タイムスタンプ、検索、パスワード機能は動作保証外となります。
アドビ システムズ社より Adobe Acrobat の Windows Vista 対応が正式発表され次第、ScanSnap も正式対応とさせていただきます。対応につきましては、ScanSnap ホームページ（http://scansnap.fujitsu.com/jp/）にて発表いたします。

2. インストール方法

この章では、「ABBYY FineReader for ScanSnap」および「ScanSnap アップグレード」のインストール方法について説明します。

- あらかじめ、お使いのパソコンに、旧バージョンの ScanSnap Manager がインストールされていることを確認してください。「ScanSnap アップグレード」は、旧バージョンの ScanSnap Manager がインストールされていないパソコンにはインストールできません。
- 管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- インストール前にユーザーの切り替えを行う必要がある場合は、再起動してください。
- 実行している他のアプリケーションを、すべて終了してください。
- ScanSnap で読み取り中の場合は、読み取りを終了してください。
- OS を Windows Vista™ にアップグレードした後で「ScanSnap アップグレード」をインストールすると、「ドライバモジュールの初期化に失敗しました。」というエラーメッセージが表示される場合がありますが、特に問題ありませんので、そのままインストールを続行してください。

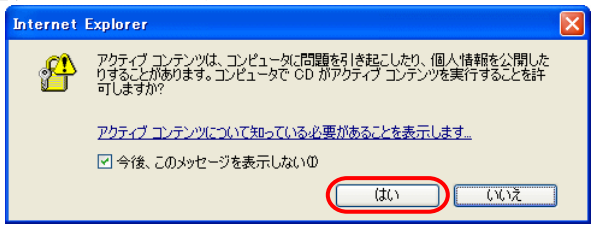
アップグレード後も、これまでに ScanSnap で作成したデータや設定は、すべて、これまで通りご使用いただくことができます。
ただし、Windows Vista™ 環境で「ScanSnap アップグレード」をインストールすると、これまで使用していた ScanSnap の設定がすべて初期化されます。

2.1. ABBYY FineReader for ScanSnap のインストール

1. 「ABBYY FineReader CD」を CD-ROM ドライブにセットします。

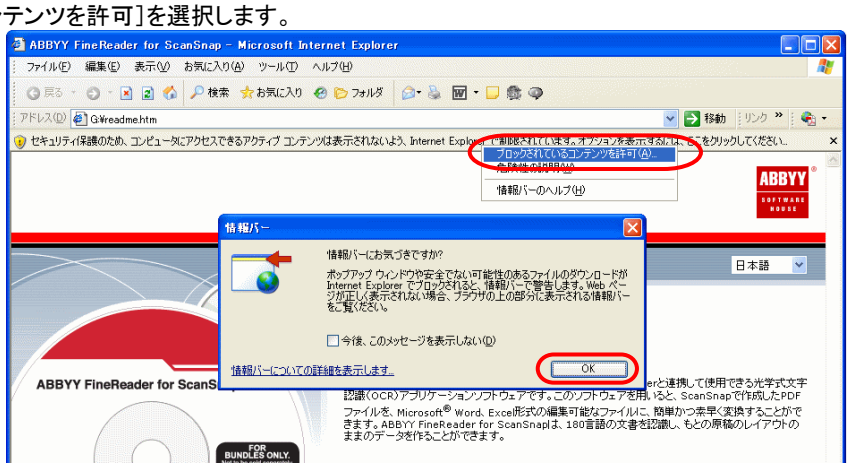
   ⇨ 「ABBYY FineReader for ScanSnap」画面が表示されます。

- Windows XP Service Pack 2 適用済みのパソコンに「ABBYY FineReader CD」をセットすると、以下のメッセージが表示される場合があります。[はい]ボタンをクリックし、「ABBYY FineReader for ScanSnap」画面を表示させてください。

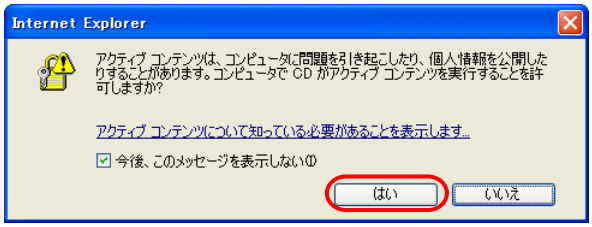


「今後、このメッセージを表示しない」チェックボックスにチェックを入れると、Internet Explorer を起動する CD-ROM がセットされても、上図のメッセージは表示されません。

- 上図のメッセージではなく、「情報バー」が表示される場合があります。その場合は、[OK]ボタンをクリックします。続いて、黄色表示されている警告をクリックし、リストの中から[ブロックされているコンテンツを許可]を選択します。

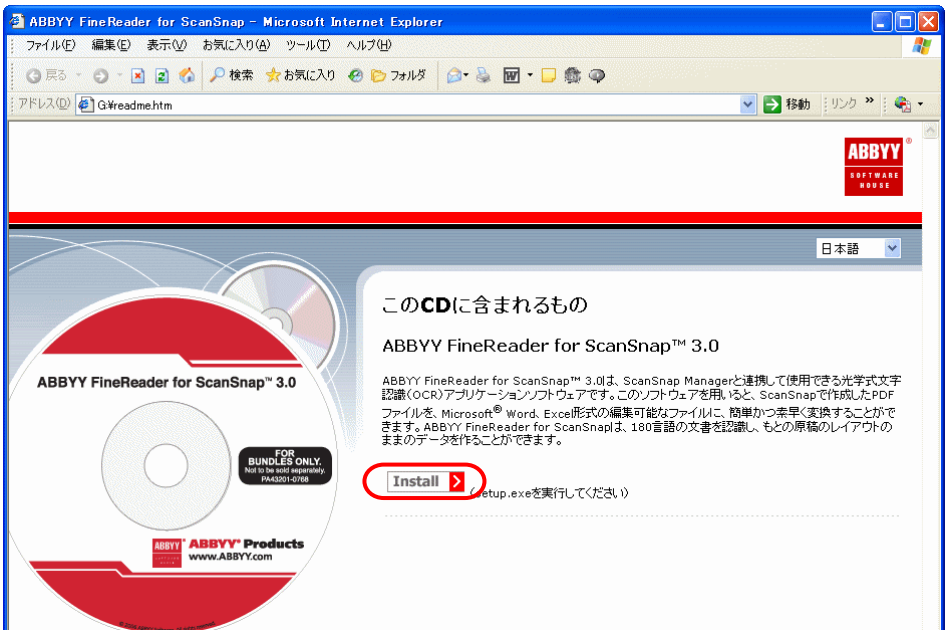


最後に、「セキュリティの警告」ダイアログの[はい]ボタンをクリックします。



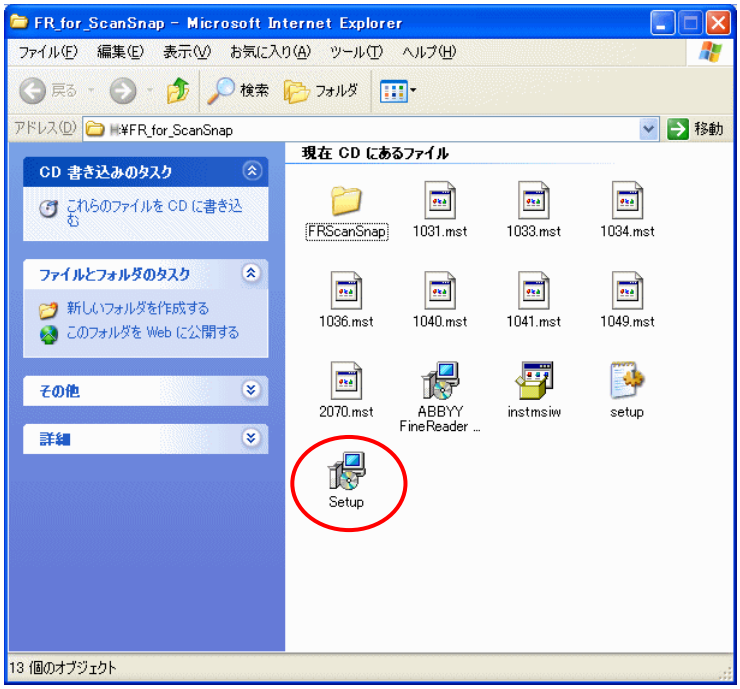
---

2. ［Install>］をクリックして、インストールを開始します。

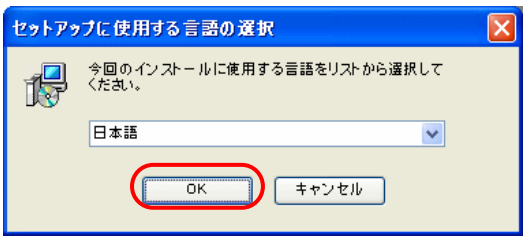


⇨ setup.exe のあるフォルダが表示されます。

3. 「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。



4. 「日本語」を選択し、[OK]をクリックします。



日本語以外を選択してインストールした場合は、サポート対象外となります。必ず、「日本語」を選択してください。

⇨ 「ABBYY FineReader for ScanSnap(TM)3.0 - InstallShield Wizard」が起動します。

5. 画面の指示にしたがってインストールを行います。

以上で、ABBYY FineReader for ScanSnap インストール作業は完了です。引き続き、ScanSnap アップグレードのインストールを行ってください。

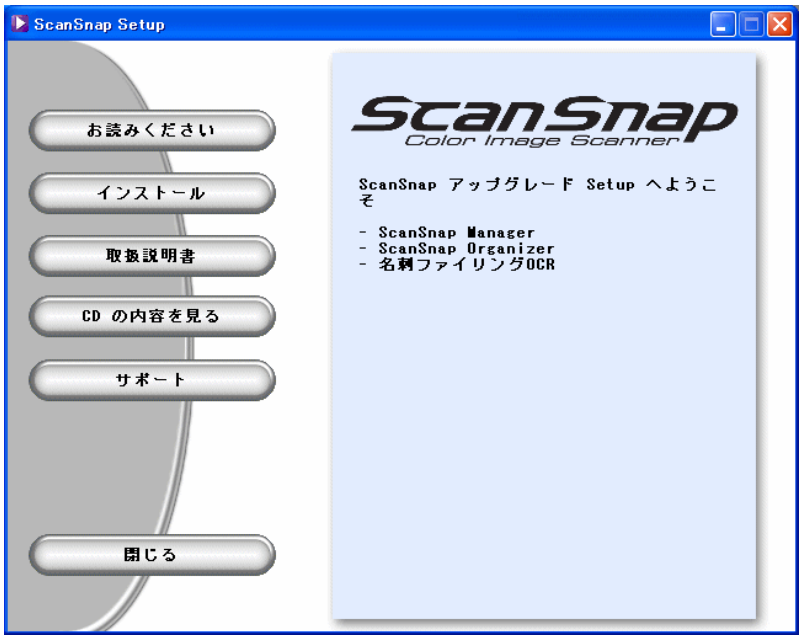
ヒント

ABBYY FineReader for ScanSnap の使い方については、「ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド」をご参照ください。
[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[ABBYY FineReader for ScanSnap (TM) 3.0]→[ユーザーズガイド]の順に選択すると表示されます。

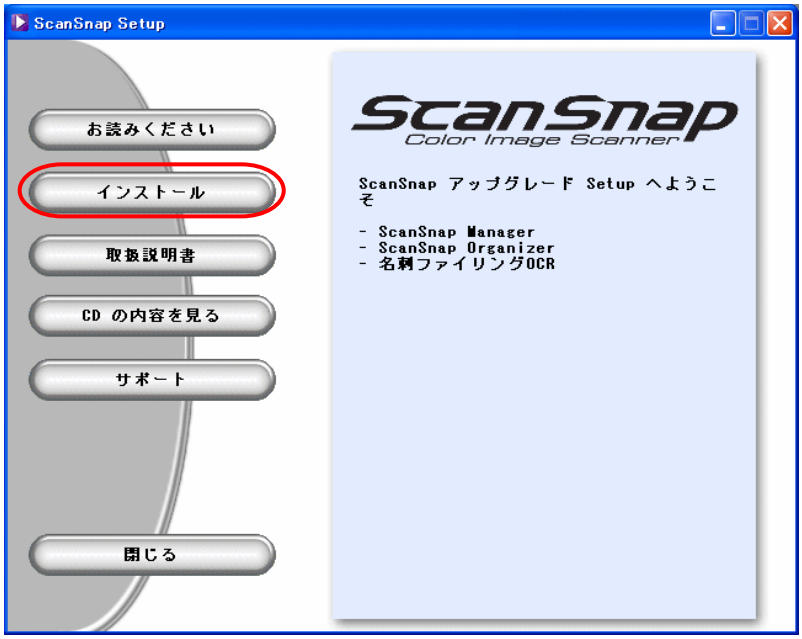
2.2. ScanSnap アップグレードのインストール

1. 「ScanSnap アップグレード CD-ROM」を CD ドライブにセットします。

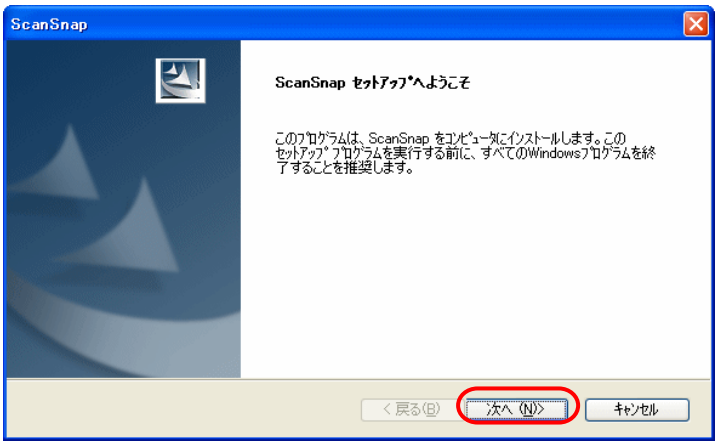
   ⇨ 「ScanSnap Setup」画面が表示されます。



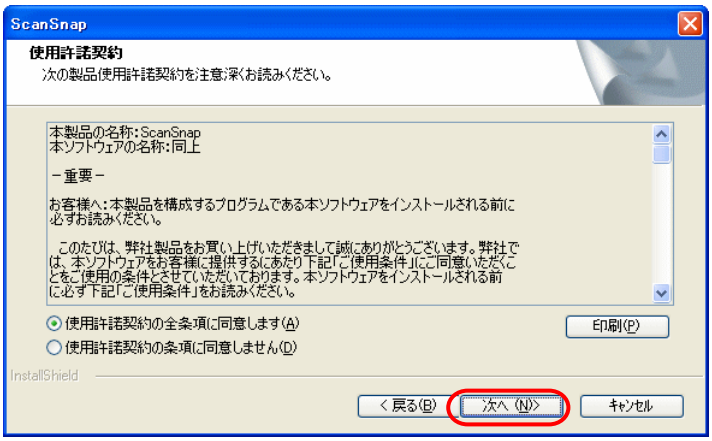
2. 「ScanSnap Setup」画面で、[インストール]ボタンをクリックします。



3. 「ScanSnap セットアップへようこそ」画面で、[次へ]ボタンをクリックします。



4. 「使用許諾契約」画面が表示されるので、内容をよくお読みの上、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、[次へ]ボタンを押してください。



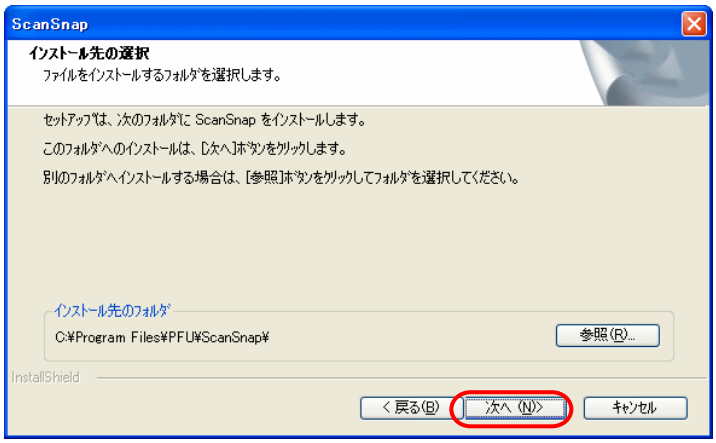
5. **「インストール先の選択」画面が表示されるので、手順 6 でインストールするアプリケーションのインストール先を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。**

表示されているフォルダにインストールする場合は[次へ]ボタンをクリックします。

通常は、インストール先のフォルダを変更する必要はありません。インストール先は、インストール先フォルダのドライブのディスク容量が少ない場合に変更してください。

インストールするフォルダを変更する場合は、[参照]ボタンをクリックします。「フォルダの選択」のダイアログボックスが表示されるので、ここでインストールするフォルダを選択します。

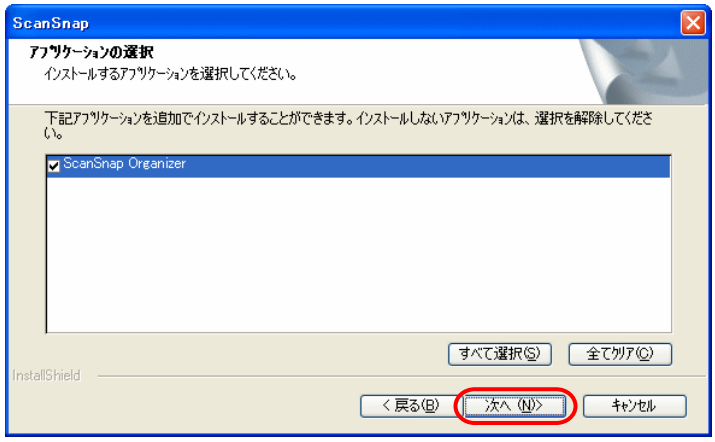
本画面は、ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR の両方またはいずれかがインストールされていない場合に表示されます。どちらも旧バージョンがインストールされている場合は、本画面は表示されませんので、手順 7 へお進みください。



本画面で選択するインストール先は、手順 6 で新規インストールされるアプリケーションに対してのみ適用されます。
既にインストールされているアプリケーションには適用されません。
アップグレードの場合は、既にインストールされているフォルダに上書きインストールされます。

6. **「アプリケーションの選択」の画面で、追加でインストールするアプリケーションを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**

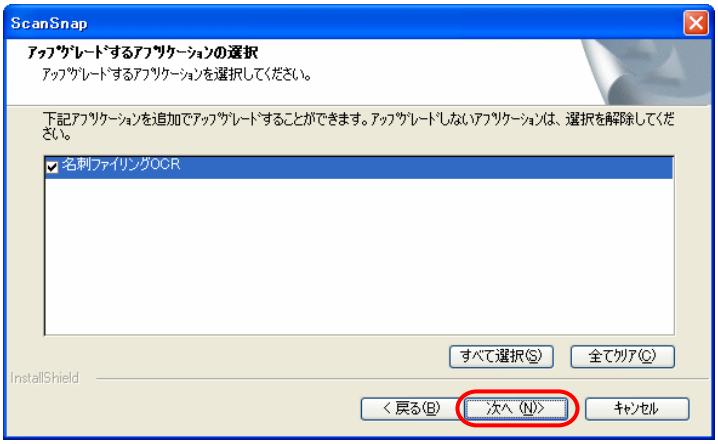
本画面は、ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR の両方またはいずれかがインストールされていない場合に表示されます。どちらも旧バージョンがインストールされている場合は、本画面は表示されませんので、手順 7 へお進みください。



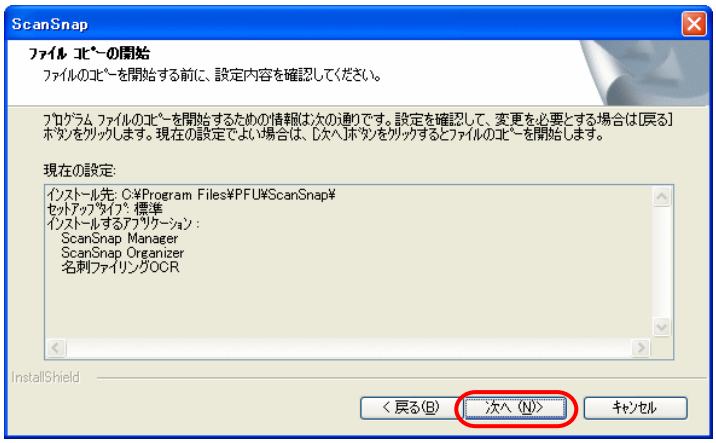
7. **「アップグレードするアプリケーションの選択」の画面で、アップグレードするアプリケーションを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**

本画面は、名刺ファイリング OCR が既にインストールされており、インストールされているバージョンが古い場合に表示されます。ScanSnap Manager と ScanSnap Organizer の場合は、インストールされているバージョンが古い場合、常にアップグレードされるため、本画面には表示されません。

本画面が表示されない場合は、手順 8 へお進みください。

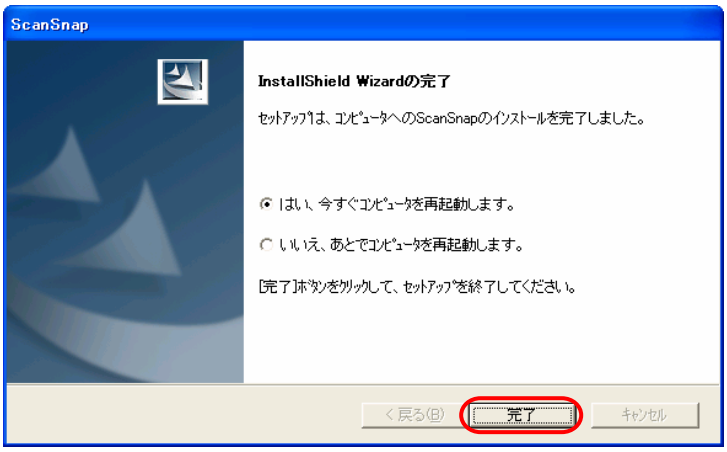


8. 「ファイル コピーの開始」画面が表示されるので、インストールする内容を確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



⇨ ファイルのコピーが開始されます。

9. ファイルのコピーが終了すると、「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されますので、[完了]ボタンをクリックして、インストールを終了します。



ヒント
インストールを完了させるためには、コンピュータの再起動が必要です。

以上で、インストール作業は完了です。

アンインストールについて

- 「ScanSnap アップグレード」は「ScanSnap Manager」の機能の一部としてインストールされます。そのため、ScanSnap Manager をアンインストール（削除）すると、一緒に削除されます。
  「ScanSnap アップグレード」で追加された機能は、単独でアンインストールすることができません。
  「ScanSnap アップグレード」をインストールする前の状態に戻すには、「ScanSnap Manager」をアンインストール後、旧版の「ScanSnap Manager」を再度インストールしてください。
  ScanSnap Manager をアンインストールするには、
  [スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]の順に選択し、リストから、「ScanSnap Manager」を選択して[変更と削除]ボタンをクリックします。
- 添付ソフトウェアは単独でアンインストールできます。
  [スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]の順に選択し、リストから、削除するソフトウェア名を選択してください。

3. ScanSnap の新しい機能について

この章では、ScanSnap アップグレードによって新しく追加される機能について説明します。

- 機能によっては、あらかじめ関連アプリケーションなどをインストールしておく必要がある場合があります。詳しくは、各機能の詳細説明をご覧ください。
- 従来の機能については、装置添付のオペレーターガイドを参照してください。
- ここでは、ScanSnap fi-5110EOX シリーズの画面を使用して説明します。そのため、ご使用の機種によっては、画面が多少異なる場合があります。
- 以降の説明で、各機能名（設定項目名）の右側に、以下のマークが表示されている場合があります。
  fi-5110EOX fi-5110EOX2 fi-5110EOX3 S500
  これらは、アップクレードにより、その項目が追加される機種を示しています。
  特にマークが表示されていない場合は、すべての機種が対象となります。

3.1. 追加される機能について

ScanSnap アップグレードをインストールすると、「ScanSnap Manager」に以下の機能が追加されます。

機 能 名	場所／説明	対応機種			
		fi-5110EOX	fi-5110EOX2	fi-5110EOX3	S500
アプリケーションの選択	「読み取りと保存に関する設定」－［アプリ選択］タブ ／アプリケーションを最大 10 個まで登録できるようになりました。 デフォルトで登録される項目が追加されました。	○	○	○	●
読み取り後、ファイル名を変更します	「読み取りと保存に関する設定」－［保存］タブ ／読み取った後に名前を指定できます。	○	●	●	●
文字をくっきりします	「読み取りと保存に関する設定」－［読み取りモード］タブ －［オプション］ボタン ／白黒読み取り時も有効になりました。	○	○	●	●
原稿を上向きにしてセットします	「読み取りと保存に関する設定」－［読み取りモード］タブ －［オプション］ボタン ／原稿を手にした状態のまま、セットして読み取ることができます。	○	●	●	●
継続読み取りを有効にします	「読み取りと保存に関する設定」－［読み取りモード］タブ ／読み取り終了後に、次の原稿をセットして、続けて読み取ることができます。	○	●	●	●
テキスト認識して検索可能な PDF にします	「読み取りと保存に関する設定」－［ファイル形式］タブ ／読み取ったイメージに対してテキスト認識を行います。 Adobe Acrobat 7.0 をインストールしていない環境でも使用できるようになりました。 テキスト認識する言語を指定できるようになりました。	○	○	○	●

機 能 名	場所／説明	対応機種			
		fi-5110EOX	fi-5110EOX2	fi-5110EOX3	S500
読み取った PDF ファイルにパスワードをつけます	「読み取りと保存に関する設定」－[ファイル形式]タブ －[オプション]ボタン ／読み取った画像をパスワード付きの PDF ファイルに保存できます。 Windows2000/WindowsXP の場合は、Adobe Acrobat 7.0 をインストールしていない環境でも使用できるようになりました。	○	○	○	●
読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプをつけます	「読み取りと保存に関する設定」－[ファイル形式]タブ －[オプション]ボタン ／読み取った画像を、署名・タイムスタンプ付きの PDF ファイルとして保存できます。	○	○	○	●
[カスタマイズ]ボタン	「読み取りと保存に関する設定」－[原稿サイズ]タブ ／任意の原稿サイズを最大 10 種類まで登録できるようになりました。	○	○	○	●
長さ自動	「読み取りと保存に関する設定」－[原稿サイズ]タブ－[カスタマイズ]ボタン－[追加]ボタン ／「追加カスタム原稿の設定」で、長さ方向を自動サイズ検出することができます。	○	○	●	●
カラー高圧縮	「読み取りと保存に関する設定」－[読み取りモード]タブ-「カラーモードの選択」 ／読み取ったカラー画像を高圧縮して保存します。 圧縮率を 5 段階に変更できるようになりました。	○	○	○	●
現在の設定を保存	「読み取りと保存に関する設定」－[新規]ボタン ／現在の読み取り条件に名前をつけて保存することができます。	○	●	●	●
読み取り設定の並び替え	「読み取り設定の管理」 ／読み取り設定一覧の表示順を変更することができます	○	○	●	●
A3 キャリアシート設定	「読み取りと保存に関する設定」－[原稿サイズ]タブ ／A3 キャリアシートを使って、A3/B4 サイズの原稿や、写真/資料の切り抜きなどを読み取ることができます。 読み取り設定ごとに設定が保存できるようになりました。	○	○	○	○
読み取り結果の通知	「ScanSnap アイコン」右クリックメニュー 読み取った後に、白紙削除／向き補正をおこなったかどうかを通知する画面を表示できます。	○	●	●	●
オンラインアップデート	「ScanSnap アイコン」右クリックメニュー－[ヘルプ] ／Internet 環境を使って、最新のプログラムにアップデートすることができます。	○	●	●	●
クイックメニュー	「ScanSnap アイコン」右クリックメニュー－[クイックメニューを使用] ／ScanSnap で原稿を読み取るとメニューが表示されます。このメニューを使用して、読み取った画像を、パソコンや指定したフォルダに保存したり、メールに添付して送付したり、プリンタで印刷したり、Word/Excel 文書に変換したり、楽 2 ライブラリに保存したりすることができます。	○	○	○	○
オフィス機能	「読み取りと保存に関する設定」－[アプリ選択]タブ または、クイックメニュー ／日常のオフィス業務で役立つ機能を「オフィス機能」として準備しました。 機能名： 指定したフォルダに保存、メールで送信、プリンタで印刷、 Word 文書に変換、Excel 文書に変換、楽 2 ライブラリに保存	○	○	○	○

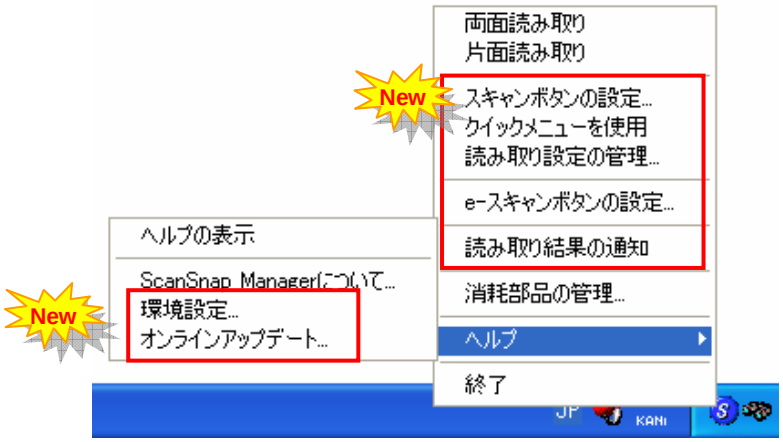
○：本製品で追加される機能　●：既に実現している機能

3.2. 各機能の設定方法

本製品で追加された機能は、これまで同様、Windows タスク バーに登録されている ScanSnap アイコンから設定を変更することができます。

3.2.1. 右クリックメニュー

ScanSnap アイコンを右クリックすると、以下のメニューが表示されます。



スキャンボタンの設定	「読み取りと保存に関する設定」画面を表示します。 ⇒ ここで、[スキャン]ボタンで読み取る際の設定を行います。	3.2.3参照
クイックメニューを使用	「クイックメニューモード」で読み取る場合に選択します。 ⇒ [スキャン]ボタンで読み取ると、「クイックメニュー」が表示されます。	4.2参照
読み取り設定の管理 fi-5110EOX	「読み取り設定の管理」画面を表示します。 ⇒ ここで、登録された読み取り設定の管理を行います。	3.3参照
e-スキャンボタンの設定 fi-5110EOX3 S500	「読み取りと保存に関する設定」画面を表示します。 ⇒ ここで、[e-スキャン]ボタンで読み取る際の設定を行います。	3.2.3参照
読み取り結果の通知 fi-5110EOX	読み取った後に、白紙削除／向き補正を行ったかどうかを通知画面で表示します。 白紙削除→「白紙を自動的に削除します」 向き補正→「原稿の向きを自動的に補正します」	―
環境設定	アプリケーションの自動連携に関する設定を行います。	3.5参照
オンラインアップデート fi-5110EOX	Internet 環境を使って、最新のプログラムにアップデートすることができます。	3.6参照

まって！ 「A3 キャリアシート」という項目が、[原稿サイズ]タブ（33ページ）に移動しました。
fi-5110EOX2 fi-5110EOX3

3.2.2. 左クリックメニュー

fi-5110EOX

ScanSnap アイコンをクリックすると、以下のようなメニューが表示されます。

このメニューには、あらかじめ登録した「読み取り設定」が一覧表示されます。この中から、任意の項目を選択することによって、[スキャン]ボタンで読み取る際の読み取り条件を簡単に切り替えることができます。

最大 12 種類の設定を登録することができます。

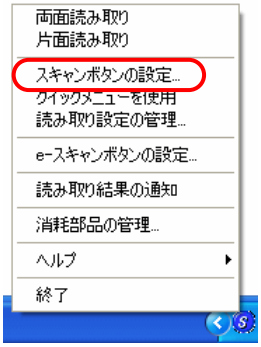
- 上図は、表示例です。実際に表示される項目は、ご使用の環境によって異なります。
  また、fi-5110EOX2 以降の機種では、アップグレード前に設定した項目が引き継がれます。
- 「読み取り設定」の登録方法については、「3.3. 読み取り設定の保存・管理について」(37ページ)を参照してください。
- 本メニューは、「クイックメニューモード」時には表示されません。

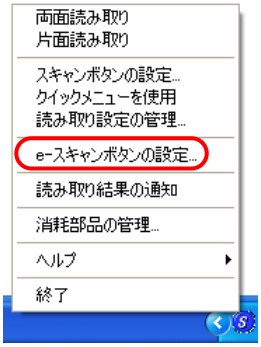
3.2.3. 読み取りと保存に関する設定

右クリックメニューで、

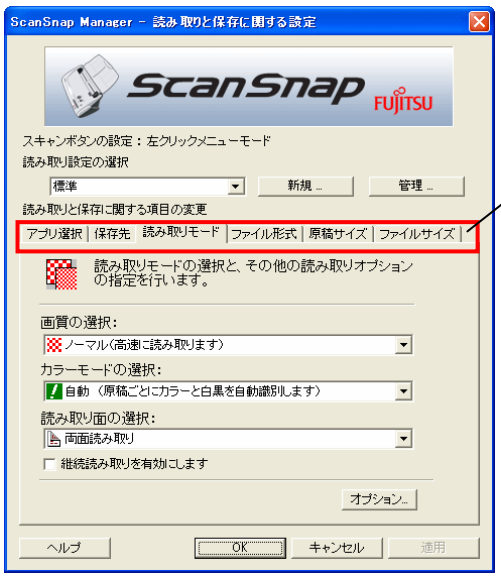
[スキャン]ボタンで読み取る際の設定を変更する場合は、[スキャンボタンの設定]を選択します。

[e-スキャン]ボタンで読み取る際の設定を変更する場合は、[e-スキャンボタンの設定]を選択します。



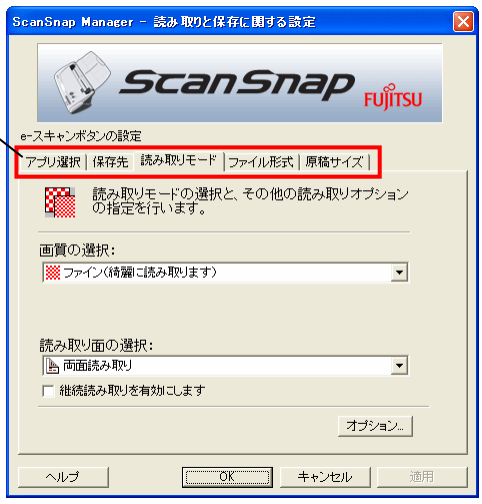


以下の画面が表示されます。



スキャナボタンの
読み取りと保存に関する設定

タブ



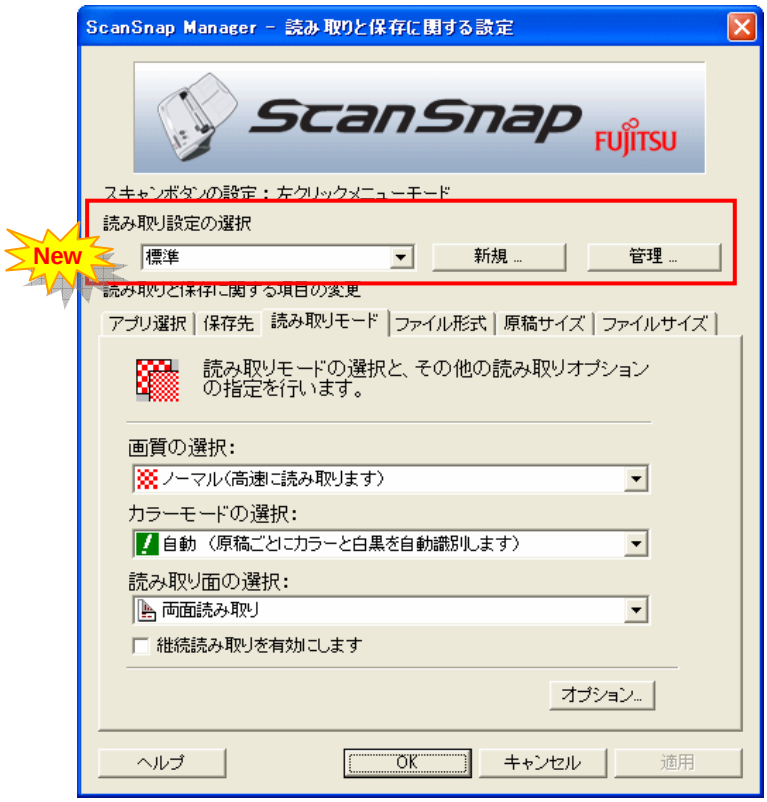
e-スキャナボタンの
読み取りと保存に関する設定

この画面で、タブを切り替えながら、ScanSnap の読み取りと保存に関する設定を行います。

以下に、新しく追加された設定項目について説明します。

- 本章では、ScanSnap fi-5110EOX3 の画面を使用して説明します。
  ご使用の機種によっては、画面が多少異なる場合があります。
- ScanSnap fi-5110EOX/fi-5110EOX2 は、[e-スキャン]ボタンによる読み取り機能がありません。

読み取り設定の選択 fi-5110EOX fi-5110EOX2



読み取り設定の選択

ここで、あらかじめ準備されている「読み取り設定」を選択することによって、読み取り設定を切り替えることができます。

fi-5110EOX の場合、初期状態では、以下の「読み取り設定」が登録されています。

- 標準
- 名刺ファイリング OCR （名刺ファイリング OCR がインストールされている場合にのみ）
- 検索可能な PDF

fi-5110EOX2 以降の場合は、アップグレード前の設定が引き継がれます。

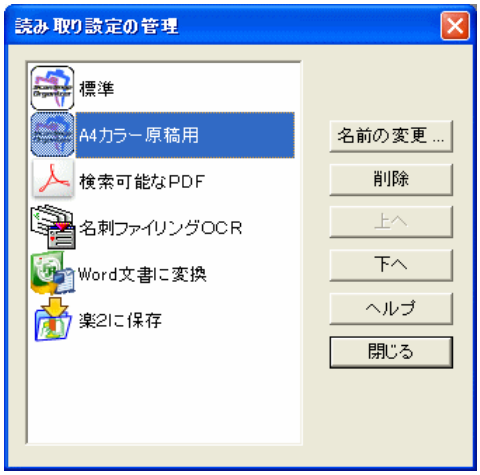
ヒント 読み取り設定には、任意の設定を追加登録することができます。
登録方法については、「3.3.1. 読み取り設定の登録」(37 ページ)を参照してください。

[新規]ボタン

現在の設定内容を、新しい「読み取り設定」として、名前を付けて登録します。

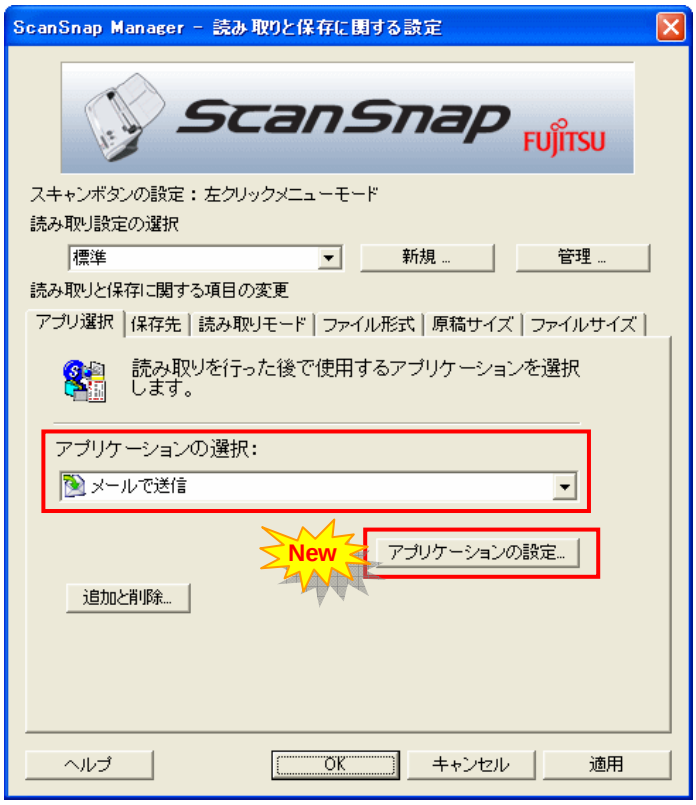
[管理]ボタン

「読み取り設定の管理」画面が表示されます。



この画面で、設定名を変更・削除したり、並び順を変更したりすることができます。ただし、「標準」は変更・削除できません。

[アプリ選択]タブ



アプリケーションの選択

ScanSnap と連携して動作させるアプリケーションを指定します。

初期状態で登録される項目として、以下が追加されました。

- Excel 文書に変換 （→103ページ）
- Word 文書に変換 （→103ページ）
- 指定したフォルダに保存 （→65ページ）
- メールで送信 （→77ページ）
- プリンタで印刷 （→93ページ）
- 楽 2 ライブラリ （→115ページ）

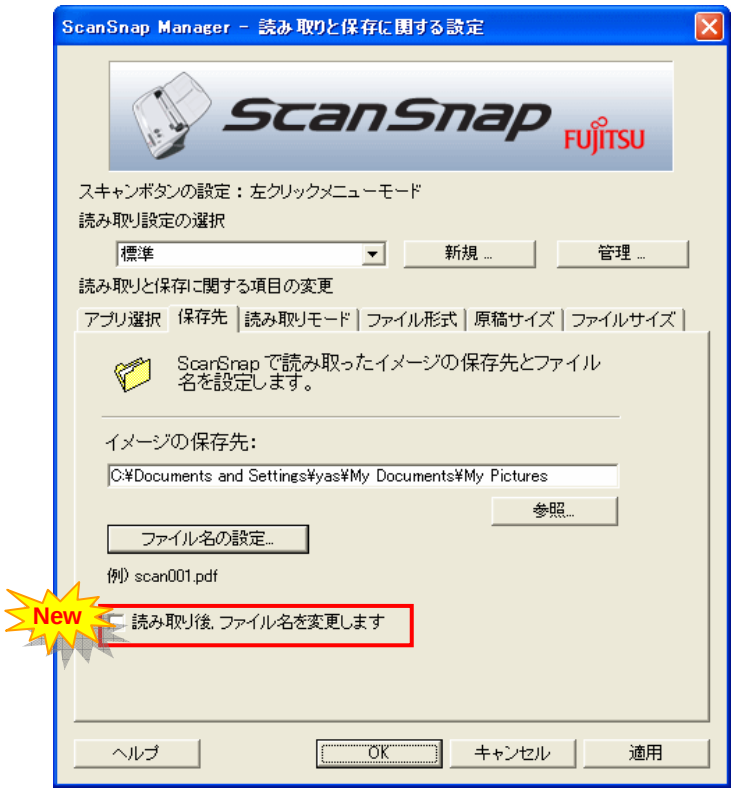
任意のアプリケーションを最大 10 個まで登録できるようになりました。

[アプリケーションの設定]ボタン

「アプリケーションの選択：」で、「メールで送信」、「プリンタで印刷」、「楽 2 ライブラリ」のいずれかを選択したときに表示されます。

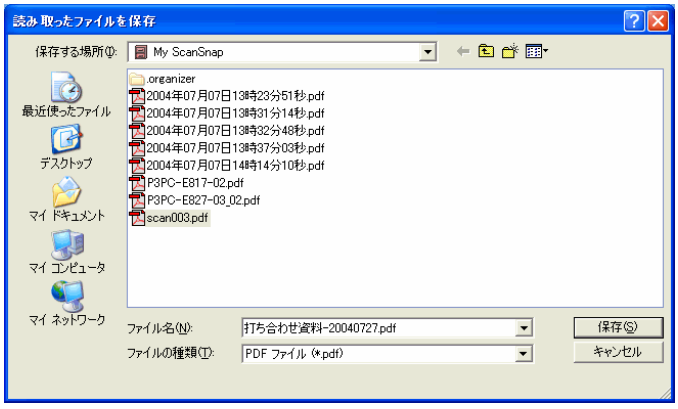
選択したアプリケーションに関する設定を行います。

［保存先］タブ



読み取り後、ファイル名を変更します　fi-5110EOX

チェックを付けると、読み取り終了後に、「読み取ったファイルを保存」の画面が表示されます。



この画面で、読み取った画像の保存先や、ファイル名を変更することができます。

ヒント

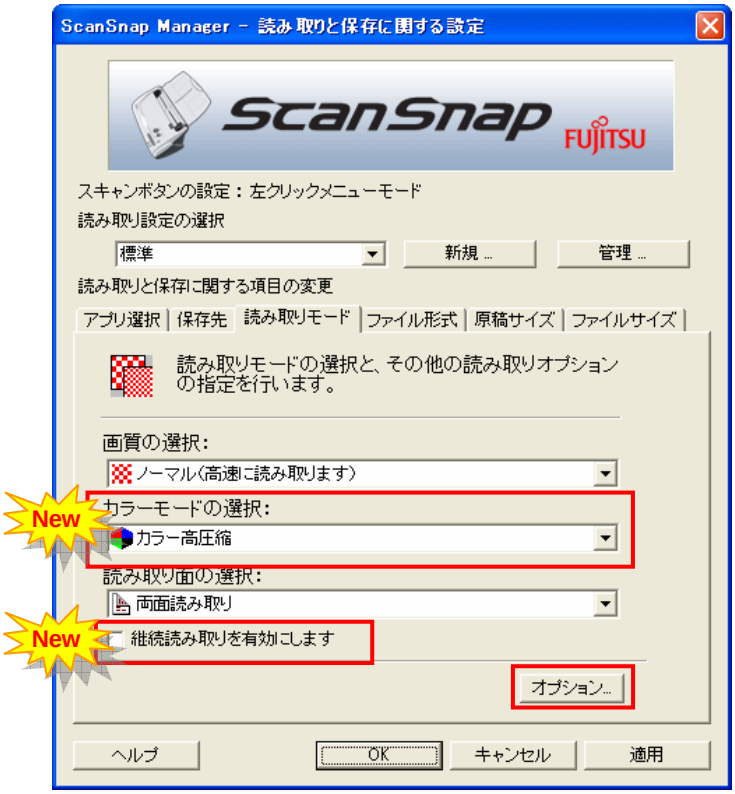
- ファイル名には、あらかじめ、「ファイル名の設定」の画面で指定した名前が付けられています。変更する必要がない場合は、そのまま［保存］ボタンをクリックしてください。
- 一度の読み取りで、複数のファイルが生成される場合があるため、ファイル名の後に連番が付加されます。（⇒ファイル名＋連番.拡張子）
  例1）「PDF ファイルオプション」（30ページ）で、「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」を

選択して、指定したページ数を越えるページ数の原稿を読み取った場合：
⇒Scan001.pdf, Scan002.pdf, Scan003.pdf...

例2）JPEG 形式で保存する場合：
⇒Scan001.jpg, Scan002.jpg, Scan003.jpg...

※例は、いずれも、ファイル名を「Scan」にしたときの結果です。
※連番の桁数は、「ファイル名の設定」の画面の設定にしたがいます。

[読み取りモード]タブ



カラーモードの選択 fi-5110EOX fi-5110EOX2 fi-5110EOX3

設定項目に「カラー高圧縮」が追加されました。(※[ファイルサイズ]タブから移動しました。)

・カラー高圧縮

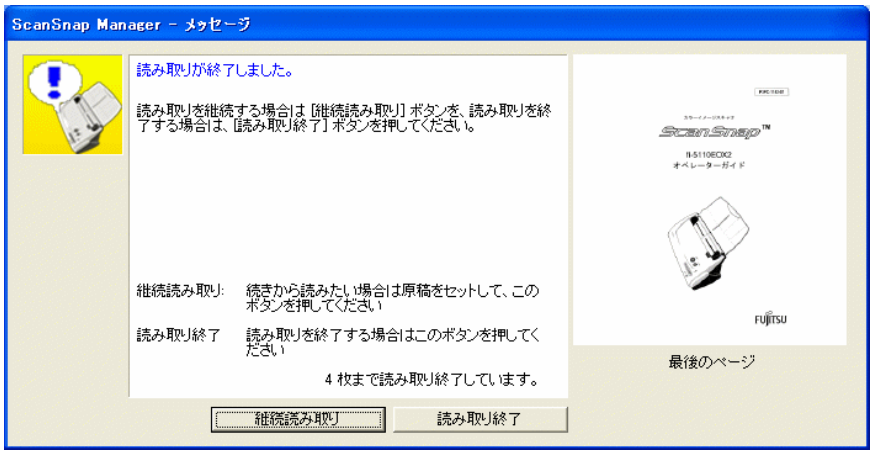
カラー画像を高圧縮で保存します。標準の圧縮に比べて、さらにファイルサイズを小さくすることができます。

また、[ファイルサイズ]タブの「圧縮率」の設定によって、圧縮の度合いを 5 段階に調整することができるようになりました。

- 「カラー高圧縮」では、文字部分と背景部分を分離して背景部分を高圧縮します。そのため、文字が主体の原稿を読み取ると、文字をきれいなままファイルサイズを小さくすることができます。一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化しますので、写真などの画像の読み取りには適していません。
  また、指定するとコントラストが高くなる傾向があります。
- 「カラー高圧縮」では、以下のような場合、原稿によっては標準の圧縮と比べて、ファイルサイズが大きくなることがあります。
  ・写真や図などが多く、黒い文字が少ない原稿
  ・段組があるなど、レイアウトが複雑な原稿
  ・文字の背景に模様がある原稿
- 「カラー高圧縮」は、「画質の選択」の「エクセレント」と組み合わせて使用できません。

継続読み取りを有効にします fi-5110EOX

読み取り終了後、読み取りを継続するかどうかのメッセージを表示します。

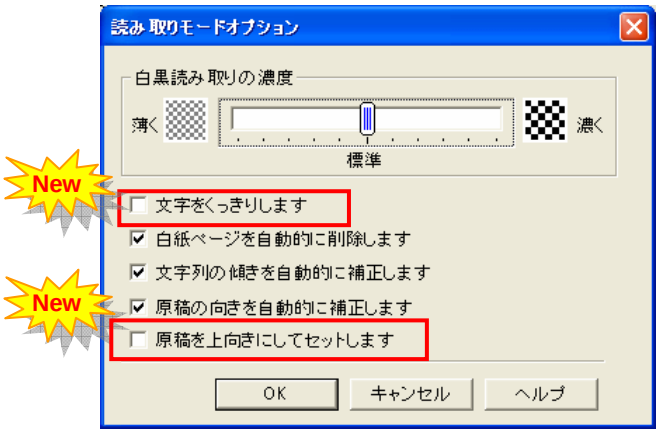


続けて読み取る場合は、スキャナに原稿をセットして、[継続読み取り]ボタンをクリックします。

終了する場合は、[読み取り終了]ボタンをクリックします。

- 最大 1000 ページまで継続して読み取ることができます。
- 保証できる PDF ファイルのファイルサイズの上限は、1G バイトです。1G バイト以上の PDF ファイルは作成可能ですが、Adobe Acrobat にて表示させると、「このファイルは壊れていますが修復しています。」というメッセージが表示される場合があります。

[オプション]ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



文字をくっきりします fi-5110EOX fi-5110EOX2

これまでカラー読み取り時のみ有効となっていましたが、白黒読み取り時も設定できるようになりました。

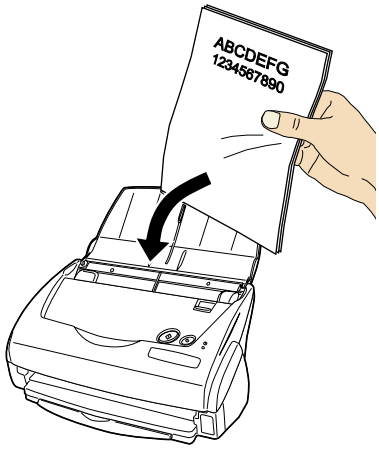
読み取る原稿の種類によって、以下のように使い分けてください。
- 活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、チェックを入れます。
- 写真の入った原稿を読み取る場合は、チェックを外します。

※これまでの白黒読み取りと同じ条件で読み取りたい場合は、チェックを入れてください。

原稿を上向きにしてセットします fi-5110EOX

図のように、手にした原稿をそのままセットして読み取りたい場合にチェックを付けます。

最終ページから逆に読み取りを開始して、すべての原稿を読み取った後で、データを1ページ目から順番に並べ替えて、ファイルに出力します。



原稿を読み取った後にデータを並べ替える処理が入るため、通常よりも読み取り速度が遅くなります。

[ファイル形式]タブ

テキスト認識して検索可能な PDF にします fi-5110EOX fi-5110EOX2 fi-5110EOX3

「ファイル形式の選択:」で、「PDF(*.pdf)」を選択した場合に指定できます。

有効にすると、テキスト検索ができる PDF ファイルが作成されます。

テキスト認識する言語の選択

テキスト認識に使用する言語を選択します。

テキスト認識するページの選択

・ 全ページ

すべてのページをテキスト認識した PDF が作成されます。

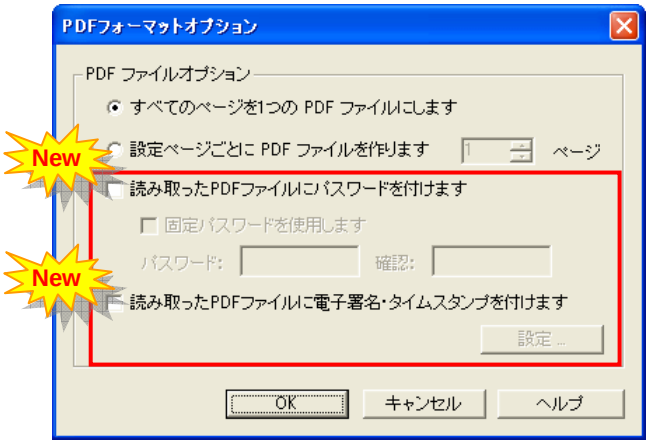
・ 先頭ページのみ

先頭ページだけをテキスト認識した PDF が作成されます。

- 本設定を有効にすると、お使いのパソコン環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- 以下のような原稿(文字)は、正しくテキスト認識できない場合があります。また、カラー設定や解像度を上げて読み取ることでテキスト認識が可能となる場合があります。
  - ー手書き文字の原稿
  - ー低解像度で読み取った小さな文字

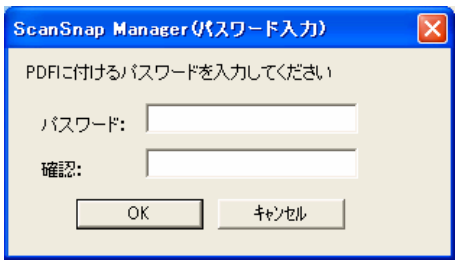
－傾いた原稿
－指定した言語以外で書かれた原稿
－イタリック文字で書かれた原稿
－上下添え字、複雑な数式
－文字の背景に不均一色背景や模様がある原稿
・ 影、白抜きなど装飾がされている文字
・ 網掛け内の文字
－複雑なレイアウトの原稿及び、ノイズの多い原稿
（このような原稿では認識時間が非常にかかる場合があります）

［オプション］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます fi-5110EOX fi-5110EOX2 fi-5110EOX3

読み取り後に作成される PDF ファイルに、パスワードをつけることができます。パスワードを付けた PDF ファイルは、パスワードを入力しないとファイルを開くことができなくなります。
読み取りが終わる度にパスワード入力画面が表示されるので、パスワードを 2 箇所（1 箇所は確認用）に入力して、［OK］ボタンをクリックします。



※ ［キャンセル］ボタンをクリックすると、パスワードのない通常の PDF ファイルとして保存されます。

ー 固定パスワードを使用します

読み取りを行う度にパスワード入力画面を表示するのではなく、すべての PDF ファイルに対して、あらかじめ固定のパスワードを設定しておくことができます。

チェックすると、「パスワード:」、「確認:」欄が有効になるので、同じパスワードを 2 箇所に入力します。

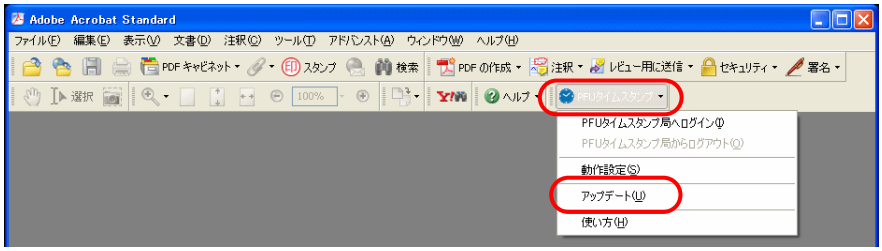
- パスワードには、以下の半角文字、および半角スペースを設定することができます。
  最大文字数:半角 16 文字
  半角英数字　:A～Z、a～z、0～9
  半角記号　:! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
- 一度の読み取りで、複数のファイルが生成される場合、すべて同じパスワードが設定されます。
- Windows Vista をご使用の場合、本機能を使用するためには、ご使用のパソコンに Adobe Acrobat がインストールされている必要があります。
- パスワードを忘れてしまうと、PDF ファイルが二度と開けなくなってしまいますので、ご注意ください。

読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます

読み取り後に作成される PDF ファイルに、電子署名・タイムスタンプを付けることができます。電子署名・タイムスタンプは、PDF ファイルに埋め込まれます。

- 本機能を使用するためには、Adobe Acrobat と PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat V2.0L30 以降をインストールして、あらかじめ電子署名・タイムスタンプの設定を行っておく必要があります。
  また、fi-5110EOX3/S500 に添付されている PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat はアップデートが必要となる場合があります。
  アップデートは、下記の方法で行うことができます。

  1. Adobe Acrobat Standard 上で、[PFU タイムスタンプ]-[アップデート]を実行します。



     画面の指示に従ってインストールしてください。

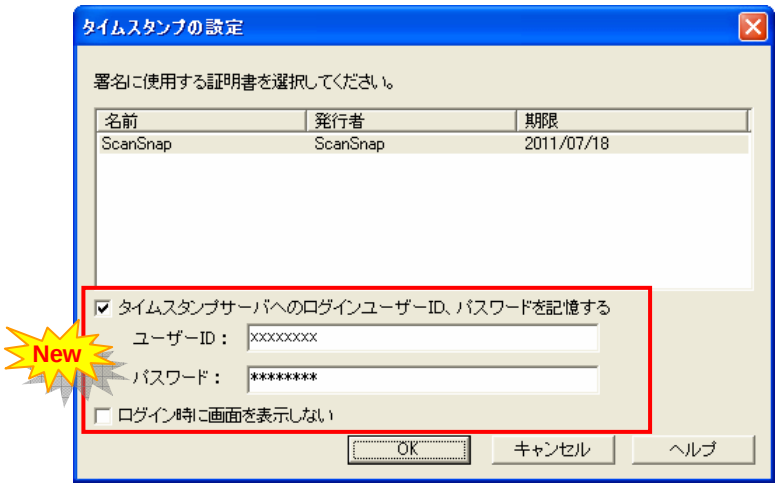
  2. Adobe Acrobat Standard を閉じます。

  タイムスタンプを使用するためには、あらかじめライセンスを取得しておく必要があります。 詳しくは、下記のホームページを参照してください。
  http://www.pfu.fujitsu.com/tsa/

- 「読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます」チェックボックスをオンにすると、「読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます」チェックボックスは無効となります。(パスワードと電子署名・タイムスタンプを同時に使用することはできません。)

ー[設定]ボタン

[設定]ボタンを押すと、「タイムスタンプの設定」画面が表示されます。



証明書一覧

一覧表示から、署名に使用する証明書を選択します。

「タイムスタンプサーバへのログインユーザーID、パスワードを記憶する」チェックボックス

タイムスタンプサーバにログインする際に、ユーザーIDとパスワードを表示した状態でログイン画面を表示します。

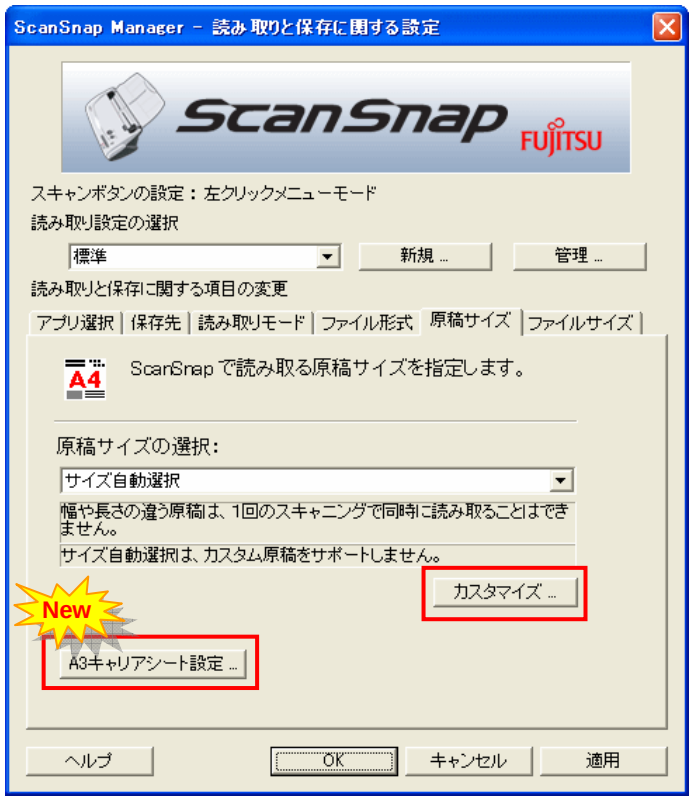
「ユーザーID:」、「パスワード:」の入力欄にログイン時に使用する IDとパスワードを入力してください。

「ログイン時に画面を表示しない」チェックボックス

タイムスタンプサーバにログインする際に、ログイン画面を表示しません。「タイムスタンプサーバへのログインユーザーID、パスワードを記憶する」チェックボックスにチェックを入れたときに選択可能になります。

- [設定]ボタンは、「読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます」チェックボックスがオンのときのみ、有効となります。
- 証明書が選択されていない場合は、「タイムスタンプの設定」画面の[OK]ボタンは無効です。

[原稿サイズ]タブ

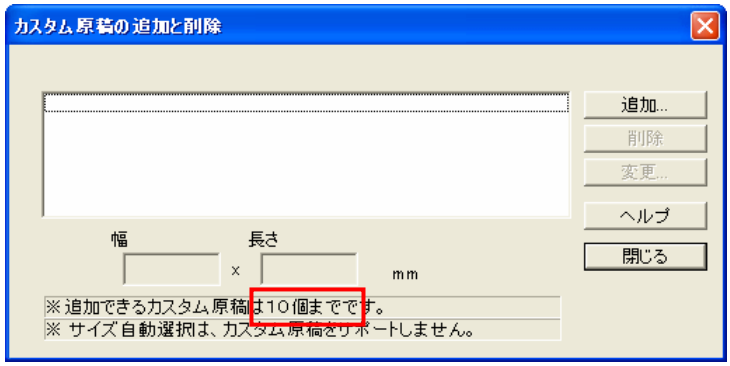


[カスタマイズ]ボタン

「原稿サイズの選択:」に任意の原稿サイズを、最大 10 個まで登録できるようになりました。

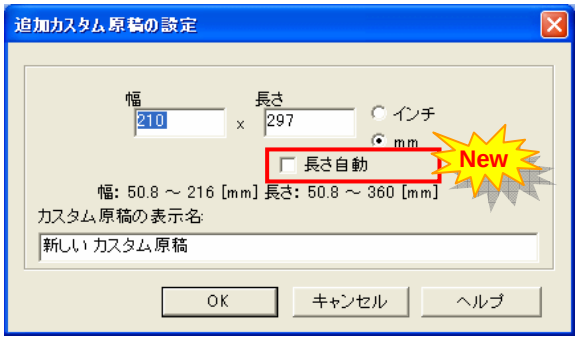
fi-5110EOX　fi-5110EOX2　fi-5110EOX3

ボタンをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。



＜カスタム原稿サイズを追加する場合＞

1. ［追加］ボタンをクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。



- 原稿のサイズを入力します。
- 「**長さ自動**」を有効にすると、幅を設定するだけで長さ方向は自動サイズ検出します。
  fi-5110EOX fi-5110EOX2
- 「**カスタム原稿の表示名**:」に、表示させたい名前を入力します。
  ⇒入力した表示名が「原稿サイズの選択:」のリストに追加されます。

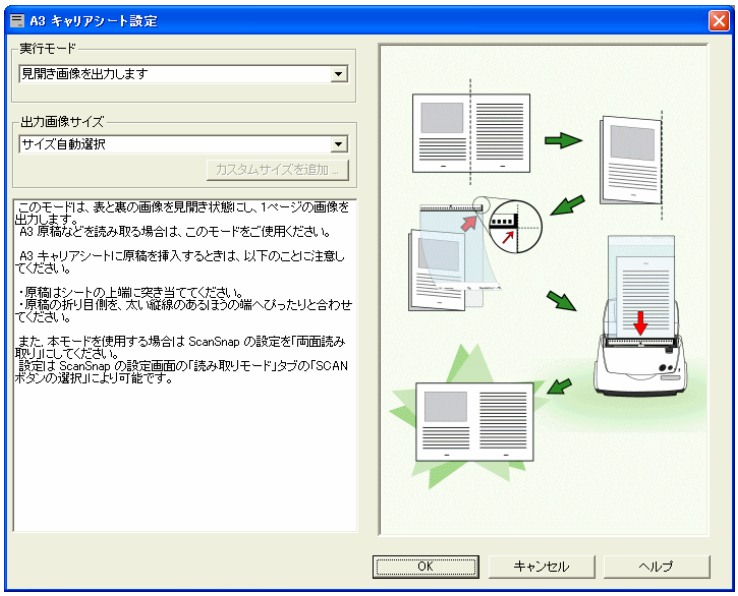
3. **設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。**
   ⇒ 新しいカスタム原稿サイズが登録されます。
4. **［閉じる］ボタンをクリックして、「カスタム原稿の追加と削除」の画面を閉じます。**

［A3 キャリアシート設定］ボタン fi-5110EOX

キャリアシートで読み取る際の設定を行います。

（詳細は、「6. A3 キャリアシートについて」を参照してください。）

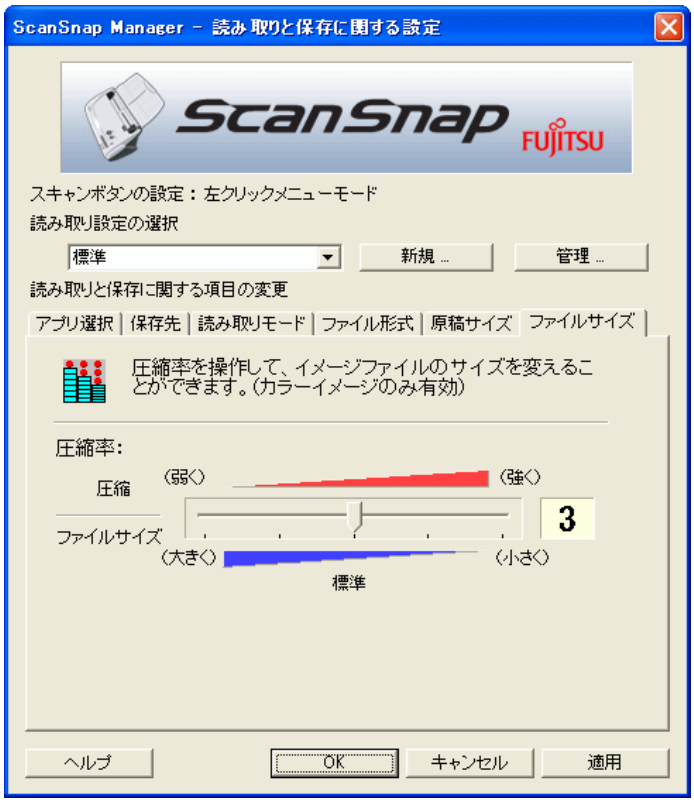
ボタンをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。



読み取り設定ごとに設定が保存できます。 fi-5110EOX

読み取り設定ごとに設定が保存できるようになりました。 fi-5110EOX2 fi-5110EOX3 S500
本製品をインストールすると、これまでの A3 キャリアシート設定は、いったん初期化され、「実行モード」＝「見開き画像を出力します」、「出力」＝「サイズ自動選択」になります。

[ファイルサイズ]タブ



「高圧縮を有効にします」という項目が、[読み取りモード]タブ－「カラーモードの選択」に移動しました。

3.3. 読み取り設定の保存・管理について

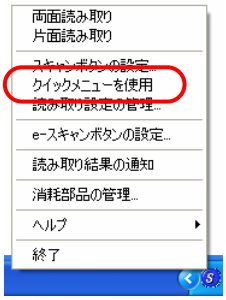
fi-5110EOX fi-5110EOX2

ScanSnap Manager では、現在設定されている読み取り条件に、名前をつけて保存しておくことができます。
保存しておいた設定条件は、ScanSnap アイコンをクリックするだけで、簡単に呼び出し、使用することができます。
よく使う読み取り条件をあらかじめ何種類か登録しておけば、読み取る度に設定画面を開いて、1 つ 1 つ設定を変更する必要がなく、簡単操作で読み取ることができます。

以下に、操作方法を説明します。

3.3.1. 読み取り設定の登録

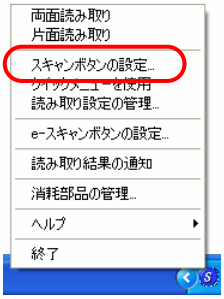
1. ScanSnap アイコンを右クリックして表示されるメニューで、[クイックメニューを使用]のチェックが外れていることを確認します。



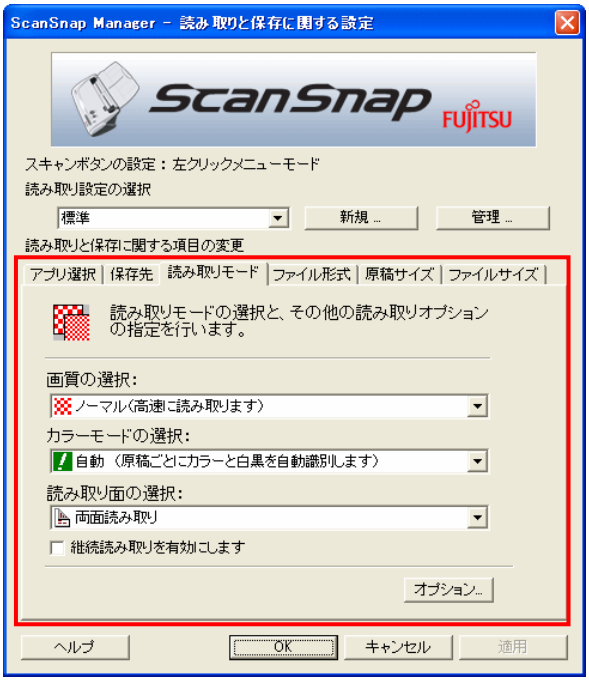
⇨ チェックを外すと、メニューが閉じます。

ヒント [クイックメニューを使用]にチェックが入っていると、[スキャン]ボタンの設定が「クイックメニューモード」(→58ページ)になります。クイックメニューモードでは、本機能を使用することができません。

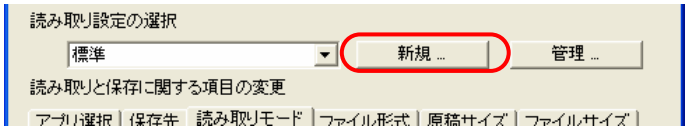
2. ScanSnap アイコンを右クリックして、[スキャンボタンの設定]を選択します。



3. 「読み取りと保存に関する設定」の画面で、読み取り設定を変更します。

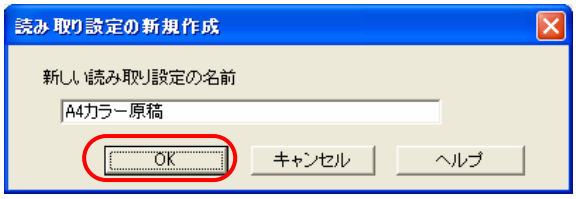


4. 一通り設定が終わったら、[新規]ボタンをクリックします。

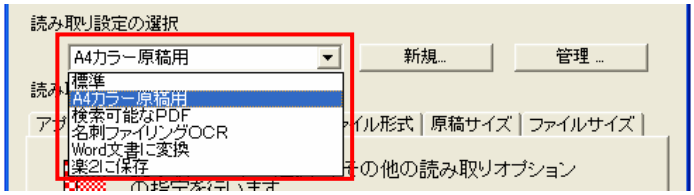


⇨ 「読み取り設定の新規作成」の画面が表示されます。

5. 設定内容にふさわしい名前を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



⇨ 入力した名前の「読み取り設定」として設定・登録されます。

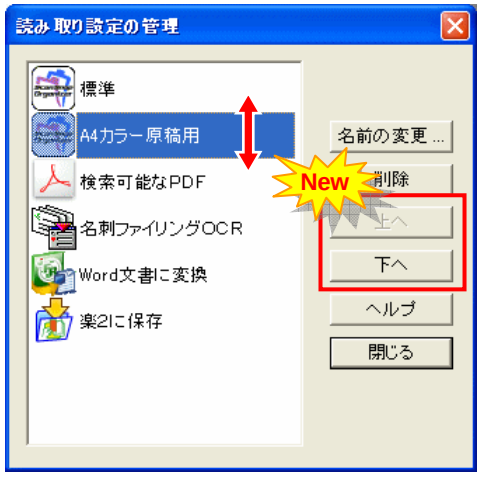


6. ［OK］ボタンをクリックして、「読み取りと保存に関する設定」の画面を閉じます。

⇨ 以上で、読み取り設定の登録は完了です。

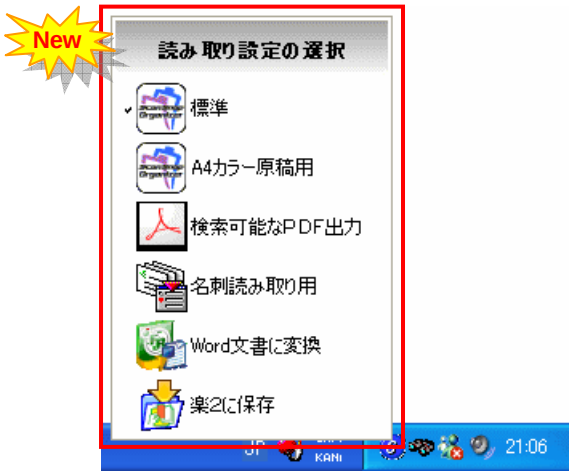
- 読み取り設定は、「標準」を含めて最大 12 個まで登録できます。
  （ただし、「標準」は削除することができません。）
- 読み取り設定の表示順番は、変更することができます。
  （ただし、「標準」の表示順番は変更できません。）

1. ScanSnap アイコンを右クリックして、「読み取り設定の管理」を選択し、「読み取り設定の管理」画面を表示します。
2. 移動させたい読み取り設定を、一覧から選択します。
3. ［上へ］［下へ］ボタンをクリックして、読み取り設定を移動します。
4. ［閉じる］ボタンをクリックします。



3.3.2. 読み取り設定の使用

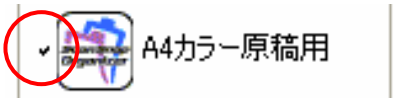
1. ScanSnap アイコンをクリックします。



⇨ 登録した設定名が一覧表示されます。(左クリックメニュー)
(設定名の左側に、読み取り後に起動するアプリケーションのアイコンが表示されます。)

2. 読み取りに使用する設定を選択します。

⇨ 選択した「読み取り設定」にチェックマークが付きます。



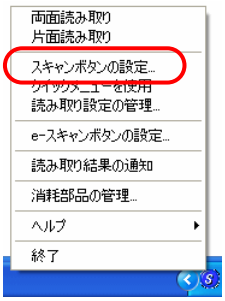
3. 原稿を ScanSnap にセットします。

4. [スキャン]ボタンを押します。

⇨ 選択した設定条件で読み取りが行われます。

3.3.3. 読み取り設定の変更

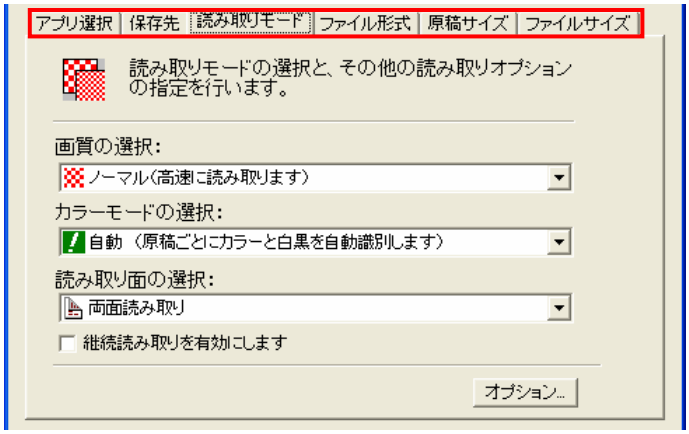
1. ScanSnap アイコンを右クリックして、「スキャンボタンの設定」を選択します。



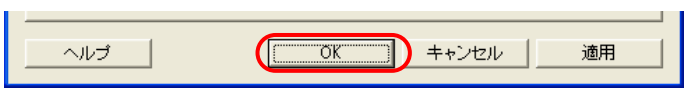
⇨ 「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。

2. 「読み取り設定の選択」で、変更したい設定名を選択します。

3. 設定内容を変更します。

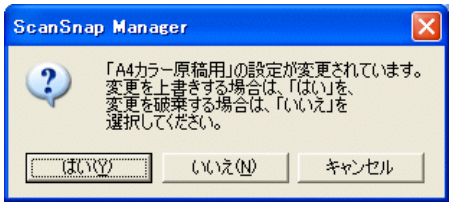


4. 設定が終わったら、[OK]ボタンをクリックします。



⇨ 上書き確認の画面が表示されます。

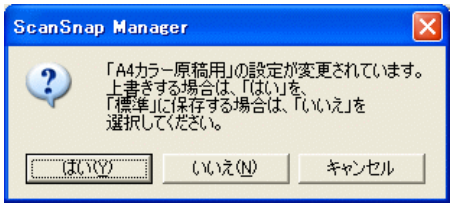
[OK]ボタンをクリックせずに「読み取り設定の選択」で読み取り設定を切り替えると、以下のメッセージが表示されます。



[はい]ボタンをクリックすると、変更内容が反映されて、設定が切り替えられます。
[いいえ]ボタンをクリックすると、変更内容が破棄されて、設定が切り替えられます。
[キャンセル]ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。

5. 変更した設定内容を上書きする場合は[はい]ボタンをクリック、変更を保存しない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

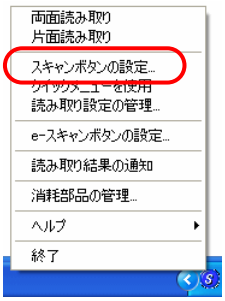
[キャンセル]ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。



(「読み取り設定」が「標準」の場合は、この画面は表示されません。)

3.3.4. 読み取り設定の名前変更

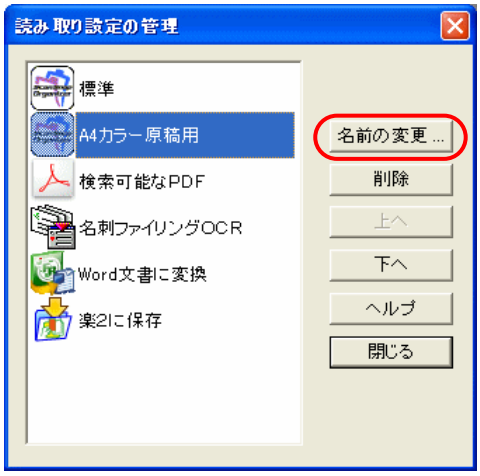
1. ScanSnap アイコンを右クリックして、「スキャンボタンの設定」を選択します。



⇨ 「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。

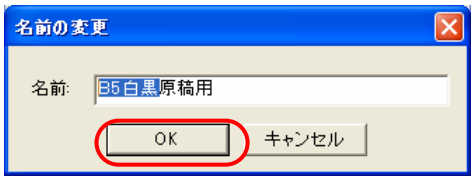
2. [管理]ボタンをクリックします。

3. 一覧から、変更したい設定名を選択し、[名前の変更]ボタンをクリックします。

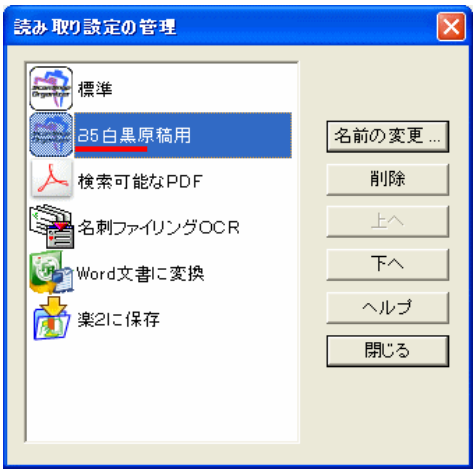


⇨ 「名前の変更」の画面が表示されます。

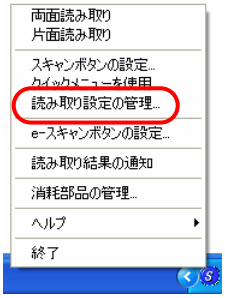
4. 新しい名前を入力して、[OK]ボタンをクリックします。



⇨ 名前が変更されます。

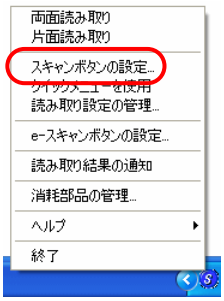


「読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap のアイコンを右クリックして表示することもできます。「読み取り設定の管理」を選択すると表示されるので、一覧から変更したい名前を選択して、操作3～操作4を実行してください。



3.3.5. 読み取り設定の削除

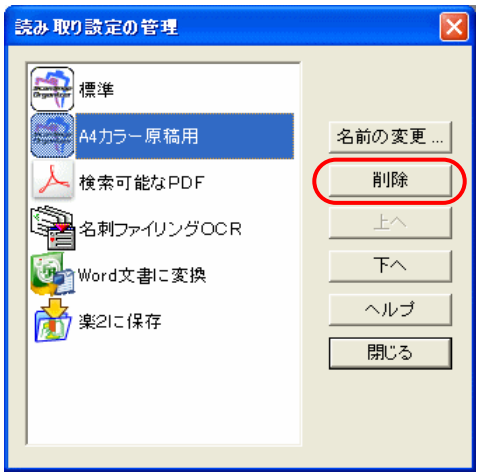
1. ScanSnap アイコンを右クリックして、「スキャンボタンの設定」を選択します。



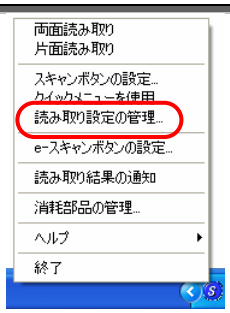
⇨ 「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。

2. [管理]ボタンをクリックします。

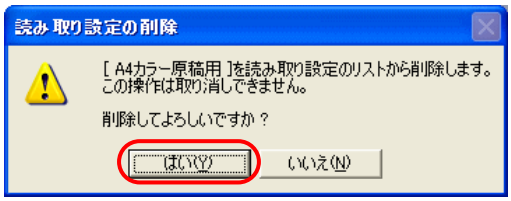
3. 一覧から、削除したい設定名を選択し、[削除]ボタンをクリックします。



「読み取り設定の管理」画面は、ScanSnap のアイコンを右クリックして表示することもできます。
「読み取り設定の管理」を選択すると表示されるので、一覧から削除したい設定名を選択して、[削除]ボタンをクリックしてください



4. 確認画面が表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。



3.4. クイックメニューの使い方

クイックメニューモード設定時(58ページ)に、[スキャン]ボタンで読み取ると、原稿を読み取った後にクイックメニューが表示されます。

この画面では、以下の設定を行います。

項目一覧

読み取った原稿に対して何をしたいかを選択します。

マウスのポインタを項目の上に合わせると選択され、項目をクリックすると、実行されます。

最大で、以下の 7 項目が表示されます。

項　目　名	動　作
このコンピュータに保存　*1	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、ScanSnap Organizer を起動して、読み取り結果を表示します。ファイルは、ScanSnap Organizer で指定した場所(ご使用のパソコン)に保存されます。
指定したフォルダに保存	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、指定したフォルダ(共有フォルダ)に保存します。 ⇒「5.2. 指定したフォルダに保存する」(65ページ)
メールで送信	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、電子メールに添付した状態でメールソフトを起動します。 ⇒「5.3. メールに添付して送信する」(77ページ)
プリンタで印刷	読み取った原稿を、プリンタで印刷します。 ⇒「5.4. ScanSnap をコピー機代わりに利用する」(93ページ)
Word 文書に変換　*2	読み取った原稿を OCR 処理し、Word 文書に変換します。 ⇒「5.5. Word／Excel 文書に変換する」(103ページ)

項　目　名	動　作
Excel 文書に変換　*2	読み取った原稿を OCR 処理し、Excel 文書に変換します。 ⇒「5.5. Word／Excel 文書に変換する」（103ページ）
楽 2 ライブラリに保存　*3	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、楽 2 ライブラリのバインダに保存します。 ⇒「5.6. 楽 2 ライブラリと連携する」（115ページ）

*1）　ScanSnap Organizer がインストールされていない場合は表示されません。
*2）　ABBYY FineReader for ScanSnap V3.0 がインストールされていない場合は表示されません。
*3）　楽 2 ライブラリ（別売）がインストールされていない場合は表示されません。
　　また、本機能を使用するには、楽 2 ライブラリ V4.0 以降が必要となります。

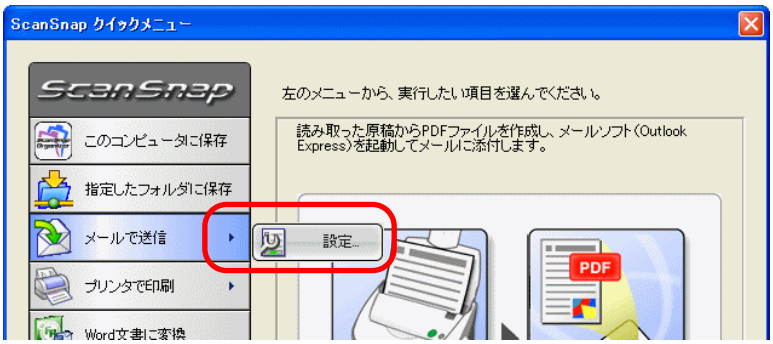
選択した項目の動作説明

項目一覧で指定した動作に関する説明がイラスト入りで表示されます。

[設定]ボタン

動作に関して設定項目がある場合、右側に▶が表示されます。

マウスのポインタを▶の上に移動すると、[設定]ボタンが表示されます。



ヒント

[設定]ボタンは、項目一覧の以下の項目で表示されます。

- メールで送信（→79ページ）
- プリンタで印刷（→94ページ）
- 楽 2 ライブラリに保存（→116ページ）

「次回からこのメニューを使用しない」チェックボックス

次回読み取り時から、クイックメニューを使用しません。

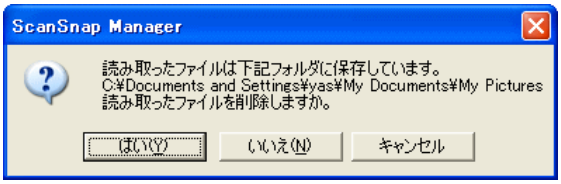
[スキャン]ボタンの操作モードが、「クイックメニューモード」から「左クリックメニューモード」に切り替わります。

再度、「クイックメニューモード」に戻したい場合は、右クリックメニューで、「クイックメニューを使用」をチェックしてください。

[閉じる]ボタン

処理を中止します。

このボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



[はい]ボタン: 読み取ったイメージを削除して、処理を中止します。

[いいえ]ボタン: 読み取ったイメージを保存して、処理を中止します。
読み取ったイメージは、PDF ファイルとして、「スキャンボタンの設定」で指定したフォルダに保存されます。

[キャンセル]ボタン: クイックメニューに戻ります。

[ヘルプ]ボタン

クイックメニューに関するヘルプを表示します。

- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。
  処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

3.5. アプリケーションの自動連携について

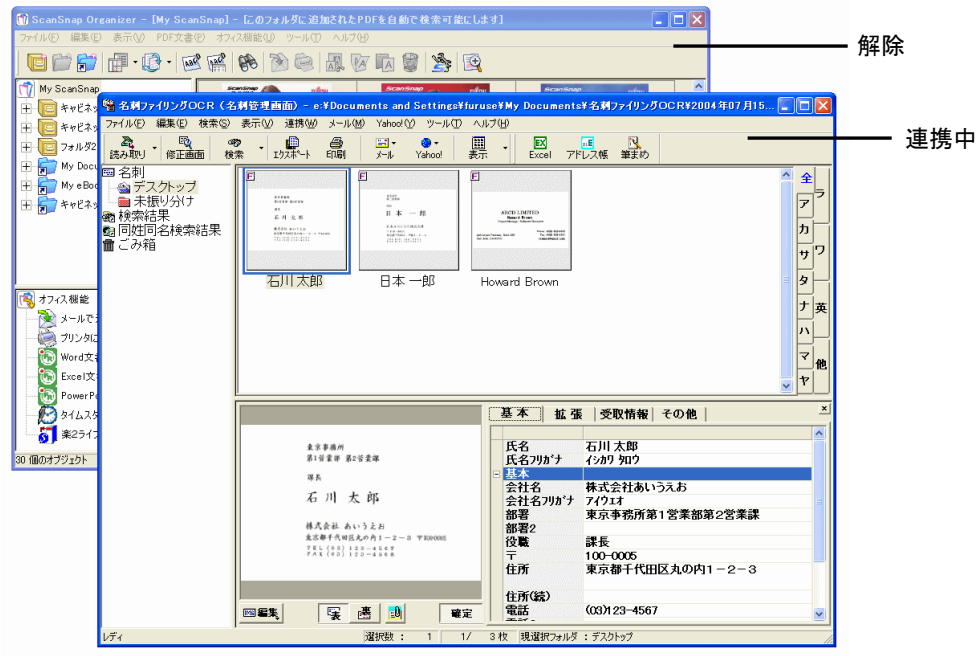
ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR および、楽 2 ライブラリ（別売）は、アプリケーションを起動することによって、ScanSnap と自動連携することができます。
本アップグレードによって、2種類の自動連携モードから選択することができるようになりました。

3.5.1. 自動連携モード

自動連携の方式には、以下の 2 つのモードがあります。

① 該当アプリケーションがアクティブ状態のときに連携する（初期設定）

該当アプリケーションのいずれかがアクティブ状態（タスク バー上でアプリケーションが選択され、アプリケーション画面が最前面に表示された状態）になると、ScanSnap Manager の「アプリケーションの選択」の設定が、自動的に該当アプリケーションに切り替わります。この状態で、[スキャン]ボタンを押して読み取ると、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。
[スキャン]ボタンが「クイックメニューモード」の場合も、読み取り後に ScanSnap クイックメニューが表示されず、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。
アプリケーションが非アクティブ状態になると、連携は解除されます。



上図の場合、名刺ファイリング OCR の画面がアクティブ状態であるため、名刺ファイリング OCR と自動連携されます。

② 該当アプリケーション起動中は、常に連携する（従来の設定）

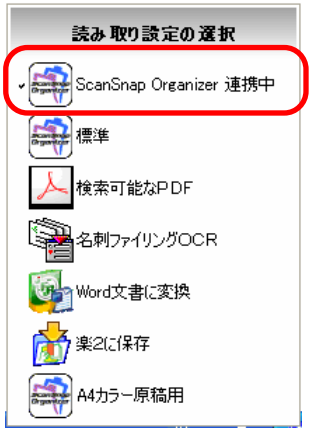
該当アプリケーションのいずれかが起動されると、ScanSnap Manager の「アプリケーションの選択」の設定が、自動的に該当アプリケーションに切り替わります。この状態で、[スキャン]ボタンを押して読み取ると、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。

[スキャン]ボタンが「クイックメニューモード」の場合も、読み取り後にクイックメニューが表示されず、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。

アプリケーションを終了するまで、連携した状態が続きます。

同時に複数起動されている場合は、名刺ファイリング OCR、ScanSnap Organizer、楽２ライブラリの順に優先されます。

[スキャン]ボタンが「左クリックメニューモード」の場合は、左クリックメニューに、「＜アプリケーション名＞＋連携中」の項目がチェックの入った状態で追加されます。

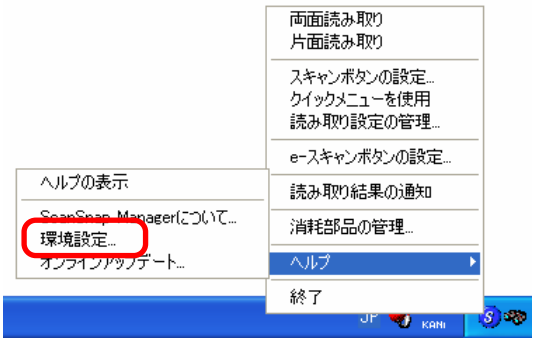


ScanSnap Organizer と自動連携されている場合

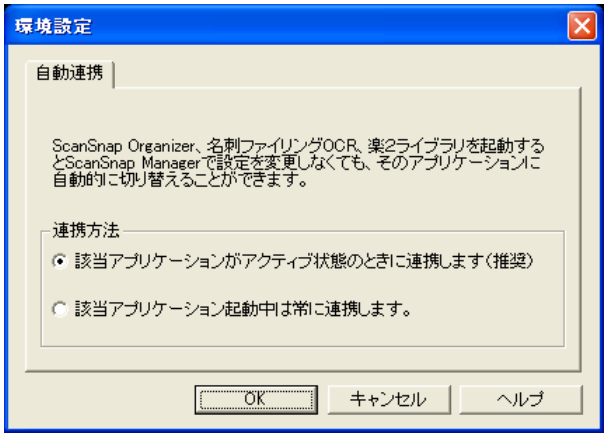
3.5.2. 自動連携モードの切り替え

自動連携モードの切り替えは、以下の手順で行います。

1. ScanSnap アイコンを右クリックして、[ヘルプ]→[環境設定]の順に選択します。



2. [自動連携]タブの設定を変更します。



該当アプリケーションがアクティブ状態のときに連携します （初期設定）

アプリケーションのいずれかがアクティブ状態（タスク バー上でアプリケーションが選択され、アプリケーション画面が最前面に表示された状態）のときに[スキャン]ボタンを押して読み取りを実行すると、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。

該当アプリケーションが起動中は常に連携します （従来の設定）

アプリケーションのいずれかが起動されると、ScanSnap Manager の「アプリケーションの選択」の設定が、自動的に該当アプリケーションに切り替わります。

3.6. オンラインアップデートについて

fi-5110EOX

ScanSnap Manager では、操作性の向上や、機能アップを図るために、適時プログラムのアップデートが行われます。

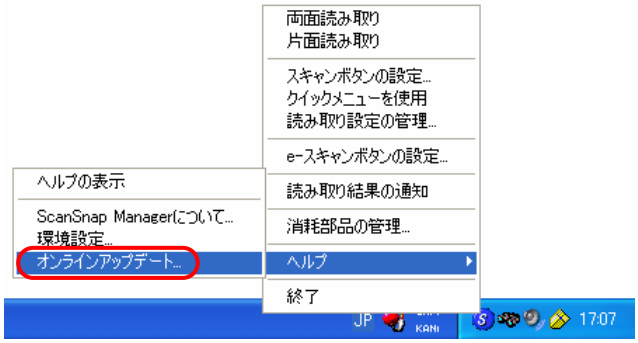
ScanSnap アイコンのメニューから、最新のプログラムが公開されているか自動的に確認し、プログラムを更新(アップデート)することができます。

ヒント 最新のプログラムは、事前連絡なしに公開されます。定期的にアップデートすることをおすすめします。

ScanSnap Manager をアップデートする場合は、次の操作を行います。

まって!
- アップデートするには、インターネットを使用できる環境で、Internet Explorer がインストールされている必要があります。
- 必ず管理者権限(Administrator 権限)でログオンしてください。。

1. ScanSnap アイコンを右クリックして、[ヘルプ]－[オンラインアップデート]を選択します。

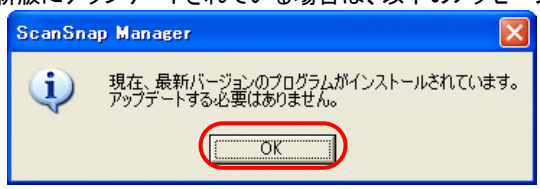


⇨ ScanSnap Manager をアップデートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

2. [はい]ボタンをクリックします。

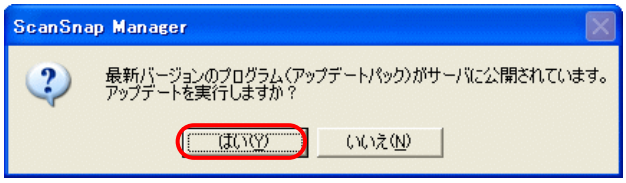
⇨ 最新のアップデートプログラムが公開されている場合、ダウンロードアップデートを実行するための確認メッセージが表示されます。

すでに最新版にアップデートされている場合は、以下のメッセージが表示されます。



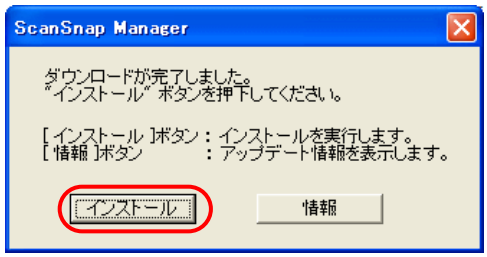
[OK]ボタンをクリックして、メッセージを閉じてください。

3. [はい]ボタンをクリックします。



⇨ プログラムがダウンロードされて、インストールを実行するための確認メッセージが表示されます。

4. [インストール]ボタンをクリックします。



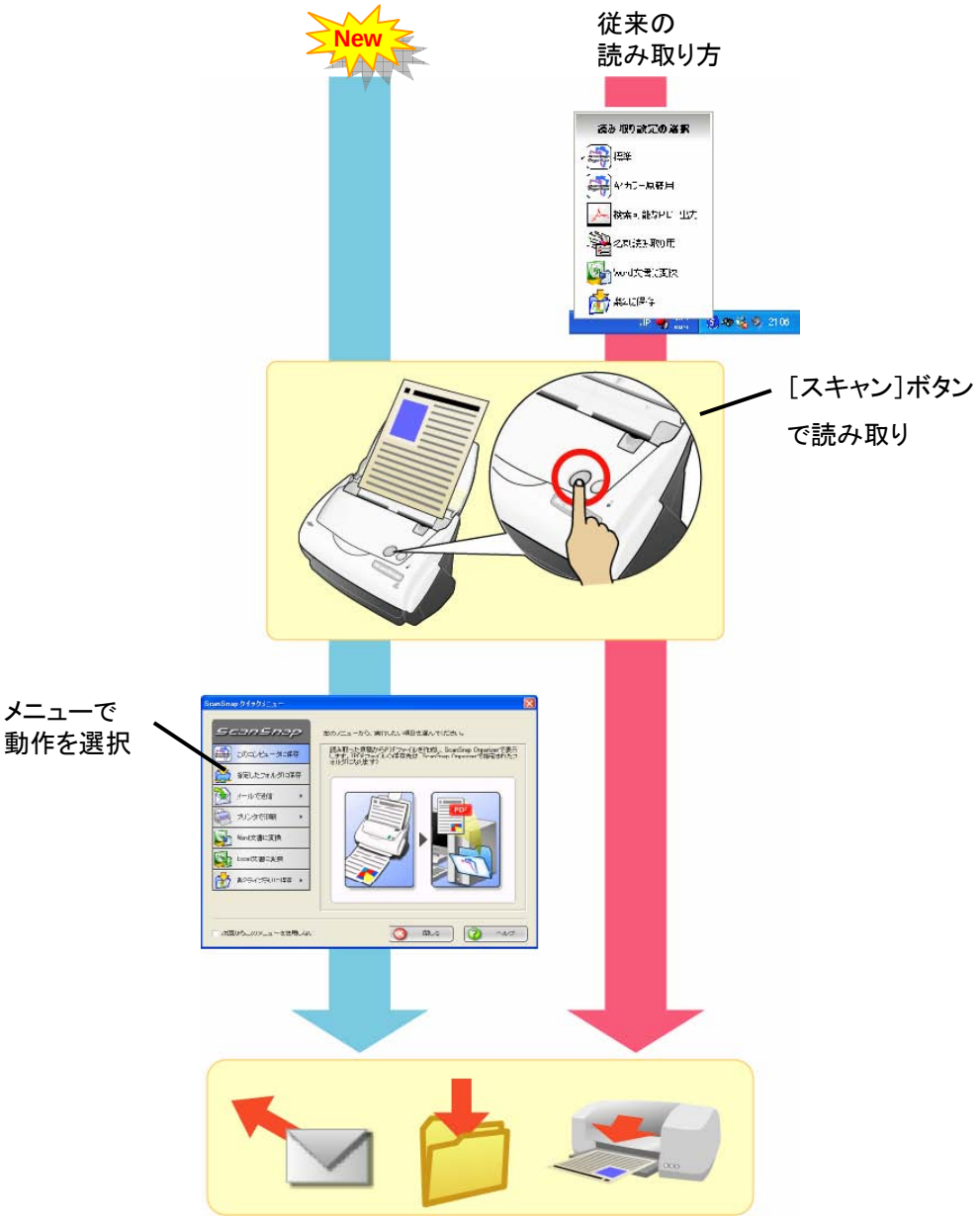
[情報]ボタンをクリックすると、Internet Explorer が起動して、ScanSnap Manager に関する最新のアップデート情報が表示されます。

⇨ インストールが開始され、「ScanSnap Manager 用の InstallShield Wizard へようこそ」の画面が表示されます。

画面の指示にしたがって、インストールしてください。

4. 操作の流れについて

[スキャン]ボタンを使用して読み取る際に、従来の読み取り方に加え、初心者にも使いやすいように、クイックメニューを使って読み取る方法を追加しました。
これにより、[スキャン]ボタンを使用して読み取る際は、使用目的に合わせて、2 通りの読み取り方法を選択することができるようになりました。



この章では、[スキャン]ボタンを使用して読み取る際の、操作の流れについて説明します。

4.1. 基本的な操作の流れ

[スキャン]ボタンには、2 通りの読み取り方があります。使用目的に合わせて、使いやすい方法でご使用ください。

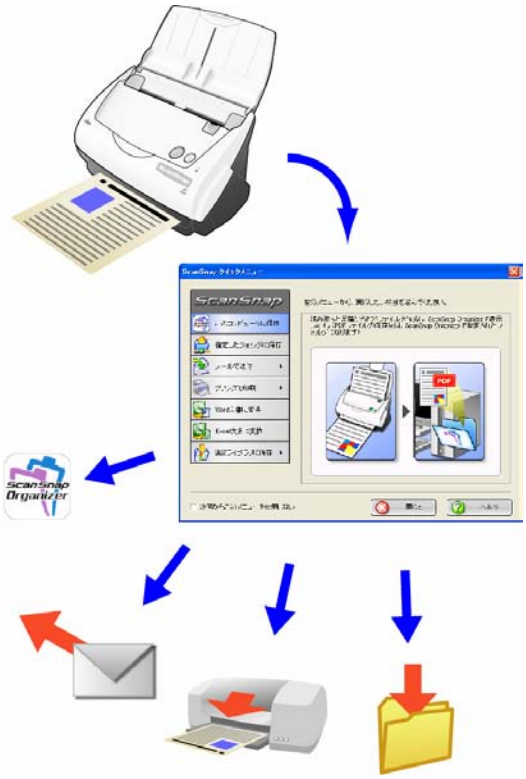
① 読み取った後に、何をしたいのかをメニューで選択する方法
＜クイックメニューモード＞

1. [スキャン]ボタンで読み取り

2. 読み取りが終了すると、
メニューが起動

3. メニューで動作を決定

⇨ 選択した動作を実現するための
アプリケーションが起動



ヒント

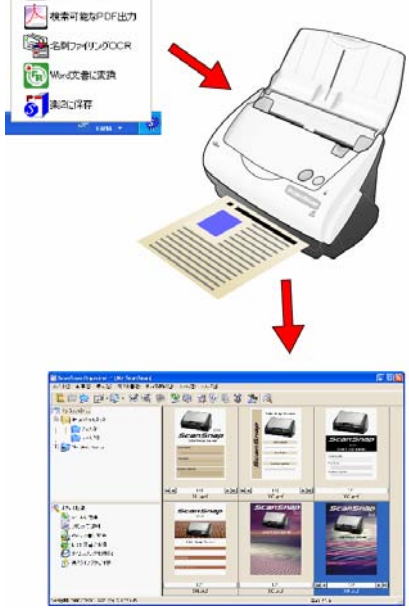
「クイックメニューモード」には、以下のような特徴があります。

- メニューで希望の動作を選択するため、初心者にも簡単に操作できます。
- 読み取った後に、メニューから希望の動作を選択するため、あらかじめ連携するアプリケーションを指定しておく必要がありません。

② 特定のアプリケーションを使用して読み取る方法　＜左クリックメニューモード＞

1. 「左クリックメニュー」で、使用する
   アプリケーションを選択

2. [スキャン]ボタンで読み取り



⇨　選択したアプリケーションが起動

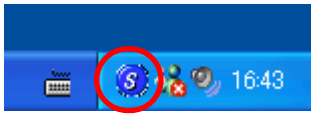
「左クリックメニューモード」には、以下のような特徴があります。

- ボタンを押すだけの 1 操作で読み取ることができます。
- 決まった読み取り設定を使用して読み取る場合に適しています。
- いろいろな読み取り条件を保存しておくことができます。

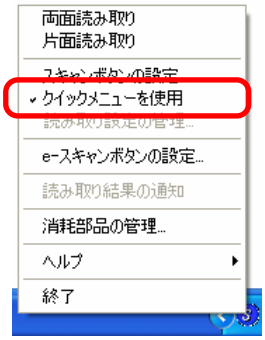
次のページから、さらに詳しい操作の流れについて説明します。

4.2. クイックメニューモードの読み取り方

1. タスク バーに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていることを確認します。



2. 「ScanSnap Manager」のアイコンを右クリックして表示されるメニューで、[クイックメニューを使用]にチェックを入れます。



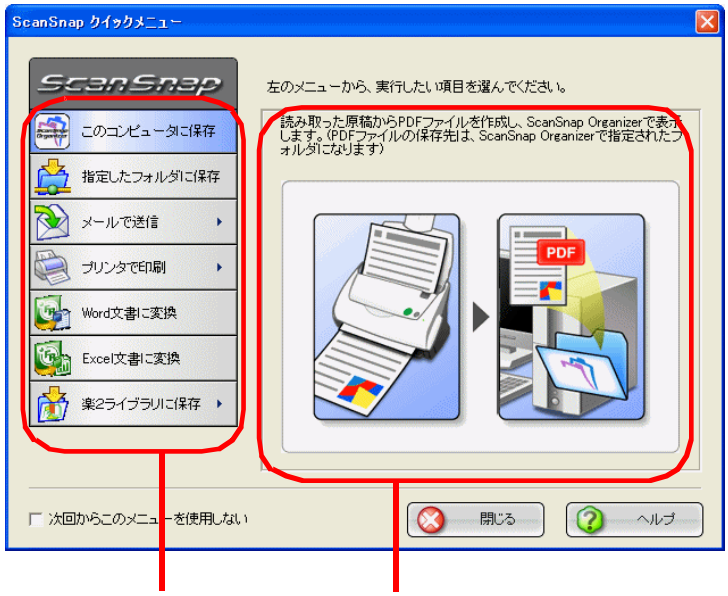
3. ScanSnap に原稿をセットします。

4. [スキャン]ボタンを押します。

   ⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

   ⇨ 読み取りが終わると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。

5. クイック メニューの左側の項目一覧から、実行したい動作を選択してクリックします。

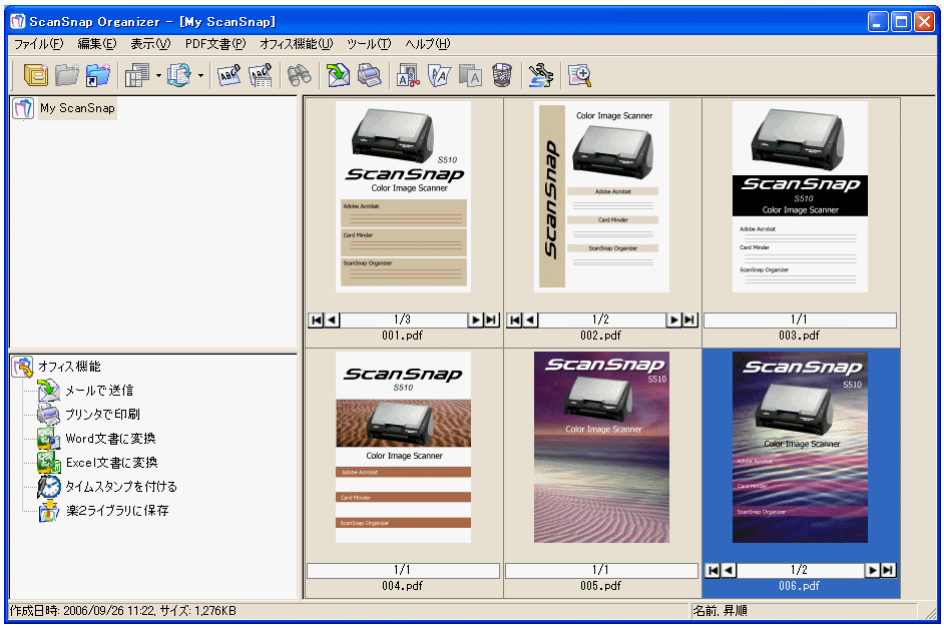


項目一覧

項 目 名	動 作
このコンピュータに保存 *1	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、ScanSnap Organizer を起動して、読み取り結果を表示します。ファイルは、ScanSnap Organizer で指定した場所(ご使用のパソコン)に保存されます。
指定したフォルダに保存	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、指定したフォルダ(共有フォルダ)に保存します。 ⇒「5.2. 指定したフォルダに保存する」(65ページ)
メールで送信	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、電子メールに添付した状態でメールソフトを起動します。 ⇒「5.3. メールに添付して送信する」(77ページ)
プリンタで印刷	読み取った原稿を、プリンタで印刷します。 ⇒「5.4. ScanSnap をコピー機代わりに利用する」(93ページ)
Word 文書に変換 *2	読み取った原稿を OCR 処理し、Word 文書に変換します。 ⇒「5.5. Word／Excel 文書に変換する」(103ページ)
Excel 文書に変換 *2	読み取った原稿を OCR 処理し、Excel 文書に変換します。 ⇒「5.5. Word／Excel 文書に変換する」(103ページ)
楽 2 ライブラリに保存 *3	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、楽 2 ライブラリのバインダに保存します。 ⇒「5.6. 楽 2 ライブラリと連携する」(115ページ)

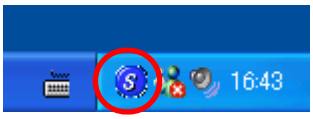
*1) ScanSnap Organizer がインストールされていない場合は表示されません。
*2) ABBYY FineReader for ScanSnap V3.0 がインストールされていない場合は表示されません。
*3) 楽 2 ライブラリ(別売)がインストールされていない場合は表示されません。
また、本機能を使用するには、楽 2 ライブラリ V4.0 以降が必要となります。

⇨ 選択した動作に合わせてアプリケーションが起動され、選択した動作が実行されます。
（「このコンピュータに保存」を実行した場合は、読み取ったイメージから PDF ファイルを作成し、ScanSnap Organizer で指定された保存場所に保存した後、ScanSnap Organizer を起動して、読み取った画面を表示します。）

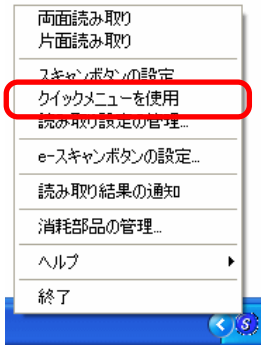


4.3. 左クリックメニューモードの読み取り方

1. タスク バーに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていることを確認します。



2. 「ScanSnap Manager」のアイコンを右クリックして表示されるメニューで、[クイックメニューを使用]のチェックを外します。

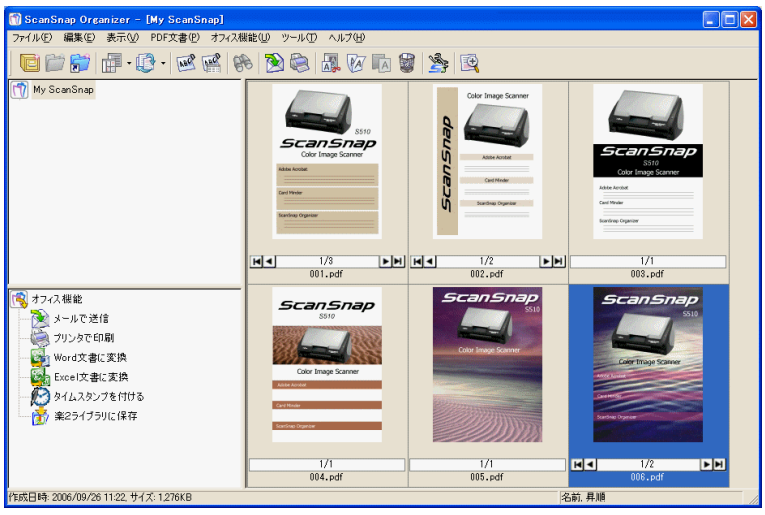


3. ScanSnap に原稿をセットします。

4. [スキャン]ボタンを押します。

   ⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

   ⇨ 付属のアプリケーション(ScanSnap Organizer など)が起動され、読み取ったイメージが表示されます。



4.4. クイックメニューモードと左クリックメニューモードの機能差

「クイックメニューモード」と「左クリックメニューモード」では、「読み取りと保存に関する設定」画面で設定できる項目が違います。用途に合わせて使い分けてください。

(○:設定可能、×:設定不可)

設定項目		クイックメニューモード	左クリックメニューモード
タブ名	機能名		
読み取り設定	読み取り設定の選択	×	○
	新規	×	○
	管理	×	○
アプリ選択	アプリケーションの選択 *1	×	○
	アプリケーションを起動しません(ファイル保存のみ)	×	○
	ScanSnap Organizer	×	○
	Adobe(R) Acrobat(R)	×	○
	Adobe(R) Acrobat(R) Reader(TM) または、Adobe(R) Reader(TM)	×	○
	名刺ファイリング OCR	×	○
	Excel 文書に変換	×	○
	Word 文書に変換	×	○
	指定したフォルダに保存	×	○
	メールで送信	×	○
	プリンタで印刷	×	○
保存先	イメージ保存先	○	○
	ファイル名の設定	○	○
	ファイル名変更	×	○
読み取りモード	画質の選択	○	○
	ノーマル(高速に読み取ります)	○	○
	ファイン(綺麗に読み取ります)	○	○
	スーパーファイン(より綺麗に読み取ります)	○	○
	エクセレント(更に綺麗に読み取ります)	○	○
	カラーモードの選択	○	○
	自動	○	○
	カラー	○	○
	白黒	○	○
	カラー高圧縮	×	○
	読み取り面の選択	○	○
	継続読み取りをします	○	○
	オプション	○	○
	白黒読み取りの濃度	○	○
	文字をくっきりします	○	○
	白紙ページを自動的に削除します	○	○
	文字列の傾きを自動的に補正します	○	○
	原稿の向きを自動的に補正します	○	○
	原稿を上向きにしてセットします	○	○

設 定 項 目		クイックメニューモード	左クリックメニューモード
タ ブ 名	機 能 名		
ファイル形式	ファイル形式の選択	×	○
	PDF(*.pdf)	○	○
	JPEG(*.jpg)	×	○
	テキスト認識して検索可能な PDF にする	○	○
	全ページ	○	○
	先頭ページのみ	○	○
	オプション	○	○
	すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします	○	○
	設定ページごとに PDF ファイルを作ります	○	○
	読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます	×	○
	読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます	×	○
原稿サイズ	原稿サイズの選択	○	○
	サイズ自動検出(S500 の場合) /サイズ自動選択(fi-5110EOX シリーズの場合)	○	○
	A4(210×297mm)	○	○
	A5(148×210mm)	○	○
	A6(105×148mm)	○	○
	B5(182×257mm)	○	○
	B6(128×182mm)	○	○
	はがき(100×148mm)	○	○
	名刺(90×55mm、55×90mm)	○	○
	レター(8.5 ×11 インチ、216×279.4mm)	○	○
	リーガル(8.5 ×14 インチ、216×355.6mm)	○	○
	カスタマイズ	○	○
	幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります (S500 のみ)	○	○
	A3 キャリアシート設定	○	○
ファイルサイズ	圧縮率	○	○
	1～5	○	○

*1) クイックメニューモード時は、読み取り後にクイックメニューから動作を指定することによって、関連したアプリケーションが起動されます。そのため、[アプリ選択]タブは表示されません。

5. オフィス機能について

日常のオフィス業務で役立つように、オフィスで日常よく使う機能を「オフィス機能」として準備しました。
この章では、オフィス機能の使い方について説明します。

5.1. 追加される機能について

オフィス機能は、以下のような要望を実現します。

・ScanSnap で読み取った資料をみんなで共有化したい。
⇒ [スキャン]ボタンを押すだけで、読み取ったデータを、ネットワーク上の共有フォルダに直接保存できます。また、保存先情報は、電子メールに自動的に記載させることができるので、簡単にお知らせできます。

・もうすぐ打ち合わせがあるので、手元にある紙の資料を電子メールで関係者に送りたい。
⇒ [スキャン]ボタンを押すだけで、電子メールに添付して素早く送付できます。

・資料をコピーしたいが、コピー機の所まで行くのが面倒だ。
⇒ [スキャン]ボタンを押すだけで、プリンタを使って印刷できます。

・紙文書の内容を引用したいが、入力するのが面倒だ。
⇒ [スキャン]ボタンを押すだけで、読み取ったデータを文字認識し、Word 文書/Excel 文書に変換できます。

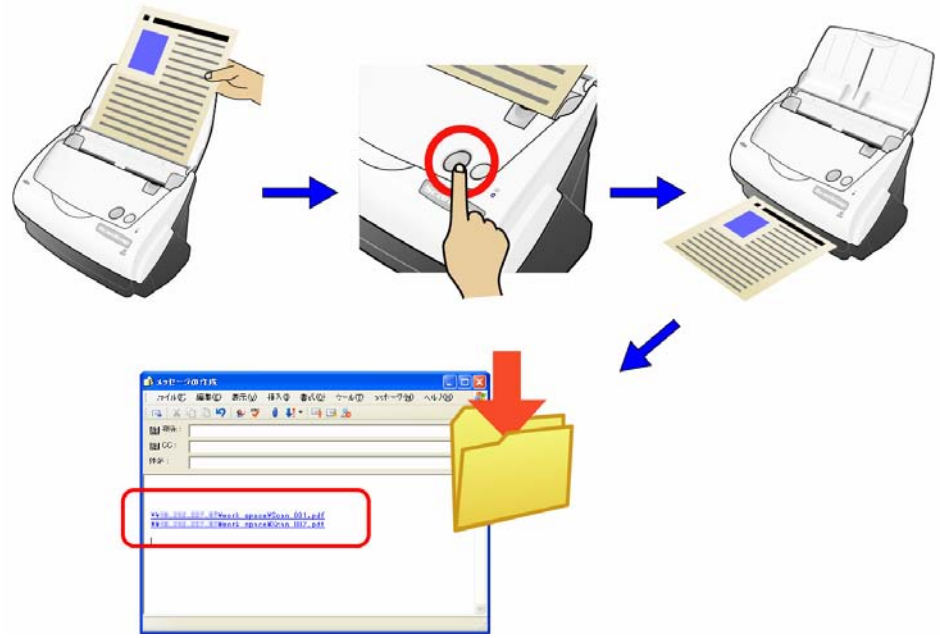
・楽 2 ライブラリを使って、ScanSnap で読み取ったデータを管理したい。
⇒ [スキャン]ボタンを押すだけで、楽 2 ライブラリに直接保存できます。

以下に、具体的な使用方法について説明します。

5.2. 指定したフォルダに保存する

ScanSnap で読み取ったイメージを、任意の共有フォルダに保存する方法について説明します。この機能を使えば、ネットワーク上の共有フォルダに ScanSnap で読み取ったファイルを保存して、情報共有を図れます。

ScanSnap で原稿を読み取ると、ファイルが作成され、指定したフォルダに保存されます。
さらに、保存先を関係者にお知らせするために、メールソフトを起動し電子メール本文に保存先情報を表示する機能もあります。



- メールソフトには、Internet Explorer の[ツール]メニューにある[インターネットオプション]の[プログラム]タブにある「電子メール:」で設定されているアプリケーションが使用されます。
  設定されていない場合は、ご利用になるメールソフトを「電子メール:」に設定してください。(ここで設定できないメールソフトは、起動することができません。)
  なお、動作確認できているメールソフトは以下のとおりです。
  - Microsoft® Windows® Mail (Windows Vista の場合)
  - Microsoft® Outlook® 2003
  - Microsoft® Outlook Express 6
  - Netscape Mail 7.1
    ※ Netscape Mail を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
  - Becky! Internet Mail Ver.2.26
  - Eudora version 7-J
  - Thunderbird version 1.5.0.7
    ※ Netscape Mail を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
  - WinBiff version 2.50 PL2
    ※ WinBiff を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
- Internet Explorer の[ツール]メニューにある[インターネットオプション]の[プログラム]タブにある「電子メール:」で設定されているアプリケーションであっても、正しく連携されないメールソフトがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。
- Windows XP(Professional、Home Edition)環境で、連携メールとして Hotmail を使用した場合、メールの送信に失敗すると選択したファイルの拡張子が変わることが確認されています(拡張子に「^」が付いたものに変わります)。
  この現象は、Windows XP とHotmail の組み合わせでのみ発生する問題で、エクスプローラ上からメール送信を行った場合でも発生します。Hotmail 以外の、対応が確認されているメールソフトを使用してください(2006 年 12 月現在)。

5.2.1. クイックメニューモードの場合

1. ScanSnap に原稿をセットします。
2. [スキャン]ボタンを押します。

   ⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

   ⇨ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。

3. 「指定したフォルダに保存」の上にマウスのポインタを移動します。

   ⇨ 動作説明が、「指定したフォルダに保存」に関する説明に切り替わります。

4. 「指定したフォルダに保存」をクリックします。

   ⇨ プレビュー画面が表示されます。

5. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名や保存先フォルダを変更したり、メールで保存先の情報をお知らせするような設定にしたりすることもできます。

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。

以下のボタンで操作します。

⏮	：	先頭ページに戻ります。
◀	：	前ページに戻ります。
▶	：	次ページに進みます。
⏭	：	最終ページに進みます。
1/2	：	表示中のページ/総ページ数を表示します。
🔍+	：	画像を拡大します。
🔍-	：	画像を縮小します。

画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

ファイル名の指定

現在選択されているファイルのファイル名、ファイル数、ファイルサイズが表示されます。

ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えたりすることができます。

ファイル名表示域

現在選択されているファイルの名前が表示されます。

ここで、直接ファイル名を入力して変更することができます。

ファイル名は、最大 100 文字まで指定できます。

ファイルが複数ある場合は、ボタンをクリックすると表示される一覧から選択して切り替えます。

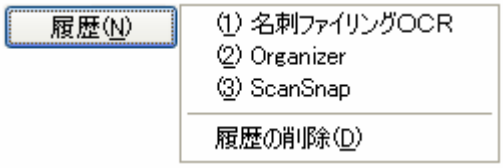
「ファイル名」の右側に、総ファイル数(Y)と、現在何番目(X)のファイル名が表示されているかが、「X / Y ファイル」という形で表示されます。

[履歴]ボタン

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。

(「ファイル名の指定」でファイル名を変更しない場合は、履歴に追加されません。)

(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に消去されていきます。)



この中から任意の名前を選択すると、ファイル名が同じ名前に変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

[連番を付ける]ボタン

ファイルが複数ある場合、ファイル名の最後に「_」+「連番」を追加します。連番には、1～6 桁までの数字を指定できます。

この際、ファイル名は、現在選択されているファイル名に統一されます。

例) Scan.pdf、Snap.pdf、S510.pdf の 3 つのファイルがある場合に、「Snap.pdf」を選択した状態で、3 桁の連番を指定すると、ファイル名は、Snap_001.pdf、Snap_002.pdf、Snap_003.pdf となります。

総ファイルサイズ

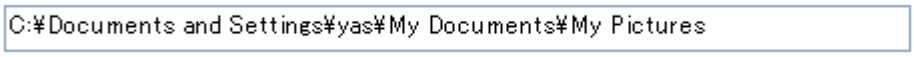
ファイルのサイズを表示します。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが表示されます。

保存先フォルダの指定

ファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先が変更できます。

保存先フォルダ表示域

現在選択されているフォルダのパス名が表示されます。

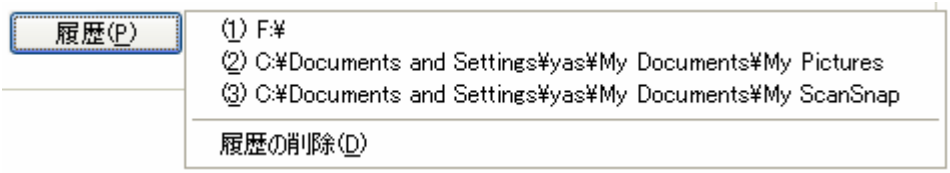


ここで、保存先を入力して変更することができます。

保存先は、ファイル名を含めて、全体が半角 220 文字以下になるように指定してください。

[履歴]ボタン

過去に指定したフォルダの履歴が表示されます。(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に消去されていきます。)



この中から、任意のフォルダを指定すると、ファイルの保存先フォルダが変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

[参照]ボタン

ファイルの保存先フォルダを指定します。

「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックス

ファイルを保存した後に、メールソフトを起動し、保存先情報を記載した電子メールを表示します。

[保存]ボタン

本画面の設定で、ファイルを保存します。

[キャンセル]ボタン

本画面で設定した内容がキャンセルされて、「ScanSnap クイックメニュー」で項目を選択する前の状態に戻ります。

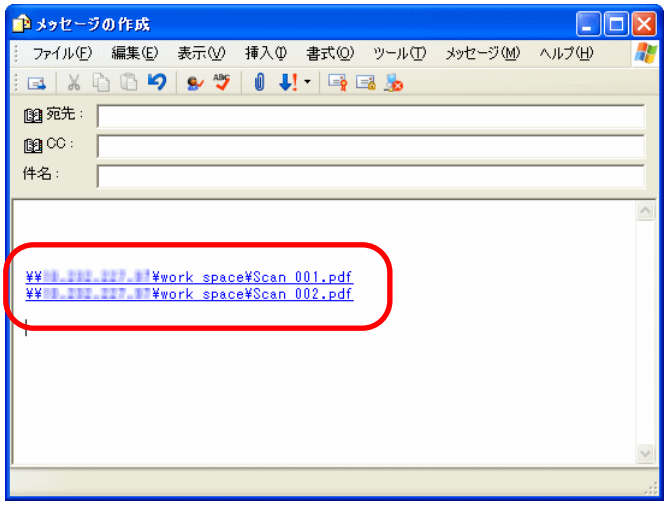
[ヘルプ]ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

6. [保存]ボタンをクリックします。

⇨ ファイルが、指定したフォルダに保存されます。

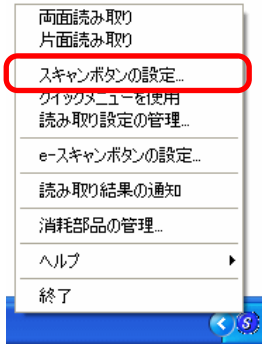
⇨ プレビュー画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを入れた場合、メールソフトが起動し、ファイルの保存先情報が電子メール本文に記載されます。



- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。
  処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

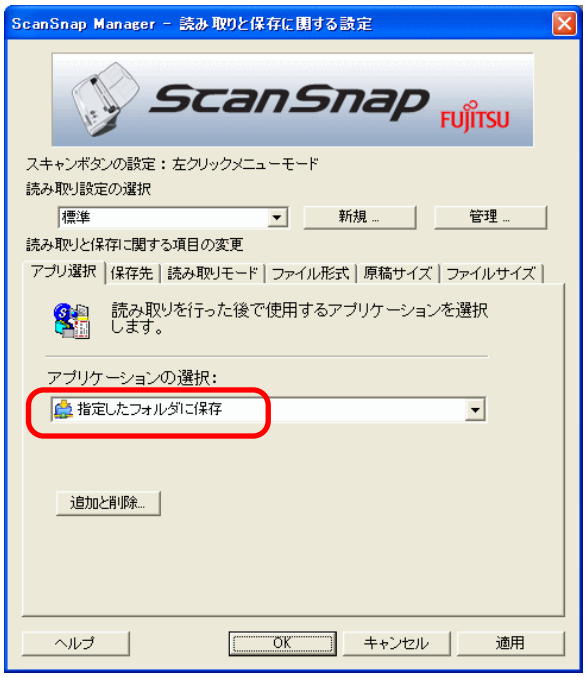
5.2.2. 左クリックメニューモードの場合

1. 「ScanSnap Manager」のアイコンを右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定]を選択します。



⇨「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択]タブの「アプリケーションの選択:」で「指定したフォルダに保存」を選択します。



3. [OK]ボタンをクリックします。

⇨「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「3.3.1. 読み取り設定の登録」(37ページ)を参照してください。

4. ScanSnap に原稿をセットします。

5. [スキャン]ボタンを押します。

⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

⇨ 読み取りが完了したら、プレビュー画面が表示されます。

6. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名や保存先フォルダを変更したり、メールで保存先の情報をお知らせするような設定にしたりすることもできます。

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。

以下のボタンで操作します。

	:	先頭ページに戻ります。
	:	前ページに戻ります。
	:	次ページに進みます。
	:	最終ページに進みます。
1/2	:	表示中のページ/総ページ数を表示します。
	:	画像を拡大します。
	:	画像を縮小します。

画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

ファイル名の指定

現在選択されているファイルのファイル名、ファイル数、ファイルサイズが表示されます。

ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えたりすることができます。

ファイル名表示域

現在選択されているファイルの名前が表示されます。

ここで、直接ファイル名を入力して変更することができます。

ファイル名は、最大 100 文字まで指定できます。

ファイルが複数ある場合は、ボタンをクリックすると表示される一覧から選択して切り替えます。

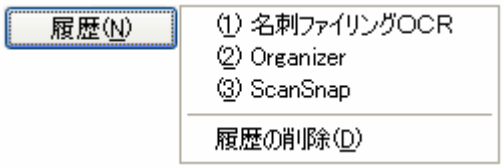
「ファイル名」の右側に、総ファイル数(Y)と、現在何番目(X)のファイル名が表示されているかが、「X / Y ファイル」という形で表示されます。

[履歴]ボタン

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。

(「ファイル名の指定」でファイル名を変更しない場合は、履歴に追加されません。)

(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に消去されていきます。)



この中から任意の名前を選択すると、ファイル名が同じ名前に変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

[連番を付ける]ボタン

ファイルが複数ある場合、ファイル名の最後に「_」+「連番」を追加します。連番には、1～6 桁までの数字を指定できます。

この際、ファイル名は、現在選択されているファイル名に統一されます。

例) Scan.pdf、Snap.pdf、S510.pdf の 3 つのファイルがある場合に、「Snap.pdf」を選択した状態で、3 桁の連番を指定すると、ファイル名は、Snap_001.pdf 、Snap_002.pdf 、Snap_003.pdf となります。

総ファイルサイズ

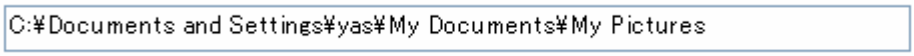
ファイルのサイズを表示します。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが表示されます。

保存先フォルダの指定

ファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先が変更できます。

保存先フォルダ表示域

現在選択されているフォルダのパス名が表示されます。

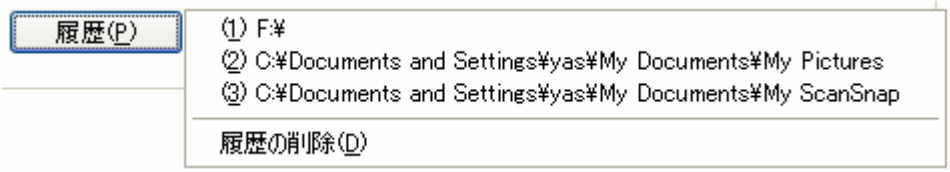


ここで、保存先を入力して変更することができます。

保存先は、ファイル名を含めて、全体が半角 220 文字以下になるように指定してください。

[履歴]ボタン

過去に指定したフォルダの履歴が表示されます。(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に消去されていきます。)



この中から、任意のフォルダを指定すると、ファイルの保存先フォルダが変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

[参照]ボタン

ファイルの保存先フォルダを指定します。

「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックス

ファイルを保存した後に、メールソフトを起動し、保存先情報を記載した電子メールを表示します。

[保存]ボタン

本画面の設定で、ファイルを保存します。

[キャンセル]ボタン

処理がキャンセルされます。

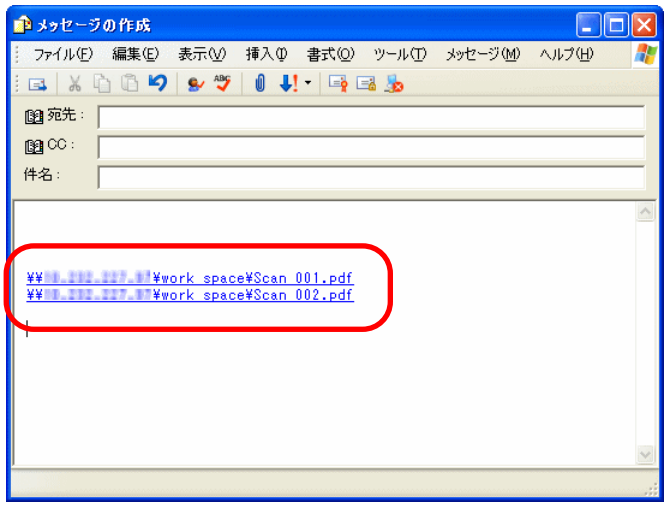
[ヘルプ]ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

7. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

⇨ ファイルが、指定したフォルダに保存されます。

⇨ プレビュー画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを入れた場合、メールソフトが起動し、ファイルの保存先情報が電子メール本文に記載されます。

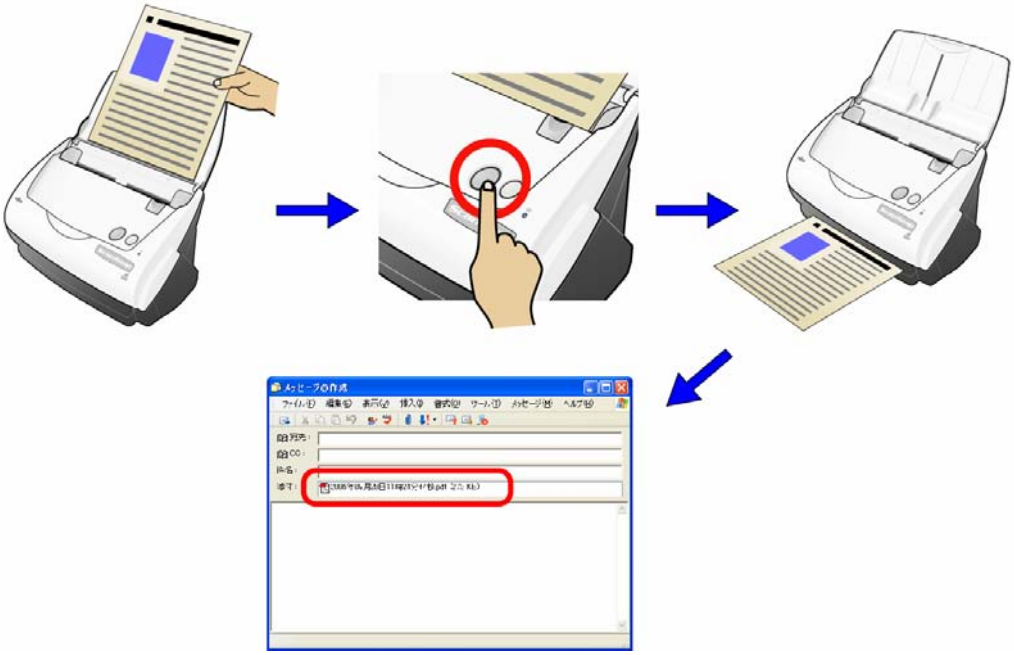


- プレビュー画面表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。プレビュー画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- プレビュー画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

5.3. メールに添付して送信する

ScanSnap で読み取ったイメージを電子メールに添付して送付する方法について説明します。

ScanSnap で原稿を読み取ると、ファイルが作成され、メールソフトが起動されて、電子メールに添付されます。



- メールソフトには、Internet Explorer の[ツール]メニューにある[インターネットオプション]の[プログラム]タブにある「電子メール:」で設定されているアプリケーションが使用されます。
  設定されていない場合は、ご利用になるメールソフトを「電子メール:」に設定してください。(ここで設定できないメールソフトは、起動することができません。)
  なお、動作確認できているメールソフトは以下のとおりです。
  - Microsoft® Windows® Mail (Windows Vista の場合)
  - Microsoft® Outlook® 2003
  - Microsoft® Outlook Express 6
  - Netscape Mail 7.1
    ※ Netscape Mail を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
  - Becky! Internet Mail Ver.2.26
  - Eudora version 7-J
  - Thunderbird version 1.5.0.7
    ※ Netscape Mail を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
  - WinBiff version 2.50 PL2
    ※ WinBiff を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
- Internet Explorer の[ツール]メニューにある[インターネットオプション]の[プログラム]タブにある「電子メール:」で設定されているアプリケーションであっても、正しく連携されないメールソフトがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。
  なお、メールソフトによっては、添付したファイルのサイズが、正しく表示されない場合がありますが、実際に添付したファイルには問題はありません。
- Windows XP(Professional、Home Edition)環境で、連携メールとして Hotmail を使用した場合、メールの送信に失敗すると選択したファイルの拡張子が変わることが確認されています(拡張子に「^」が付いたものに変わります)。
  この現象は、Windows XP と Hotmail の組み合わせでのみ発生する問題で、エクスプローラ上からメール送信を行った場合でも発生します。Hotmail 以外の、対応が確認されているメールソフトを使用してください(2006 年 12 月現在)。

5.3.1. クイックメニューモードの場合

1. ScanSnap に原稿をセットします。
2. [スキャン]ボタンを押します。

   ⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

   ⇨ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。

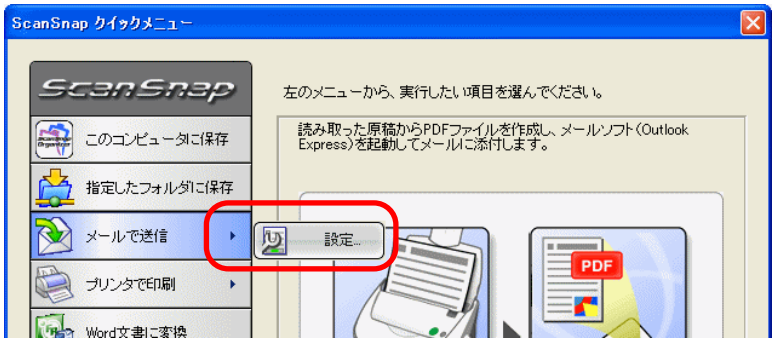
3. 「メールで送信」の上にマウスのポインタを移動します。

   ⇨ 動作説明が、「メールで送信」に関する説明に切り替わります。

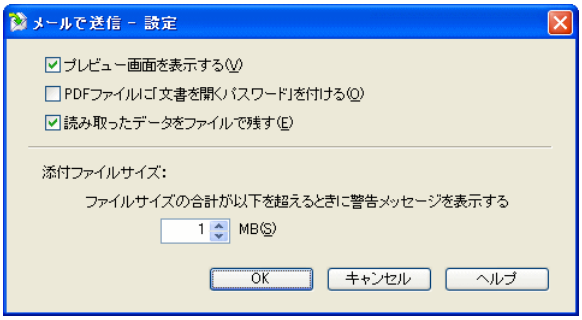
4. 「メールで送信」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを▶の上に移動し、表示される[設定]ボタン

をクリックします。

   （不要な場合は、操作6に進んでください。）



⇨ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「メールで送信」に関する以下の設定を変更することができます。

「プレビュー画面を表示する」チェックボックス

読み取った後に、プレビュー画面を表示します。

読み取り結果を確認した上で、電子メールに添付することができます。

「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス

PDF ファイルを電子メールに添付する際に、PDF ファイルに、ファイルを開くためのパスワードを付加します。この機能を使用すると、電子メールに添付された PDF ファイルは、パスワードを入力しないと開けなくなるので、第三者に知られたくない重要な書類などを安全に送付することができます。

※ Windows Vista で本機能を使用する場合は、Adobe Acrobat をインストールしておく必要があります。

「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の[保存先]タブ(24ページ)で指定したフォルダに保存されます。

添付ファイルサイズ

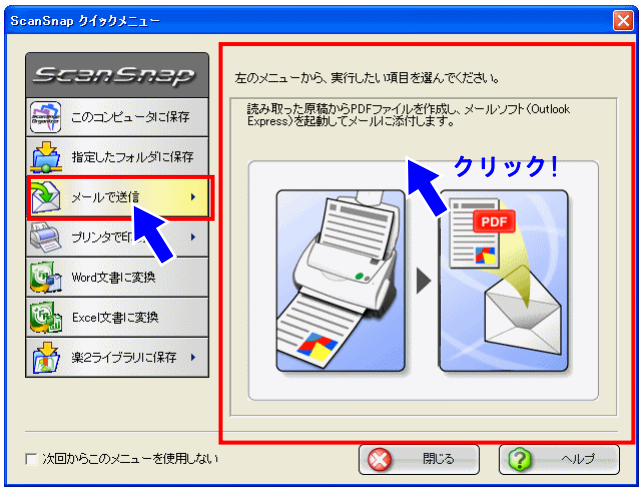
読み取ったファイルがこのサイズを超えた場合に警告メッセージを表示します。

1～10MB まで指定できます。

※ 警告メッセージが出ても添付して送信は可能です。使用環境によりますが、添付ファイルのサイズは 1～2MB までを推奨します。

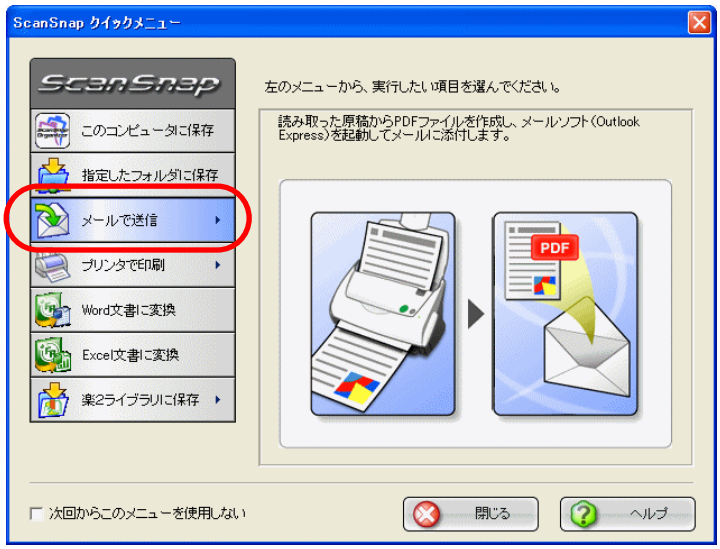
5. ［OK］ボタンをクリックして、「メールで送信-設定」画面を閉じます。

［設定］ボタンをクリックすると、選択されている項目の色が黄色に変わり、選択項目がロックされて他の項目を選択できなくなります。
この状態で、他の項目を選択したい場合は、「メールで送信-設定」画面を閉じた後、一旦画面のボタン以外の任意の場所をクリックするか、選択中の項目の上にマウスのポインタを移動してください。



⇨ ロックが解除されて、選択されている項目の色が青色に戻り、他の項目が選択できるようになります。

6. 「メールで送信」をクリックします。



⇨ プレビュー画面が表示されます。
（表示させない設定にすることもできます。）

7. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名を変更したり、ファイルを開く際のパスワードを付けるかどうかを指定したり、メール送信後にファイルを残しておくかどうかを指定したりすることもできます。

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。

以下のボタンで操作します。

⏮	：	先頭ページに戻ります。
◀	：	前ページに戻ります。
▶	：	次ページに進みます。
⏭	：	最終ページに進みます。
1/2	：	表示中のページ/総ページ数を表示します。
🔍+	：	画像を拡大します。
🔍-	：	画像を縮小します。

画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

ファイル名の指定

現在選択されているファイルのファイル名、ファイル数、ファイルサイズが表示されます。

ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えたりすることができます。

ファイル名表示域

現在選択されているファイルの名前が表示されます。

ここで、直接ファイル名を入力して変更することができます。

ファイル名は、最大 100 文字まで指定できます。

ファイルが複数ある場合は、ボタンをクリックすると表示される一覧から選択して切り替えます。

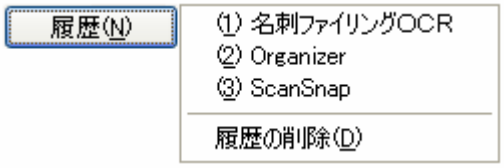
「ファイル名」の右側に、総ファイル数(Y)と、現在何番目(X)のファイル名が表示されているかが、「X / Y ファイル」という形で表示されます。

[履歴]ボタン

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。

(「ファイル名の指定」でファイル名を変更しない場合は、履歴に追加されません。)

(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に削除されていきます。)



この中から任意の名前を選択すると、ファイル名が同じ名前に変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

[連番を付ける]ボタン

ファイルが複数ある場合、ファイル名の最後に「_」+「連番」を追加します。連番には、1～6 桁までの数字を指定できます。

この際、ファイル名は、現在選択されているファイル名に統一されます。

例)Scan.pdf、Snap.pdf、S510.pdfの 3 つのファイルがある場合に、「Snap.pdf」を選択した状態で、3 桁の連番を指定すると、ファイル名は、Snap_001.pdf、Snap_002.pdf、Snap_003.pdf となります。

総ファイルサイズ

ファイルのサイズを表示します。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが表示されます。

(ご使用のメールソフトによっては、ここに表示されるファイルサイズと、この後にメールソフト上で表示される添付ファイルのサイズが異なる場合がありますが、計算方法の違いによるもので、実際のファイルが異なるわけではありません。)

「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス

PDF ファイルを電子メールに添付する際に、PDF ファイルに、ファイルを開くためのパスワードを付加します。この機能を使用すると、電子メールに添付された PDF ファイルは、パスワードを入力しないと開けなくなるので、第三者に知られたくない重要な書類などを安全に送付することができます。

※ Windows Vista で本機能を使用する場合は、Adobe Acrobat をインストールしておく必要があります。

「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の[保存先]タブ(24ページ)で指定したフォルダに保存されます。

「次回からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、プレビュー画面を表示しません。

操作7が省略されます。

[メールに添付]ボタン

本画面の設定で、ファイルを電子メールに添付します。

[キャンセル]ボタン

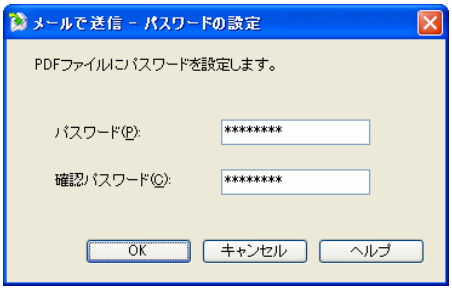
本画面で設定した内容がキャンセルされて、「ScanSnap クイックメニュー」で項目を選択する前の状態に戻ります。

[ヘルプ]ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

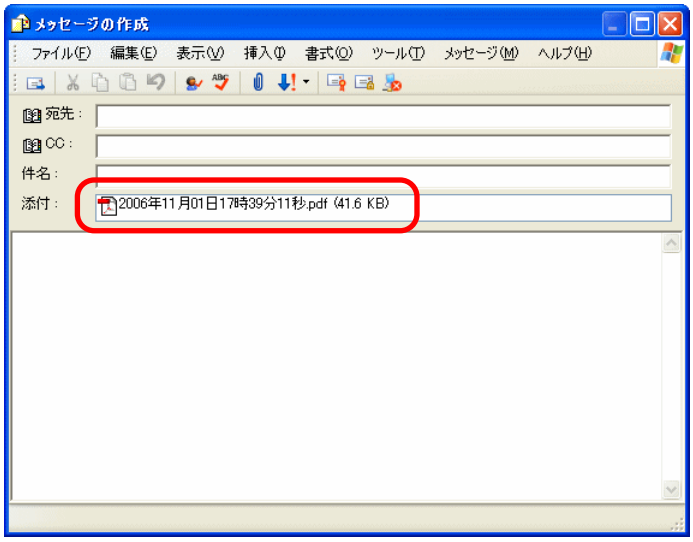
8. [メールに添付]ボタンをクリックします。

⇨ プレビュー画面で、「PDF ファイルを添付するときに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスにチェックを入れた場合、ここで、パスワード入力画面が表示されます。



パスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

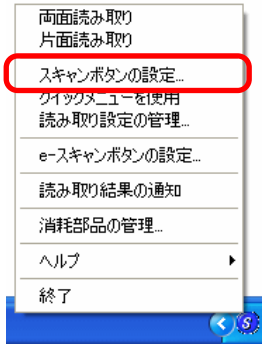
⇨ メールソフトが起動し、電子メールにファイルが添付されます。



- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。
  処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

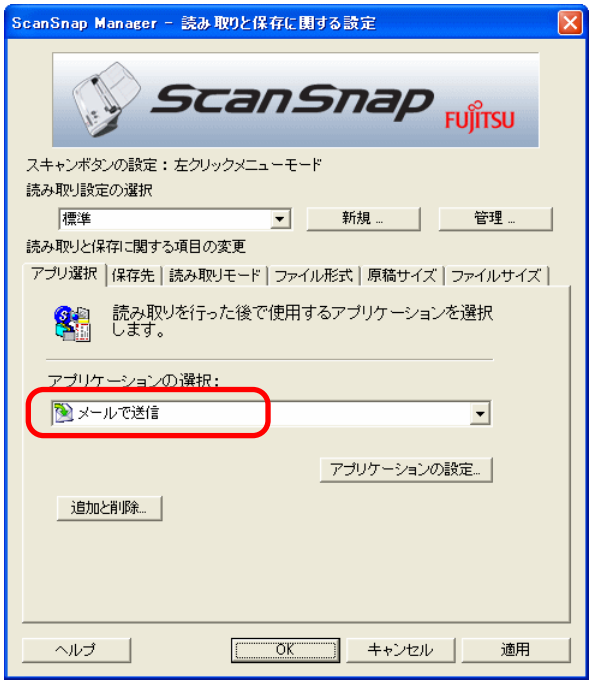
5.3.2. 左クリックメニューモードの場合

1. 「ScanSnap Manager」のアイコンを右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定]を選択します。



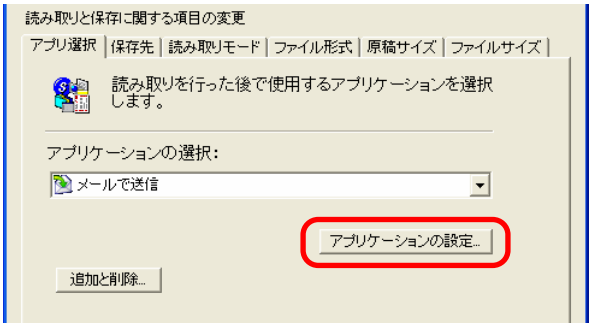
⇨「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択]タブの「アプリケーションの選択:」で「メールで送信」を選択します。

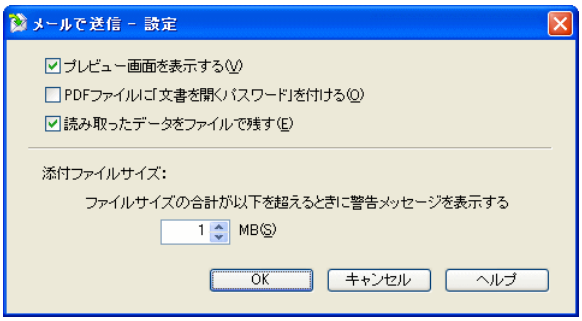


3. 「メールで送信」に関する設定を変更する場合は、[アプリケーションの設定]ボタンをクリックして変更します。

（不要な場合は、操作5に進んでください。）



⇨ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「メールで送信」に関する以下の設定を変更することができます。

「プレビュー画面を表示する」チェックボックス

読み取った後に、プレビュー画面を表示します。

読み取り結果を確認した上で、電子メールに添付することができます。

「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス

PDF ファイルを電子メールに添付する際に、PDF ファイルに、ファイルを開くためのパスワードを付加します。この機能を使用すると、電子メールに添付された PDF ファイルは、パスワードを入力しないと開けなくなるので、第三者に知られたくない重要な書類などを安全に送付することができます。

※ Windows Vista で本機能を使用する場合は、Adobe Acrobat をインストールしておく必要があります。

「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の[保存先]タブ（24ページ）で指定したフォルダに保存されます。

添付ファイルサイズ

読み取ったファイルがこのサイズを超えた場合に警告メッセージを表示します。

1～10MB まで指定できます。

※ 警告メッセージが出ても添付して送信は可能です。使用環境によりますが、添付ファイルのサイズは 1～2MB までを推奨します。

4. [OK]ボタンをクリックします。

⇨ 「メールで送信-設定」画面が閉じます。

5. [OK]ボタンをクリックします。

⇨ 「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「3.3.1. 読み取り設定の登録」(37ページ)を参照してください。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

7. [スキャン]ボタンを押します。

⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

⇨ 読み取りが完了したら、プレビュー画面が表示されます。

(表示させない設定にすることもできます。)

8. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名を変更したり、ファイルを開く際のパスワードを付けるかどうかを指定したり、メール送信後にファイルを残しておくかどうかを指定したりすることもできます。

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。

以下のボタンで操作します。

	：	先頭ページに戻ります。
	：	前ページに戻ります。
	：	次ページに進みます。
	：	最終ページに進みます。
1/2	：	表示中のページ/総ページ数を表示します。
	：	画像を拡大します。
	：	画像を縮小します。

画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

ファイル名の指定

現在選択されているファイルのファイル名、ファイル数、ファイルサイズが表示されます。

ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えたりすることができます。

ファイル名表示域

現在選択されているファイルの名前が表示されます。

ここで、直接ファイル名を入力して変更することができます。

ファイル名は、最大 100 文字まで指定できます。

ファイルが複数ある場合は、ボタンをクリックすると表示される一覧から選択して切り替えます。

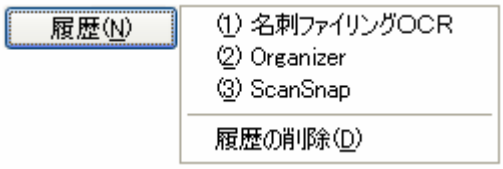
「ファイル名」の右側に、総ファイル数(Y)と、現在何番目(X)のファイル名が表示されているかが、「X / Y ファイル」という形で表示されます。

[履歴]ボタン

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。

(「ファイル名の指定」でファイル名を変更しない場合は、履歴に追加されません。)

(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に削除されていきます。)



この中から任意の名前を選択すると、ファイル名が同じ名前に変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

[連番を付ける]ボタン

ファイルが複数ある場合、ファイル名の最後に「_」+「連番」を追加します。連番には、1～6 桁までの数字を指定できます。

この際、ファイル名は、現在選択されているファイル名に統一されます。

例)Scan.pdf、Snap.pdf、S510.pdfの 3 つのファイルがある場合に、「Snap.pdf」を選択した状態で、3 桁の連番を指定すると、ファイル名は、Snap_001.pdf、Snap_002.pdf、Snap_003.pdf となります。

総ファイルサイズ

ファイルのサイズを表示します。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが表示されます。

(ご使用のメールソフトによっては、ここに表示されるファイルサイズと、この後にメールソフト上で表示される添付ファイルのサイズが異なる場合がありますが、計算方法の違いによるもので、実際のファイルが異なるわけではありません。)

「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス

PDF ファイルを電子メールに添付する際に、PDF ファイルに、ファイルを開くためのパスワードを付加します。この機能を使用すると、電子メールに添付された PDF ファイルは、パスワードを入力しないと開けなくなるので、第三者に知られたくない重要な書類などを安全に送付することができます。

※ Windows Vista で本機能を使用する場合は、Adobe Acrobat をインストールしておく必要があります。

「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の[保存先]タブ(24ページ)で指定したフォルダに保存されます。

「次回からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、プレビュー画面を表示しません。

操作7が省略されます。

[メールに添付]ボタン

本画面の設定で、ファイルを電子メールに添付します。

[キャンセル]ボタン

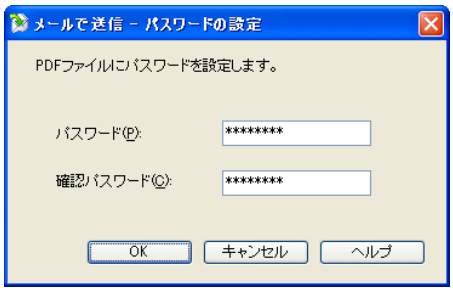
処理がキャンセルされます。

[ヘルプ]ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

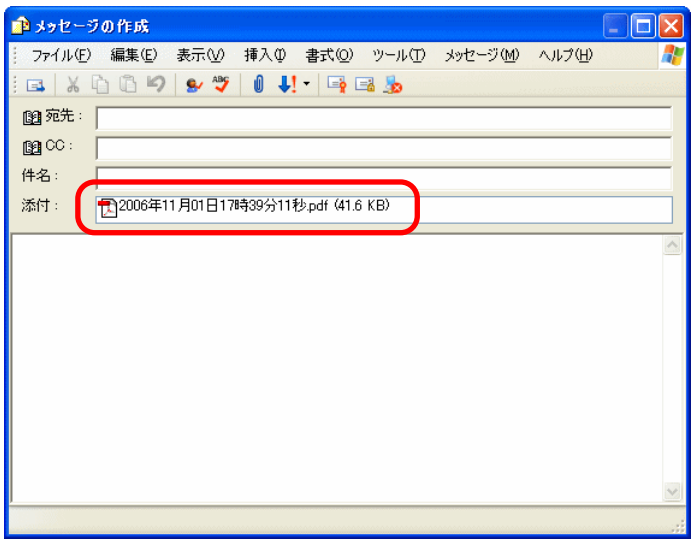
9. [メールに添付]ボタンをクリックします。

⇨ プレビュー画面で、「PDF ファイルを添付するときに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスにチェックを入れた場合、ここで、パスワード入力画面が表示されます。



パスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

⇨ メールソフトが起動し、電子メールにファイルが添付されます。

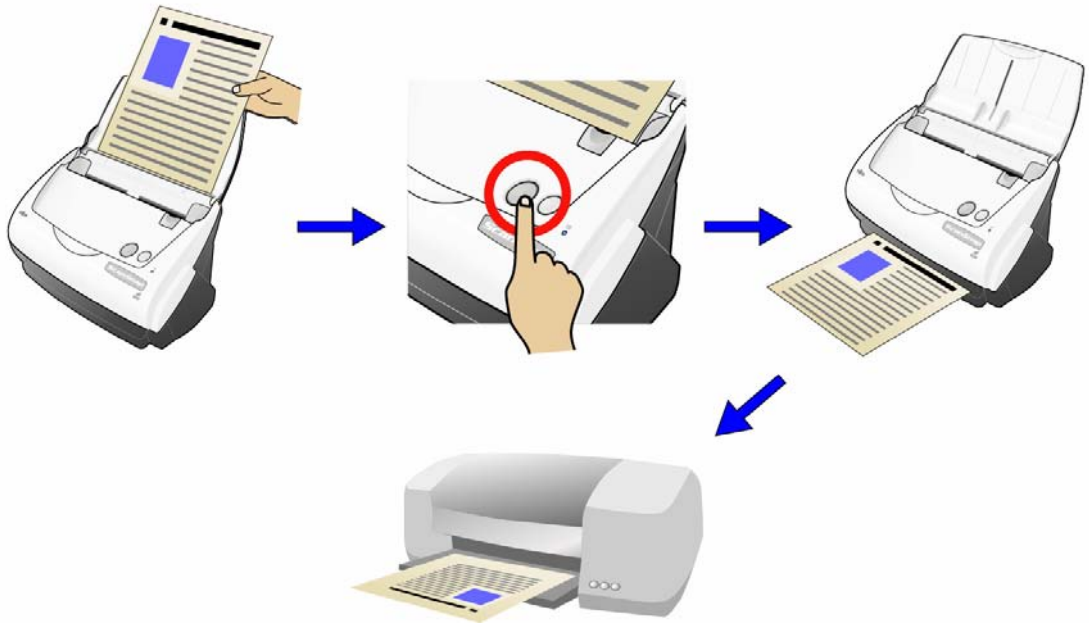


- プレビュー画面表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。プレビュー画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- プレビュー画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

5.4. ScanSnap をコピー機代わりに利用する

ScanSnap で読み取ったイメージをプリンタを使って印刷する方法について説明します。この機能を使えば、ScanSnap をコピー機代わりに使うことができます。

ScanSnap で原稿を読み取ると、読み取った結果がプリンタで印刷されます。



- 初期設定では、印刷には、Windows で「通常使うプリンタに設定」されているプリンタが使用されます。読み取り後に、プリンタを指定するように設定することもできます。
- 読み取り方法および原稿の状態によっては、印刷されるイメージに、原稿の端の影が線として表示される場合があります

5.4.1. クイックメニューモードの場合

1. ScanSnap に原稿をセットします。
2. [スキャン]ボタンを押します。

   ⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

   ⇨ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。

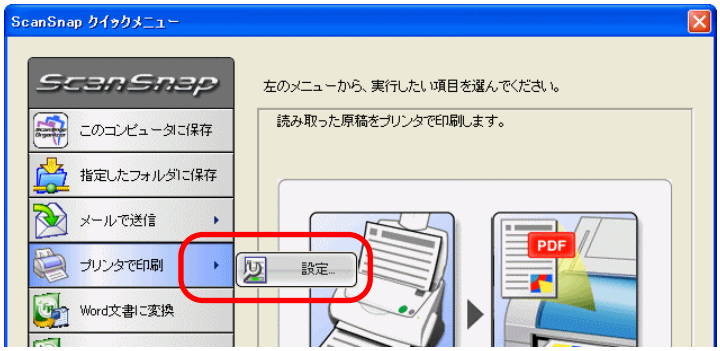
3. 「プリンタで印刷」の上にマウスのポインタを移動します。

   ⇨ 動作説明が、「プリンタで印刷」に関する説明に切り替わります。

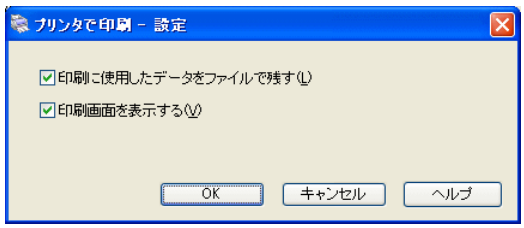
4. 「プリンタで印刷」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを▶の上に移動し、表示される[設定]ボタン

をクリックします。

   （不要な場合は、操作6に進んでください。）



⇨ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「プリンタで印刷」に関する以下の設定を変更することができます。

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の[保存先]タブ(24ページ)で指定したフォルダに保存されます。

「印刷画面を表示する」チェックボックス

印刷する前に、印刷設定画面を表示します。

5. [OK]ボタンをクリックして、「プリンタで印刷-設定」画面を閉じます。

[設定]ボタンをクリックすると、選択されている項目の色が黄色に変わり、選択項目がロックされて他の項目を選択できなくなります。
この状態で、他の項目を選択したい場合は、「プリンタで印刷-設定」画面を閉じた後、一旦画面のボタン以外の任意の場所をクリックするか、選択中の項目の上にマウスのポインタを移動してください。

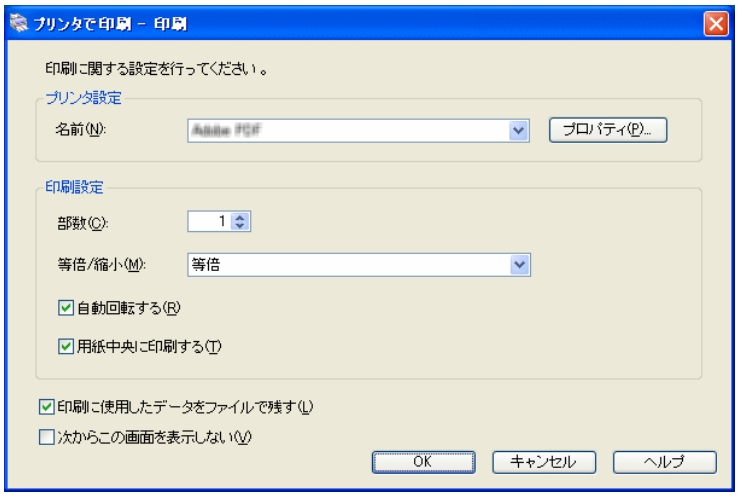
⇨ ロックが解除されて、選択されている項目の色が青色に戻り、他の項目が選択できるようになります。

6. 「プリンタで印刷」をクリックします。

⇨ 「プリンタで印刷－印刷」画面が表示されます。

（操作4で、「印刷画面を表示する」チェックボックスにチェックを入れなかった場合は、このまま印刷が実行されます。）

7. 印刷設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。



プリンタ設定

印刷に使用するプリンタを指定します。

名前

現在設定されているプリンタの名称が表示されます。

プリンタを変更する場合は、ボタンをクリックして、表示される一覧の中から使用するプリンタを選択します。

[プロパティ]ボタン

現在選択されているプリンタの設定画面が表示されます。

なお、このボタンをクリックして表示されるプリンタのオプションを変更する画面に、「プリンタで印刷－印刷」画面と同様の設定項目がある場合は、「プリンタで印刷－印刷」画面の設定内容が優先されます。

印刷設定

印刷様式を指定します。

部数

印刷部数を指定します。1～99 部まで指定可能です。

等倍/縮小

印刷する画像について、そのままのサイズで印刷するか、出力用紙サイズに合わせて画像を縮小して印刷するかを選択します。

等倍:	画像と同じサイズで印刷します。
出力用紙サイズに縮小する:	出力する用紙が画像のサイズより小さい場合に、画像全体が印刷できるように、用紙のサイズにあわせて画像を縮小して印刷します。

「自動回転する」チェックボックス

印刷する画像の縦横の比率に合わせて最適な方向に回転して印刷します。

「用紙中央に印刷する」チェックボックス

画像を用紙の中央に印刷します。

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の[保存先]タブ(24ページ)で指定したフォルダに保存されます。

「次回からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、この画面を表示しません。操作7が省略されます。

[OK]ボタン

本画面の設定で、印刷を実行します。

[キャンセル]ボタン

本画面で設定した内容がキャンセルされて、「ScanSnap クイックメニュー」で項目を選択する前の状態に戻ります。

[ヘルプ]ボタン

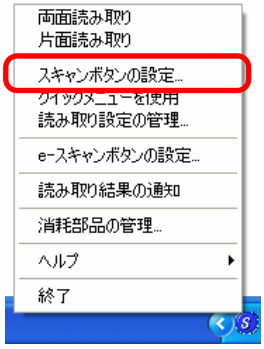
印刷画面に関するヘルプを表示します。

⇨ 印刷が実行されます。

- クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷－印刷」画面が閉じるまでの間は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。
  処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷－印刷」画面が閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

5.4.2. 左クリックメニューモードの場合

1. 「ScanSnap Manager」のアイコンを右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定]を選択します。

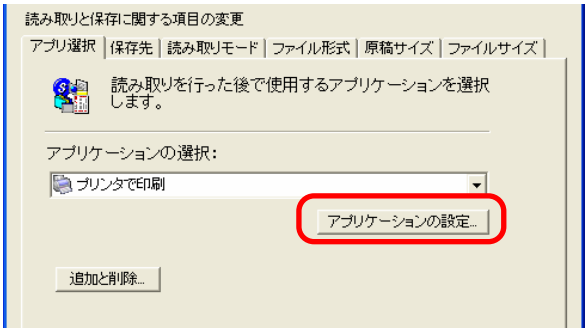


⇨ 「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

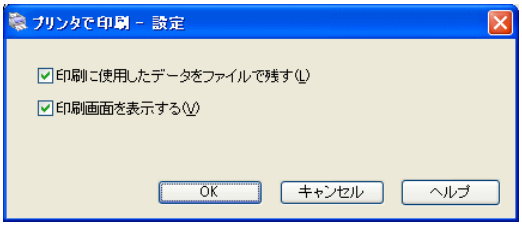
2. [アプリ選択]タブの「アプリケーションの選択:」で「プリンタで印刷」を選択します。

3. 「プリンタで印刷」に関する設定を変更する場合は、[アプリケーションの設定]ボタンをクリックして変更します。

（不要な場合は、操作 5.に進んでください。）



⇨ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「プリンタで印刷」に関する以下の設定を変更することができます。

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の[保存先]タブ（24ページ）で指定したフォルダに保存されます。

「印刷画面を表示する」チェックボックス

印刷する前に、印刷設定画面を表示します。

4. [OK]ボタンをクリックします。

⇨ 「プリンタで印刷-設定」画面が閉じます。

5. [OK]ボタンをクリックします。

⇨ 「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「3.3.1. 読み取り設定の登録」（37ページ）を参照してください。

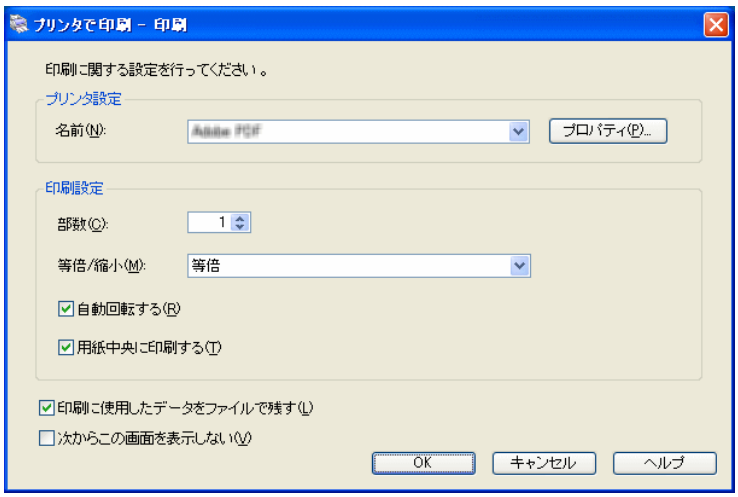
6. ScanSnap に原稿をセットします。

7. ［スキャン］ボタンを押します。

⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

⇨ 読み取りが完了したら、「プリンタで印刷－印刷」画面が表示されます。
（表示させない設定にすることもできます。）

8. 印刷設定を行い、［OK］ボタンをクリックします。



プリンタ設定

印刷に使用するプリンタを指定します。

名前

現在設定されているプリンタの名称が表示されます。

プリンタを変更する場合は、ボタンをクリックして、表示される一覧の中から使用するプリンタを選択します。

［プロパティ］ボタン

現在選択されているプリンタの設定画面が表示されます。

なお、このボタンをクリックして表示されるプリンタのオプションを変更する画面に、「プリンタで印刷－印刷」画面と同様の設定項目がある場合は、「プリンタで印刷－印刷」画面の設定内容が優先されます。

印刷設定

印刷様式を指定します。

部数

印刷部数を指定します。1～99 部まで指定可能です。

等倍/縮小

印刷する画像について、そのままのサイズで印刷するか、出力用紙サイズに合わせて画像を縮小して印刷するかを選択します。

等倍: 画像と同じサイズで印刷します。

出力用紙サイズに縮小する: 出力する用紙が画像のサイズより小さい場合に、画像全体が印刷できるように、用紙のサイズにあわせて画像を縮小して印刷します。

「自動回転する」チェックボックス

印刷する画像の縦横の比率に合わせて最適な方向に回転して印刷します。

「用紙中央に印刷する」チェックボックス

画像を用紙の中央に印刷します。

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の[保存先]タブ(24ページ)で指定したフォルダに保存されます。

「次回からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、この画面を表示しません。操作8が省略されます。

[OK]ボタン

本画面の設定で、印刷を実行します。

[キャンセル]ボタン

処理がキャンセルされます。

[ヘルプ]ボタン

印刷画面に関するヘルプを表示します。

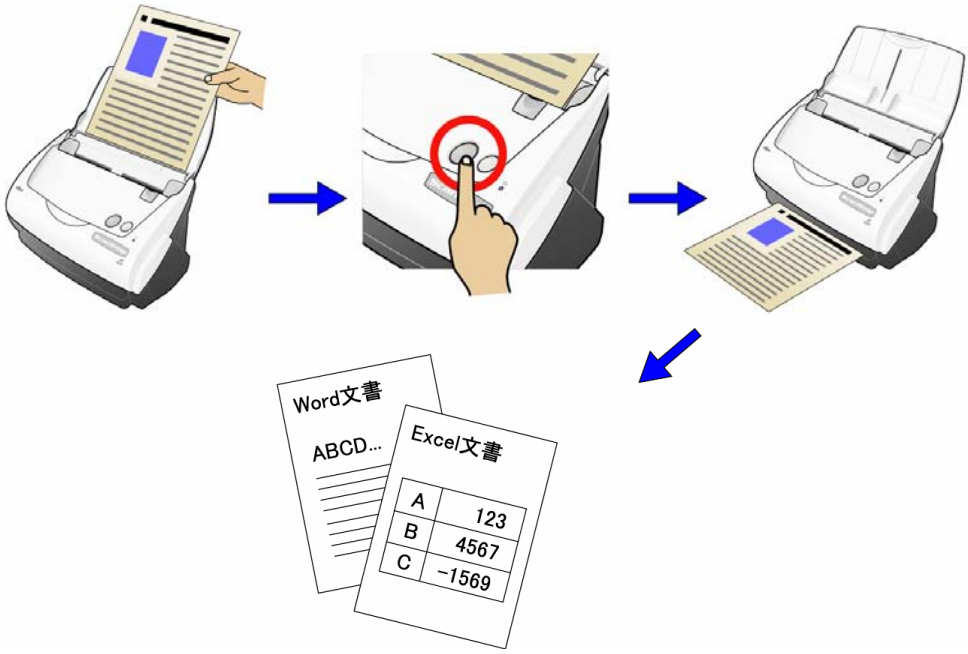
⇨ 印刷が実行されます。

- 「プリンタで印刷-印刷」画面表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。「プリンタで印刷-印刷」画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- 「プリンタで印刷-印刷」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

5.5. Word／Excel 文書に変換する

ScanSnap で読み取ったイメージを、OCR 処理（文字認識）して Word／Excel 文書に変換する方法について説明します。

本製品に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap の OCR 機能を使って、読み取ったイメージから文字情報部分を抽出し、文字に変換して、Word 文書または Excel 文書にして表示します。



- 本機能を使用するには、ABBYY FineReader for ScanSnap 3.0 がご使用のパソコンにインストールされている必要があります。
  読み取った結果は、Microsoft® Word および Microsoft® Excel がインストールされている環境では、Microsoft® Word または Microsoft® Excel を起動して表示します。
  インストールされていない環境では、ファイルとして保存します。
  ※ご使用のパソコンに、Microsoft® Word および Microsoft® Excel がインストールされていない場合、もしくはこれらのソフトウェアのユーザー登録が完了していない場合は、Word/Excel 文書に変換した結果を表示・確認することができません。ご使用のパソコンで、変換結果を表示・確認したいときは、これらのソフトウェアをインストールして、ユーザー登録を完了した上で、ご使用ください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap は、Microsoft® Word、Microsoft® Excel の以下のバージョンに対応しています。
  Microsoft® Word： 2000 / 2002 / 2003 / 2007
  Microsoft® Excel： 2000 / 2002 / 2003 / 2007
- 本機能を実行中に、Microsoft® Word および Microsoft® Excel で印刷や検索などの作業を行うと、「呼び出し先が呼び出しを拒否しました」などのメッセージが表示され、変換結果が表示されない場合があります。本機能を使用中は、Microsoft® Word および Microsoft® Excel で作業をしないようにしてください。

ABBYY FineReader for ScanSnap のについての詳細は、『ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド』を参照してください。

ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能について

- 文字変換機能には、以下のような特性がありますので、変換処理を行う前に、対象となる原稿を確認してください。

  〇Word 文書への変換に適している原稿
  段落が 1～2 段組のレイアウトが単純な文書

  〇Excel 文書への変換に適している原稿
  すべての罫線が表の外枠まで届いている単純な表

  ×Word 文書への変換に適していない原稿
  図／表／文書が入り混じったカタログ、雑誌、新聞のような、レイアウトが複雑な原稿

  ×Excel 文書への変換に適していない原稿
  罫線で仕切られていない表／間仕切りが多い複雑な表／表の中に表があるような入り組んだ表／図／グラフ／写真／縦書きの文章を含む原稿
  （図／グラフ／写真／縦書きの文章は再現されません。）

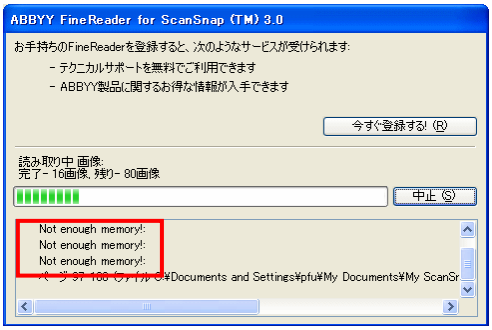
- 変換結果において、以下の情報は原稿通りに再現できない場合があります。
  Microsoft® Word および Microsoft® Excel を使用して、変換した結果をご確認して、必要な場合は編集するなどして、ご使用いただくことをお奨めします。
  - 文字のサイズおよびフォント
  - 文字間隔および行間隔
  - 下線付き文字、ボールド文字（太字）、イタリック文字
  - 上下添え字
  - 以下のような原稿（文字）は、正しく文字認識できない場合があります。
  - このようなときは、カラー設定や解像度（画質）を上げることで認識できるようになる場合があります。
  - 手書き文字を含んだ原稿
  - 小さな文字（10 ポイント未満）の原稿
  - 傾いた原稿
  - 指定された言語以外で書かれた原稿
  - 文字の背景に不均一色の背景や模様がある原稿
    （影付き、白抜きなどの装飾が施された文字、網掛け内の文字）
  - 複雑なレイアウトの原稿や、ノイズが多い原稿
    （このような原稿は、認識処理に非常に時間がかかる場合があります。）

- ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能は、ScanSnap で読み取って作成された PDF ファイルのみに使用できます。Adobe Acrobat やその他のソフトウェアで作成した PDF ファイルには使用できません。

- Excel 文書に変換する場合は、認識結果が 65536 行を超えると、それ以降の結果は出力されません。

- 原稿の向きを上下逆さま／横向きにすると、正しく変換できません。「原稿の向きを自動的に補正します」を使用するか、原稿の向きを正しくセットして読み取ってください。

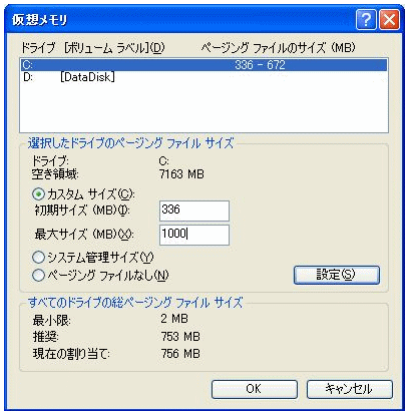
- 本機能は、推奨メモリ以上の環境でご使用ください。
  また、一度に大量のページを変換すると、メモリが不足して、メモリ不足を示すエラーメッセージが表示されるか、または「Not enough memory!」（メモリが不足しています！）という文字が変換中のインジケータ画面（次ページの図）に表示されることがあります。



このような場合は、以下の手順で仮想メモリの設定を変更してください。

Windows XP の場合

1. [スタート]メニューから、[マイ コンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。
2. 「システムのプロパティ」画面で、[詳細設定]タブ→「パフォーマンス」の[設定]ボタンをクリックします。
3. 「パフォーマンス オプション」画面で、[詳細設定]タブ→「仮想メモリ」の[変更]ボタンをクリックします。
4. 「仮想メモリ」画面の「選択したドライブのページング ファイル サイズ」で、「カスタム サイズ」を選択します。
5. 「最大サイズ(MB)」の値を大きめに設定します。
6. [設定]ボタンをクリックします。
7. [OK]ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。
8. パソコンを再起動します。



Windows 2000 の場合

1. デスクトップ上の、「マイ コンピュータ」アイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
2. 「システムのプロパティ」画面で、[詳細]タブ→「パフォーマンス」の[パフォーマンス オプション]ボタンをクリックします。
3. 「パフォーマンス オプション」画面で、「仮想メモリ」の[変更]ボタンをクリックします。
4. 「仮想メモリ」画面の「選択したドライブのページング ファイル サイズ」で、「最大サイズ(MB)」の値を大きめに設定します。
5. [設定]ボタンをクリックします。
6. [OK]ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。
7. パソコンを再起動します。

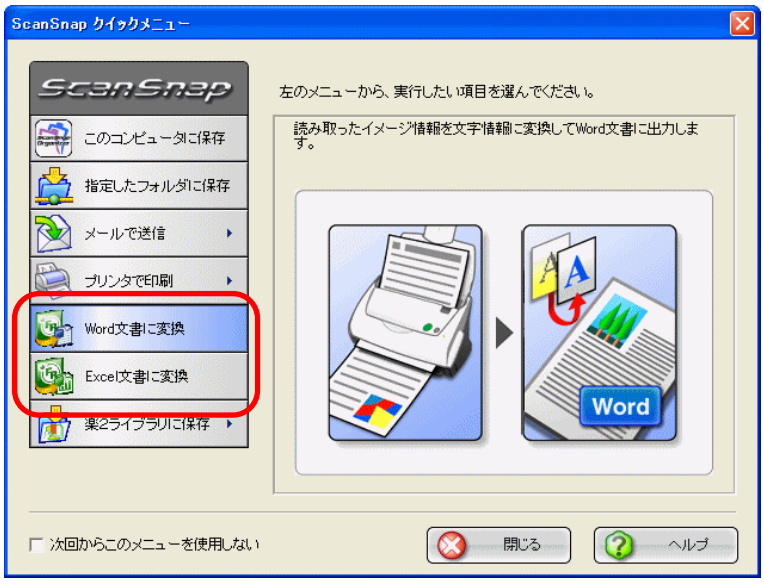
5.5.1. クイックメニューモードの場合

1. ScanSnap に原稿をセットします。
2. [スキャン]ボタンを押します。

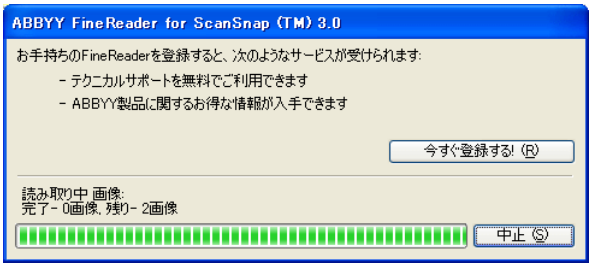
   ⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

   ⇨ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。

3. 「Word 文書に変換」または「Excel 文書に変換」をクリックします。



⇨ 以下の画面が表示され、変換が開始されます。



⇨ 変換が完了すると、Microsoft® Word または Microsoft® Excel が起動され、イメージが Word 文書または Excel 文書に変換されて表示されます。

ヒント

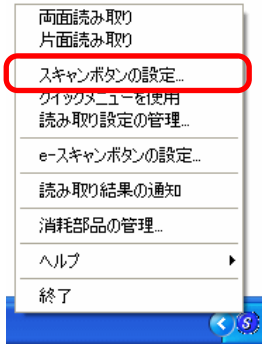
Microsoft® Word または Microsoft® Excel がインストールされていない環境では、ファイルとして保存します。
Word 文書の場合は RTF 形式(.rtf)、Excel 文書の場合は XLS 形式(.xls)で保存されます。
ファイルの保存先を確認する画面が表示されますので、ファイルの保存先フォルダを指定してください。

まって!

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。クイックメニューを閉じてから、次の読み取りを実行してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

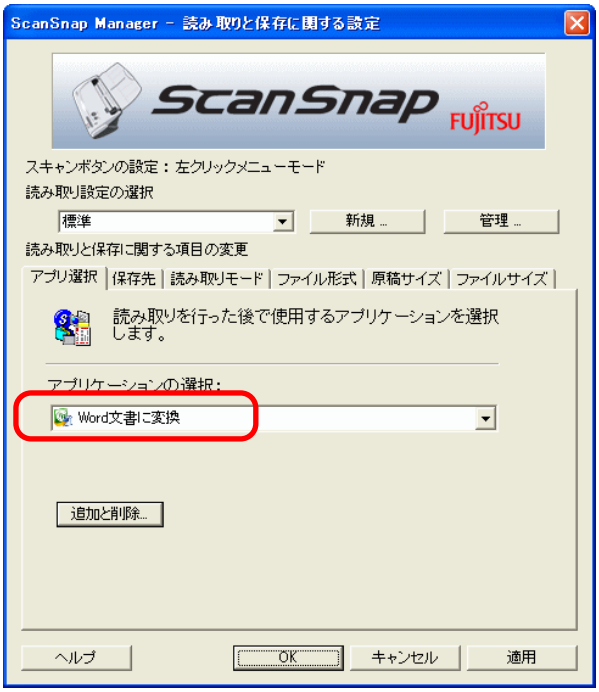
5.5.2. 左クリックメニューモードの場合

1. 「ScanSnap Manager」のアイコンを右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定]を選択します。



⇨「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択]タブ の「アプリケーションの選択：」で、
Word 文書に変換したい場合は、「Word 文書に変換」を選択します。
Excel 文書に変換したい場合は、「Excel 文書に変換」を選択します。



3. [OK]ボタンをクリックします。

⇨「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「3.3.1. 読み取り設定の登録」(37ページ)を参照してください。

4. ScanSnap に原稿をセットします。

5. [スキャン]ボタンを押します。

⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

⇨ 読み取りが完了すると、以下の画面が表示され、変換が開始されます。

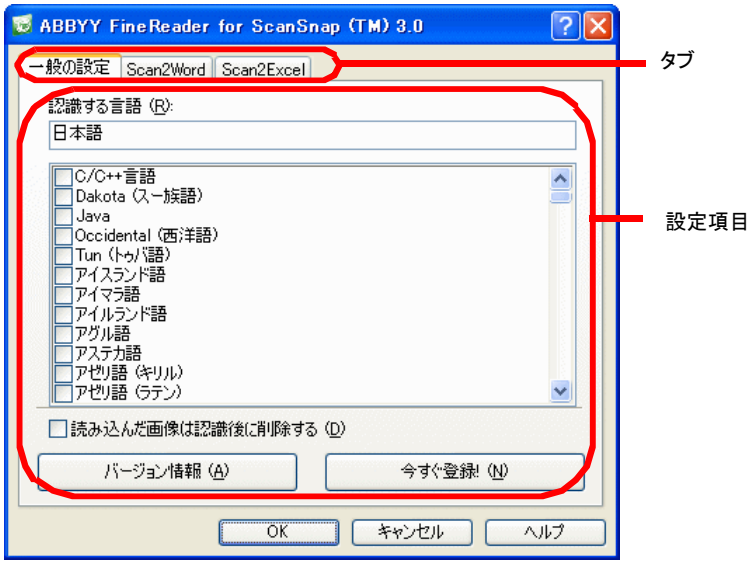
⇨ 変換が完了すると、Microsoft® Word または Microsoft® Excel が起動され、イメージが Word 文書または Excel 文書に変換されて表示されます。

Microsoft® Word または Microsoft® Excel がインストールされていない環境では、ファイルとして保存します。
Word 文書の場合は RTF 形式(.rtf)、Excel 文書の場合は XLS 形式(.xls)で保存されます。
ファイルの保存先を確認する画面が表示されますので、ファイルの保存先フォルダを指定してください。

5.5.3. ABBYY FineReader for ScanSnap の設定について

Word 文書／Excel 文書に変換する際の設定は、ABBYY FineReader for ScanSnap の設定画面で変更することができます。

[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[ABBYY FineReader for ScanSnap(TM) 3.0]→[ABBYY FineReader for ScanSnap(TM) 3.0]の順に選択すると、以下の画面が表示されます。



この画面は、以下の3つのタブで構成されています。

- [一般の設定]タブ
- [Scan2Word]タブ
- [Scan2Excel]タブ

[一般の設定]タブ

ABBYY FineReader for ScanSnap 全般に関する設定を行います。

Word 文書／Excel 文書に変換する際に使用する認識言語の設定や、元のイメージを残すかどうかの設定を変更したり、ABBYY FineReader for ScanSnap のバージョン確認、登録を行ったりすることができます。

認識する言語

一覧表示の中から、文字認識に使用する言語を選択します。

ABBYY FineReader for ScanSnap は、一言語で書かれた文書だけでなく複数の言語（たとえば英語とフランス語）で書かれた文書も認識可能です。

一覧表示されている言語の中から、認識する言語にチェックを入れます。

日本語を選択した場合は、複数の言語を選択することができません。

「読み込んだ画像は認識後に削除する」チェックボックス

Word 文書／Excel 文書に変換後、ScanSnap で読み取って作成された PDF ファイルを、削除するかどうかを指定します。

- 通常、ScanSnap で原稿を読み取ると、読み取ったイメージから PDF ファイルが作成されます。ABBYY FineReader for ScanSnap は、このファイルに対して文字認識を行い、Word 文書／Excel 文書に変換します。
  本チェックボックスのチェックを外しておくと、文字認識前の PDF ファイルも残しておくことができます。
- 読み取る原稿の状態や、読み取り設定によっては、誤って文字認識される場合があります。通常は、チェックを外しておくことをお奨めします。

[バージョン情報]ボタン

ABBYY FineReader for ScanSnap のバージョン情報が表示されます。

[今すぐ登録！]ボタン

製品登録を行うためのダイアログボックスを開きます。

[Scan2Word]タブ

Word 文書に変換する際の詳細設定を行います。

「改行位置は変えない」チェックボックス

もとの原稿の改行位置を保ったまま、Word 文書に変換します。

認識する言語に日本語を選択した場合は、使用しません。

「テキストの色は変えない」チェックボックス

もとの原稿で使われている文字の色に合わせて、同じ色で出力されます。

認識する言語に日本語を選択した場合は、使用しません。

「一般的なハイフンに置き換える」チェックボックス

もとの原稿で特殊なハイフンを使用している場合、通常のハイフン (-) に置き換えられます。

認識する言語に日本語を選択した場合は、使用しません。

画質

文字情報以外の画像部分について、画質を以下から選びます。

高: 変換した文書を印刷したい場合に最適です。

中: 変換した文書をパソコンの画面上で見る場合に最適です(初期設定)。

低: 変換した文書を Web に掲載する場合に最適です。

「フォントの色を変える」チェックボックス

認識結果が不正確な場合に、文字列に色を付けます。

「背景色を変える」チェックボックス

認識結果が不正確な場合に、文字列の背景に色を付けます。

[Scan2Excel]タブ

Excel 文書に変換する際の詳細設定を行います。

「表の外の文字は無視する」チェックボックス

もとの原稿の表以外の部分を取り除き、表の部分のみ Excel 文書に変換します。

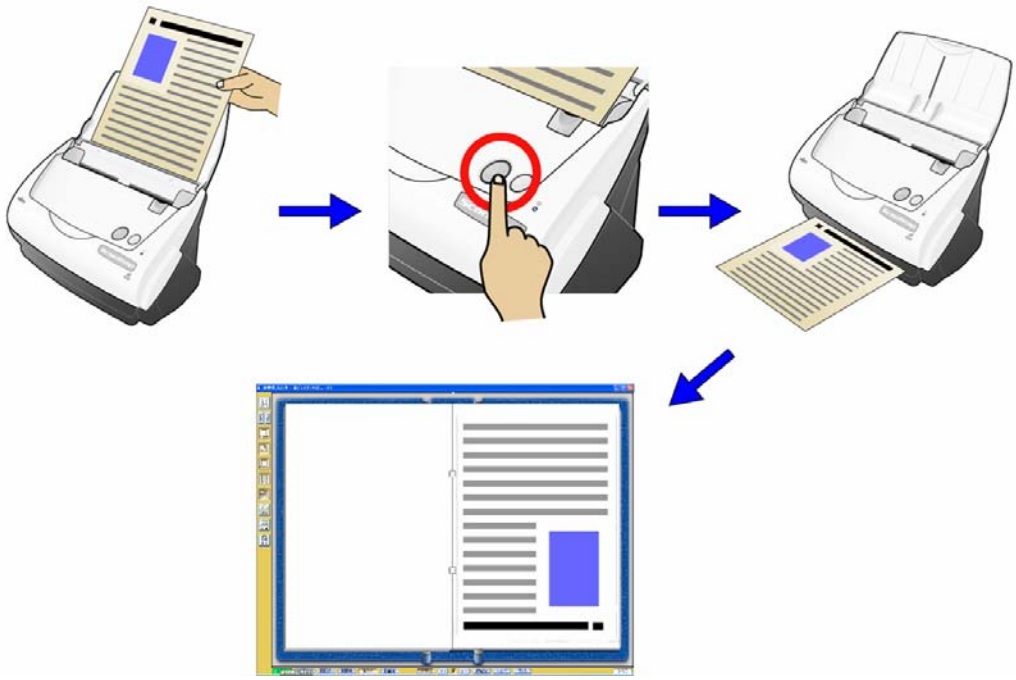
「数字(文字)を数値に変換する」チェックボックス

文字列中に数字がある場合に、Excel 文書上で「数値」形式にします。

5.6. 楽 2 ライブラリと連携する

ScanSnap で読み取ったイメージを、楽 2 ライブラリ（別売）のバインダに保存する方法について説明します。

ScanSnap で原稿を読み取ると、PDF ファイルが作成され、楽 2 ライブラリの「作業デスク」または指定したバインダに保存されます。



- 本機能を使用するには、楽 2 ライブラリ（別売）V4.0 以降が必要です。
  楽 2 ライブラリは、紙文書や電子文書を PDF ファイルにして、パソコン上で管理するためのソフトウェアです。紙文書をバインダにとじて本棚に保管するような感覚で管理し、本のようにページをめくる感覚で文書を閲覧することができます。
  詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  http://www.pfu.fujitsu.com/products/raku2library/
- ScanSnap で読み取ったイメージを楽 2 ライブラリに保存する場合、ScanSnap Manager の以下の設定が無効になります。
  - 読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます（30ページ）
  - 読み取った PDF フィルに電子署名・タイムスタンプを付けます（31ページ）
  - 読み取り後、ファイル名を変更します（24ページ）
  - カラー高圧縮（26ページ）
- 楽 2 ライブラリの使い方については、『楽 2 ライブラリ ユーザーズガイド』を参照してください。

5.6.1. クイックメニューモードの場合

1. ScanSnap に原稿をセットします。
2. [スキャン]ボタンを押します。

   ⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

   ⇨ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。

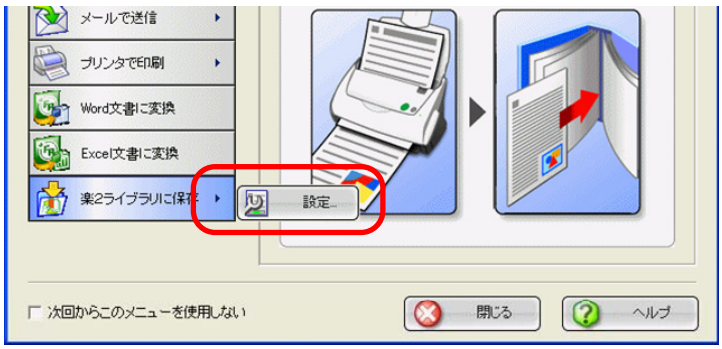
3. 「楽 2 ライブラリに保存」の上にマウスのポインタを移動します。

   ⇨ 動作説明が、「楽 2 ライブラリに保存」に関する説明に切り替わります。

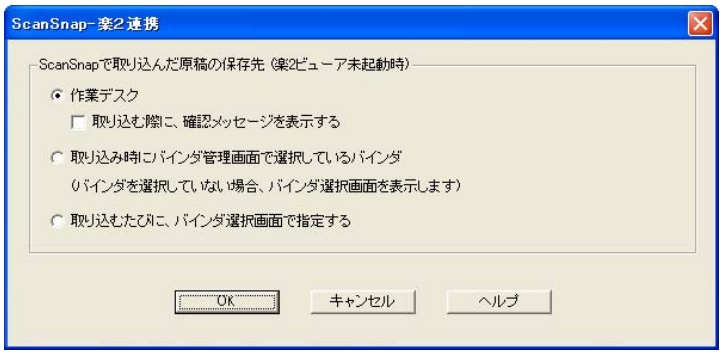
4. 「楽 2 ライブラリに保存」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを▶の上に移動し、表示される[設定]ボタン

をクリックします。

   （不要な場合は、操作6に進んでください。）



⇨ 以下の設定画面が表示されます。

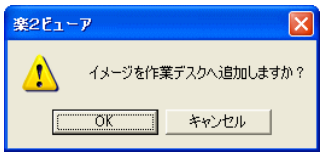


作業デスク

読み取ったイメージを、楽 2 ライブラリの「作業デスク」に保存します。

「取り込む際に、確認メッセージを表示する」チェックボックス

「作業デスク」に保存する際に、確認画面を表示します。



[OK]ボタン: 「作業デスク」に保存します。

[キャンセル]ボタン: 保存処理を中止します。

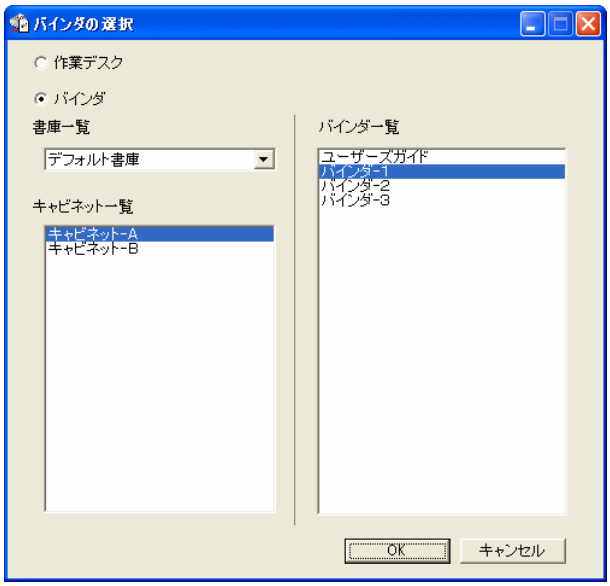
取り込み時にバインダ管理画面で選択しているバインダ

読み取ったイメージを、楽 2 ライブラリのバインダ管理画面で選択されているバインダに保存します。

取り込むたびに、バインダ選択画面で指定する

「楽 2 ライブラリに保存」を実行するたびに、[バインダ選択]画面が表示されます。この画面で、保存先となるバインダを指定し、[OK]ボタンをクリックすると、指定したバインダに読み取ったイメージが保存されます。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、保存処理を中止します。

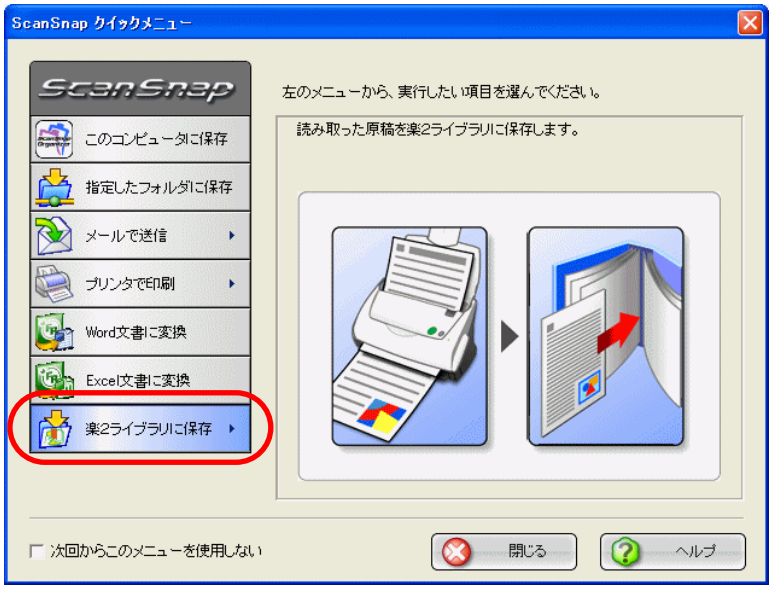


5. ［OK］ボタンをクリックして、「ScanSnap-楽 2 連携」画面を閉じます。

［設定］ボタンをクリックすると、選択されている項目の色が黄色に変わり、選択項目がロックされて他の項目を選択できなくなります。
この状態で、他の項目を選択したい場合は、「ScanSnap-楽 2 連携」画面を閉じた後、一旦画面のボタン以外の任意の場所をクリックするか、選択中の項目の上にマウスのポインタを移動してください。

⇨ ロックが解除されて、選択されている項目の色が青色に戻り、他の項目が選択できるようになります。

6. 「楽 2 ライブラリに保存」をクリックします。



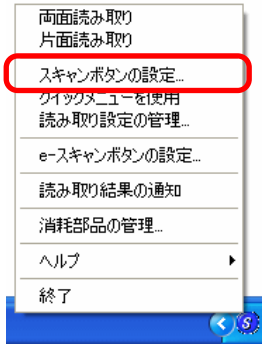
楽 2 ライブラリ（別売）がインストールされていない場合は表示されません。
また、本機能を使用するには、楽 2 ライブラリ V4.0 以降が必要となります。

⇨ 操作4の設定に従って、イメージが「作業デスク」または指定したバインダに保存されます。

- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。クイックメニューを閉じてから、次の読み取りを実行してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

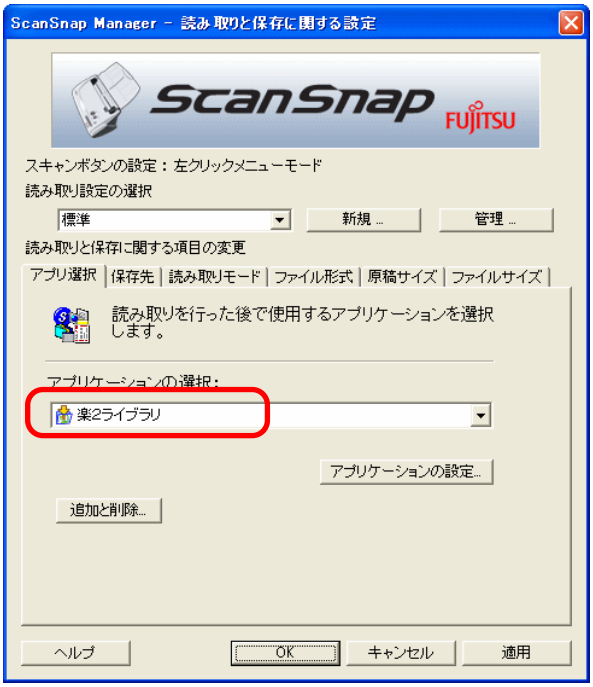
5.6.2. 左クリックメニューモードの場合

1. 「ScanSnap Manager」のアイコンを右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定]を選択します。



⇨「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択]タブの「アプリケーションの選択:」で「楽 2 ライブラリ」を選択します。

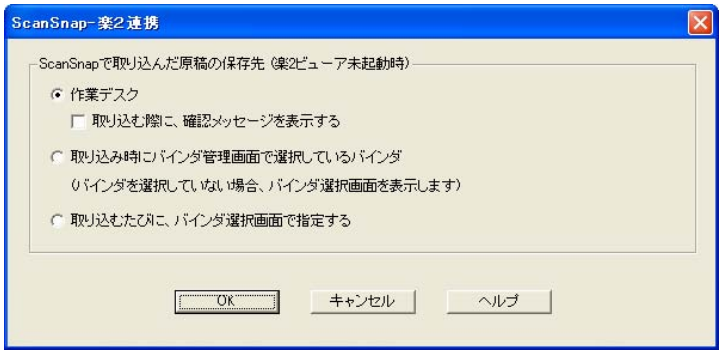


楽 2 ライブラリ(別売)がインストールされていない場合は表示されません。
また、本機能を使用するには、楽 2 ライブラリ V4.0 以降が必要となります。

3. 「楽 2 ライブラリ」に関する設定を変更する場合は、[アプリケーションの設定]ボタンをクリックして変更します。

（不要な場合は、操作5に進んでください。）

⇨ 以下の設定画面が表示されます。



作業デスク

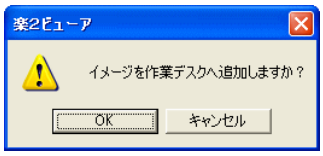
読み取ったイメージを、楽 2 ライブラリの「作業デスク」に保存します。

「取り込む際に、確認メッセージを表示する」チェックボックス

「作業デスク」に保存する際に、確認画面を表示します。

[OK]ボタン：　「作業デスク」に保存します。

「キャンセル」ボタン：　保存処理を中止します。



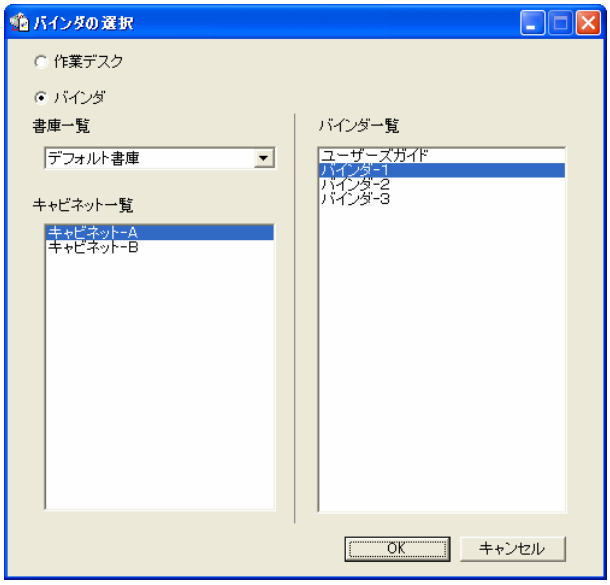
取り込み時にバインダ管理画面で選択しているバインダ

読み取ったイメージを、楽 2 ライブラリのバインダ管理画面で選択されているバインダに保存します。

取り込むたびに、バインダ選択画面で指定する

「楽 2 ライブラリに保存」を実行するたびに、[バインダ選択]画面が表示されます。この画面で、保存先となるバインダを指定し、[OK]ボタンをクリックすると、指定したバインダに読み取ったイメージが保存されます。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、保存処理を中止します。



4. [OK]ボタンをクリックします。

⇨ 「ScanSnap-楽 2 連携」画面が閉じます。

5. [OK]ボタンをクリックします。

⇨ 「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「3.3.1. 読み取り設定の登録」(37ページ)を参照してください。

6. ScanSnap に原稿をセットします。

7. [スキャン]ボタンを押します。

⇨ 原稿の読み取りが開始されます。

⇨ 読み取りが完了すると、「楽 2 ライブラリ」が起動され、イメージが指定した場所に保存されます。

6. A3 キャリアシートについて

fi-5110EOX

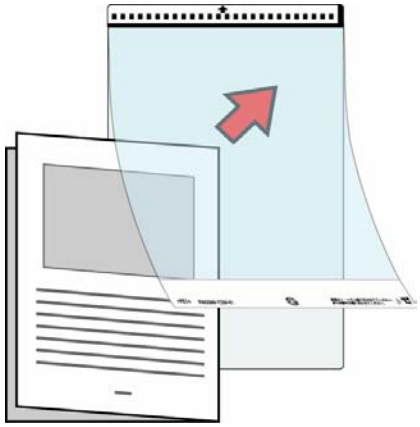
A3 キャリアシートは、原稿搬送用シートです。そのままではスキャナで読み取ることができなかった、A3／B4 サイズのような、A4 サイズより大きい原稿を、二つ折りにして A3 キャリアシートにはさみ、両面読み取りすることにより、最大 A3 サイズ（片面）まで読み取ることができます。
また、写真のような傷つきやすい原稿や、資料の切り抜きのような不定形原稿など、直接スキャナにセットして読み取ることが困難な原稿も読み取ることができます。

この章では、ScanSnap A3 キャリアシートの使用方法について説明します。

6.1. 操作の流れ

A3 キャリアシートを使って、ScanSnap で読み取りをおこなう場合の、基本的な操作の流れについて説明します。

1. 原稿をキャリアシートにはさみます。



> 読み取る原稿によって、セットする方法が異なります。
> 詳しくは、「6.3. 原稿のセット方法」を参照してください。

2. キャリアシートをスキャナにセットします。

白黒のパターンが印刷された部分を下にして、矢印の向きにセットします。

> キャリアシートを使って読み取りを行う場合は、複数枚連続で読み取ることができません。
> 1 枚ずつセットして読み取ってください。

3. 「ScanSnap Manager」の[原稿サイズ]－[原稿サイズの選択:]の設定を「サイズ自動選択」にします。

ScanSnap Manager の設定方法については、ScanSnap 本体に添付されている「ScanSnap オペレーターガイド」を参照してください。

4. スキャナの[スキャン]ボタンを押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

「A3 キャリアシート 設定」の設定によって、原稿のセット方法や、出力される画像が異なります。
A3 キャリアシートに原稿をセットする方法については、「6.3. 原稿のセット方法」を、
「A3 キャリアシート」の使い方については、「6.4. A3 キャリアシートの設定方法」を参照してください。

6.2. 読み取りできる原稿

以下に、A3 キャリアシートを使って読み取ることができる原稿を示します。

読み取り対象	一般的なオフィス用紙、はがき、名刺、写真、資料などの切り抜き
坪量	～127g/m^2（～110kg/連）、 ～63.5g/m^2（～55kg/連） ※2 つ折にして読み取る場合
サイズ	A3（297×420mm）
	A4（210×297mm）
	A5（148×210mm）
	A6（105×148mm）
	B4（257×364mm）
	B5（182×257mm）
	B6（128×182mm）
	はがき（100×148mm）
	名刺（90×55mm, 55×90mm）
	レター（8.5×11 インチ, 216×279.4mm）
	11×17（11×17 インチ, 279.4×431.8mm）
	写真 E 版（83×117mm, 117×83mm）
	写真 L 版（89×127mm, 127×89mm）
	写真 LL 版（127×178mm, 178×127mm）
	カスタムサイズ 幅：50.8～216mm（2～8.5インチ）、長さ：50.8～297mm（2～11.69インチ）

※A3, B4, 11×17 は、2 つ折にして読み取ります。

以下の原稿は、使用しないでください。

- クリップや、ステープラーの針などがついているもの （はずしてからご使用ください。）
- インクの乾いていないもの （十分乾かしてからご使用ください。）
- 2 つ折りにした状態で、幅 216mm, 長さ 297mm より大きいもの
- 幅 216mm, 長さ 297mm より大きいもので、折り曲げることができないもの

また、A3 キャリアシートを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- 必ず、専用の A3 キャリアシートを使用してください。
- A3 キャリアシート先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、汚したり、切り取ったりしないでください。スキャナが、A3 キャリアシートを正しく認識できません。
- A3 キャリアシートは、1 枚ずつスキャナにセットしてください。
- A3 キャリアシートを逆向きにして、スキャナにセットしないでください。原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートを破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。印刷が A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、高温環境下で A3 キャリアシートを使用しないでください。A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。スキャナが破損または、故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、なるべく水平な場所で、重量のかからない状態で、保管してください。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。指を切るおそれがあります。

6.3. 原稿のセット方法

A3 キャリアシートに原稿をセットする方法について説明します。
A3 キャリアシートの設定には、読み取る原稿のタイプに合わせて、以下の 2 つの「実行モード」があります。

- **見開き画像を出力します** ：A3/B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を、2 つ折りにして両面読み取りをおこない、見開き状態に並べて、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。
- **表裏の画像をそれぞれ出力します** ：傷つけたくない写真や、資料の切り抜きなどの不定形な原稿のような、直接スキャナにセットして読み取ることが難しい原稿を読み取るためのモードです。
  読み取った画像を、指定したサイズで出力します。

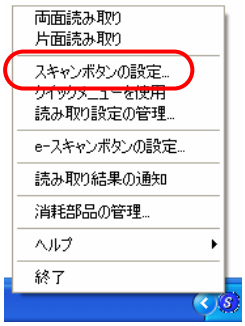
A3 キャリアシートを使用する際は、「ScanSnap Manager」の［原稿サイズ］の設定を、「サイズ自動選択」にしてください。
また、「見開き画像を出力します」で読み取る場合は、「ScanSnap Manager」の［読み取りモード］の設定を、「**両面読み取り**」にしてください。
「A3 キャリアシート」の設定方法については、「6.4. A3 キャリアシートの設定方法」を参照してください。
ScanSnap Manager の設定については、ScanSnap 本体に添付されている「ScanSnap オペレーターガイド」を参照してください。

各モードによって、原稿のセット方法が異なります。
以下に、各モードの原稿セット方法について説明します。

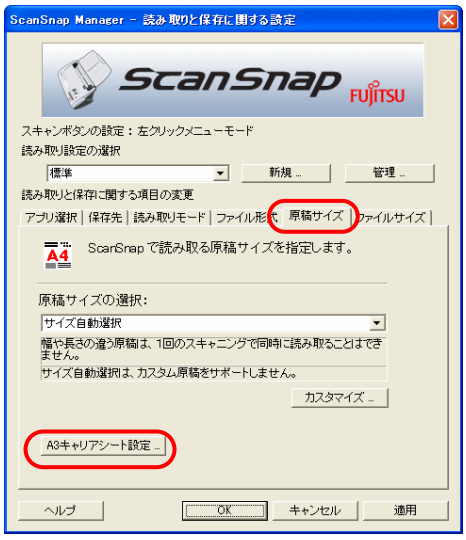
6.3.1. 「見開き画像を出力します」の場合

A3/B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を読み取るためのモードです。
原稿を 2 つ折りにして両面読み取りをおこない、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。
（A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、見開き状態にして1つの画像に出力することもできます。）

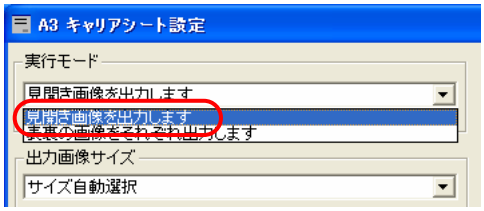
1. タスク バーにある「ScanSnap Manager アイコン」を右クリックして、
[スキャンボタンの設定]を選択します。



2. 「原稿サイズ」タブで、[A3 キャリアシート設定]ボタンをクリックします。

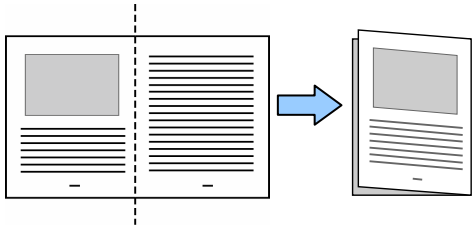


3. 「A3 キャリアシート設定」画面で、[実行モード]を「**見開き画像を出力します**」にして[OK]ボタンをクリックします。



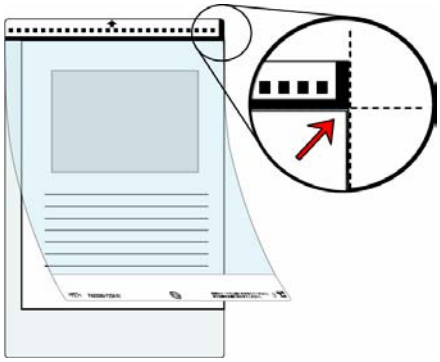
4. **原稿を、読み取り面が外側にくるようにして、中央から2つに折り曲げます。**

   原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。折り曲げ部分の“こし”が強いと、傾きの原因となります。



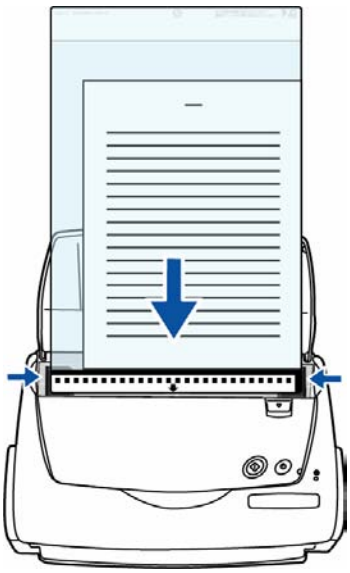
5. **A3 キャリアシートを開いて、原稿をセットします。**

   原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、折り目側を右端に隙間のできないように、しっかりと合わせます。



6. **A3 キャリアシートをスキャナにセットします。**

   - 白黒のパターンが印刷された部分を下にして、矢印の向きにセットしてください。
   - A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



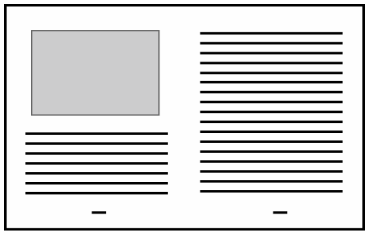
> **まって！** A3 キャリアシートを使って読み取りをおこなう場合は、複数枚連続で読み取ることができません。1 枚ずつセットして読み取ってください。

7. **「ScanSnap Manager」で、[原稿サイズ]→「サイズ自動選択」、[読み取りモード]→「両面読み取り」にします。**

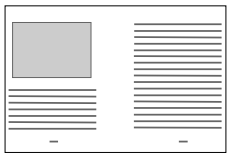
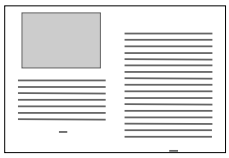
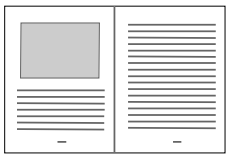
> **ヒント** ScanSnap Manager の設定方法については、ScanSnap 本体に添付されている「ScanSnap オペレーターガイド」を参照してください。

8. スキャナの[スキャン]ボタンを押します。

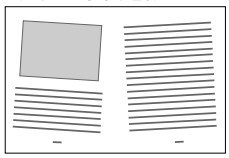
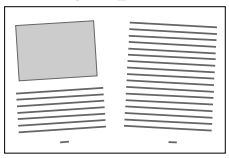
⇒ 両面読み取りをおこなうと、表/裏の画像データが見開き状態で並べて出力されます。



出力された画像の継ぎ目部分に隙間やズレ、線が入ったりする場合があります。

また、厚い原稿を読取った場合に継ぎ目部分を境にして画像がハの字に傾く傾向があります。

これらの現象は、原稿の折り曲げ方や、セットの仕方によってばらつきます。
その場合は、以下を確認してください。 改善される場合があります。

- 原稿が、しっかりと折り曲げられているか。
- 原稿の端がキャリアシートの端にきっちりと合っているか。
- キャリアシートを裏/表逆にセットしてみたらどうか。

「ScanSnap キャリアシートオプション設定」画面で、[出力画像サイズ]に「サイズ自動選択」が選択されていると、出力される画像サイズが原稿より小さくなる場合があります。
(A3/B4/11×17 サイズの中から、原稿上の印刷が収まる最小のサイズで出力されます。)

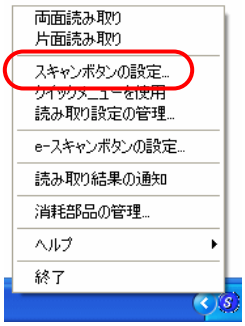
例:A3 サイズの原稿の中央に A4 サイズで印刷されている場合⇒B4 サイズで出力されます。

原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、[出力画像サイズ]で原稿サイズを設定してください。

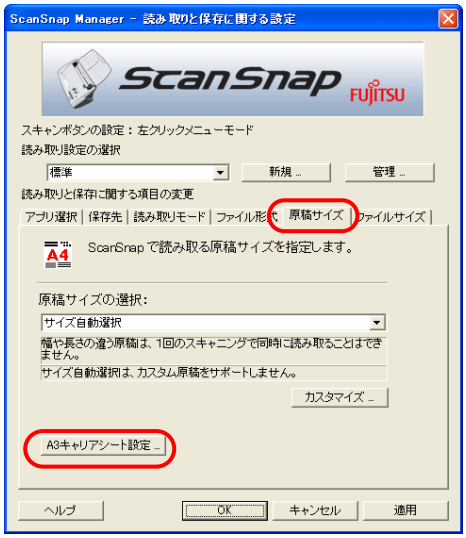
6.3.2. 「表裏の画像をそれぞれ出力します」の場合

傷つけたくない写真や、資料の切り抜きなど、ScanSnap でそのまま読み取ることが難しい原稿を、キャリアシートにはさんで読み取るためのモードです。

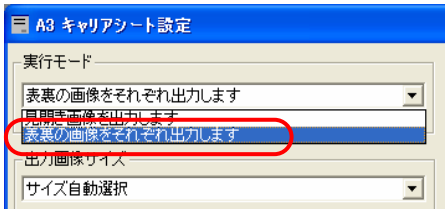
1. タスク バーにある「ScanSnap Manager アイコン」を右クリックして、
[スキャンボタンの設定]を選択します。



2. 「原稿サイズ」タブで、[A3 キャリアシート設定]ボタンをクリックします。

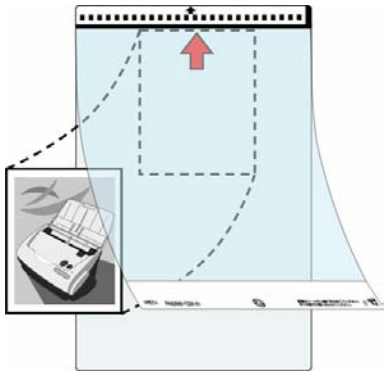


3. 「A3 キャリアシート設定」画面で、[実行モード]を「**表裏の画像をそれぞれ出力します**」にして、[OK]ボタンをクリックします。

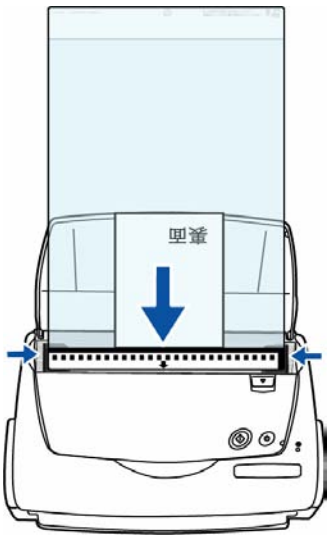


4. A3 キャリアシートを開いて、原稿をセットします。

原稿の先端を、A3 キャリアシート上部に突き当てるようにセットしてください。
原稿が A3 キャリアシートからはみ出さないように、幅方向に対して中央にセットしてください。



5. A3 キャリアシートをスキャナにセットします。



- 白黒のパターンが印刷された部分を下にして、矢印の向きにセットしてください。
- 原稿の裏面が手前側にくるようにセットしてください。
- A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。

まって！ A3 キャリアシートを使って読み取りをおこなう場合は、複数枚連続で読み取ることができません。1 枚ずつセットして読み取ってください。

6. 「ScanSnap Manager」で、[原稿サイズ]→「**サイズ自動選択**」にします。

ヒント ScanSnap Manager の設定方法については、ScanSnap 本体に添付されている「ScanSnap オペレーターガイド」を参照してください。

7. スキャナの[スキャン]ボタンを押します。

⇒読み取りが開始され、画像データが指定されたサイズで出力されます。

まって！

- 読み取った原稿は、指定した画像サイズの中央/上詰めに配置されて出力されます。
「A3 キャリアシート設定」画面で、[出力画像サイズ]に「サイズ自動選択」が選択されていると、選択可能な定型サイズ（137ページ参照）の中から最適なサイズが選択されます。

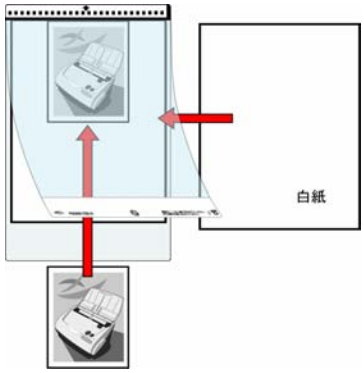
- 「A3 キャリアシート設定」画面で、[出力画像サイズ]に「サイズ自動選択」が選択されていると、出力される画像サイズが原稿より小さくなる場合があります。

  例：A4 サイズの原稿の中央に A5 サイズで印刷されている場合⇒A5サイズで出力されます。

  原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、[出力画像サイズ]で原稿サイズを設定してください。

以下のような現象が出る場合は、原稿の後ろに白紙をセットしてください。

- 読み取った原稿が、適切なサイズで出力されない（「サイズ自動選択」時）
- 原稿の端に影ができる
- 特殊な形に切り抜いた原稿の周りに黒線ができる

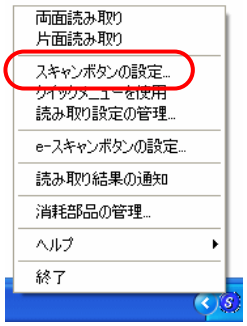


6.4. A3 キャリアシートの設定方法

A3 キャリアシートの設定は、「A3 キャリアシート設定」画面で行います。

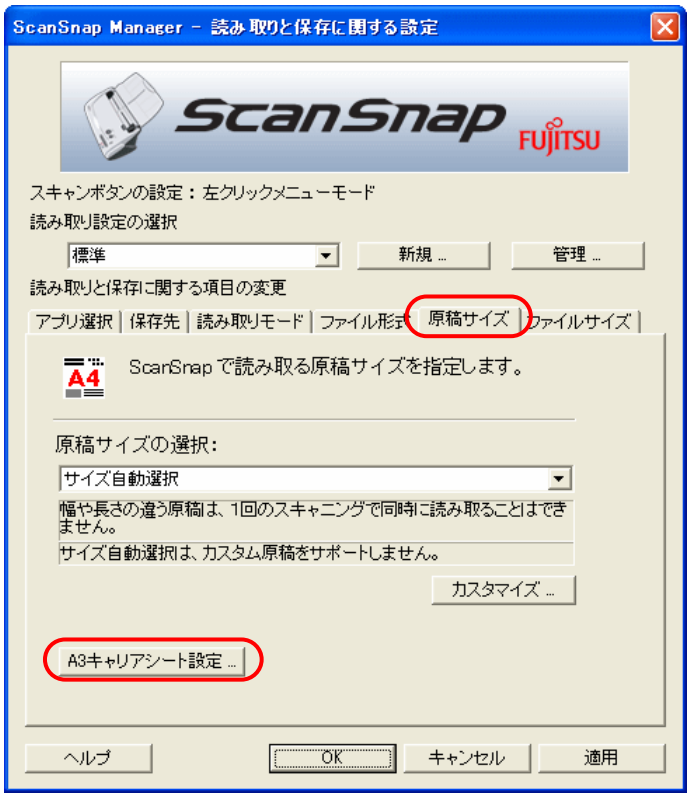
「A3 キャリアシート設定」画面は、以下の手順で開きます。

1. タスク バーにある「ScanSnap Manager アイコン」を右クリックして、[スキャンボタンの設定]を選択します。

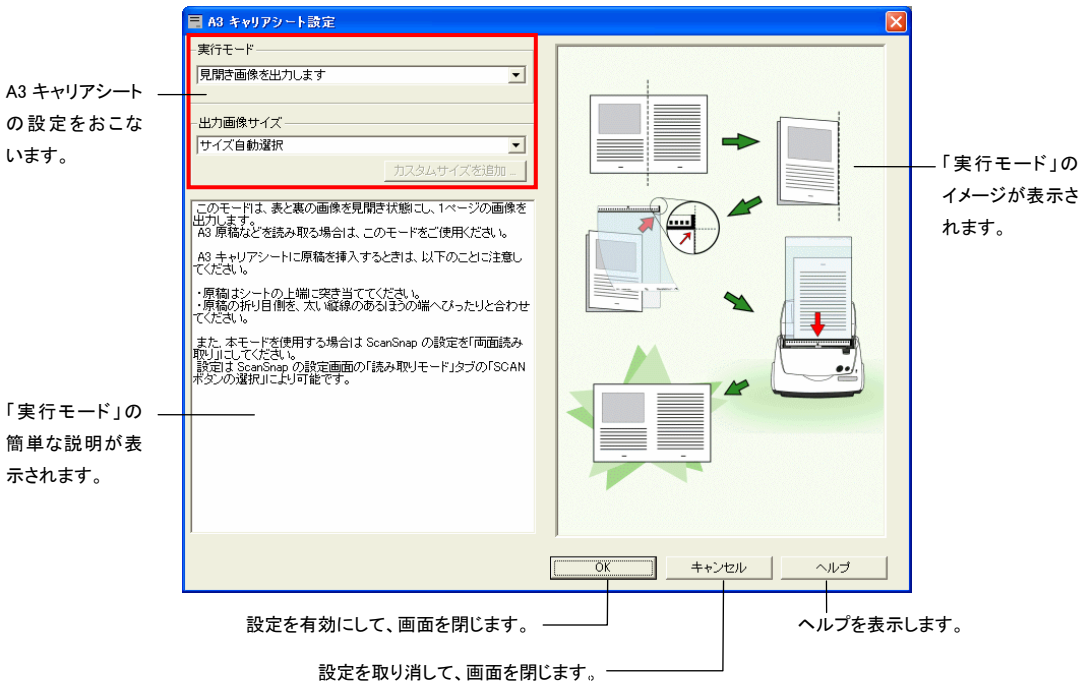


⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. 「原稿サイズ」タブで、[A3 キャリアシート設定]ボタンをクリックします。



⇒「A3 キャリアシート設定」画面が表示されます。



以下に、「A3 キャリアシート設定」画面で設定できる項目について説明します。

実行モード

A3 キャリアシートを使って読み取る際の、読み取り方法を指定します。

以下の 2 つのモードがあります。

- **見開き画像を出力します**

  原稿の両面を読み取り、表／裏の画像をつなぎ合わせて、見開き状態にして1つの画像として並べて出力します。

  A3／B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を読み取るためのモードです。

  原稿を 2 つ折りにして両面読み取りをおこない、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。

「見開きモード画像を出力します」で読み取る場合は、「ScanSnap Manager」の［読み取りモード］の設定を、「両面読み取り」にしてください。

- **表裏の画像をそれぞれ出力します**

  読み取った原稿に合わせたサイズで画像を切り出して出力します。

  傷つけたくない写真や、資料の切り抜きのような不定形原稿など、ScanSnap でそのまま読み取ることが難しい原稿を、A3 キャリアシートにはさんで読み取るためのモードです。

  両面読み取りをおこなった場合、表／裏の画像が別々に出力されます。

モードによって、原稿のセット方法が異なります。詳しくは、「6.3. 原稿のセット方法」を参照してください。

出力画像サイズ

読み取った画像を出力する際の、画像サイズを指定します。

次の原稿サイズ(幅×長さ)を選択できます。

実行モード:「見開き画像を出力します」	実行モード:「表裏の画像をそれぞれ出力します」
サイズ自動選択	サイズ自動選択
A3(297×420mm)	ー
	A3 キャリアシートサイズ(216×297mm)
ー	A4(210×297mm)
ー	A5(148×210mm)
ー	A6(105×148mm)
ー	はがき(100×148mm)
B4(257×364mm)	ー
ー	B5(182×257mm)
ー	B6(128×182mm)
ー	レター(8.5×11 インチ, 216×279.4mm)
11×17 (11×17 インチ, 279.4×431.8mm)	ー
ー	写真 E 版 縦 (83×117mm)
ー	写真 E 版 横 (117×83mm)
ー	写真 L 版 縦 (89×127mm)
ー	写真 L 版 横 (127×89mm)
ー	写真 LL 版 縦 (127×178mm)
ー	写真 LL 版 横 (178×127mm)
	名刺サイズ縦 (55×90mm)
	名刺サイズ横 (90×55mm)
ー	カスタム (5 個まで登録可能)

ヒント

- 「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定すると、読み取った原稿のサイズが、上の表に記載された定型サイズ(カスタムサイズ、A3 キャリアシートサイズを除く)の中から自動的に判断されます。そのため、セットした原稿のサイズに合わせて「出力画像サイズ」を指定し直す必要がなくなります。
- 「出力画像サイズ」で「A3 キャリアシートサイズ」を指定すると、読み取った画像を A3 キャリアシートのサイズでそのまま出力します。読み取った後に、Adobe® Acrobat®などのアプリケーションで、トリミング処理をおこなうことにより、お好みのサイズに画像を切り取ることができます。
  Adobe® Acrobat®6.0 の場合は、メニューバーから、[ツール]→[高度な編集]→[トリミングツール]を選択し、画像の必要な部分を範囲選択してダブルクリックします。

まって!

「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定して、選択可能な定型サイズ(上表)ではない原稿を読み取る場合、原稿のサイズより大きく、かつ最も近い定型サイズで読み取られます。
原稿と同じサイズで読み取りたい場合は、[カスタマイズ]ボタンでその原稿サイズを登録して、「出力画像サイズ」でそのサイズを選択してください。

まって!

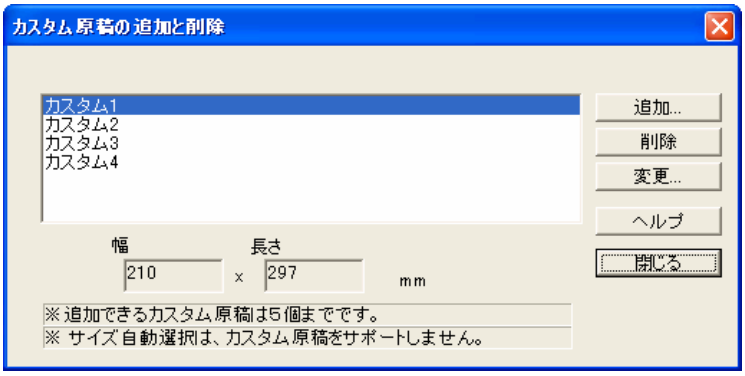
「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定すると、読み取った原稿のサイズより大きなサイズで出力される場合があります。このような場合は、以下の操作を実施してください。

- 原稿を A3 キャリアシートにまっすぐに挿入する。
- A3 キャリアシートをスキャナにセットしたら、サイドガイドで A3 キャリアシートをしっかりと固定する。

上記の方法で改善しない場合は、「出力画像サイズ」で読み取る原稿のサイズを指定してください。

[カスタムサイズを追加]ボタン

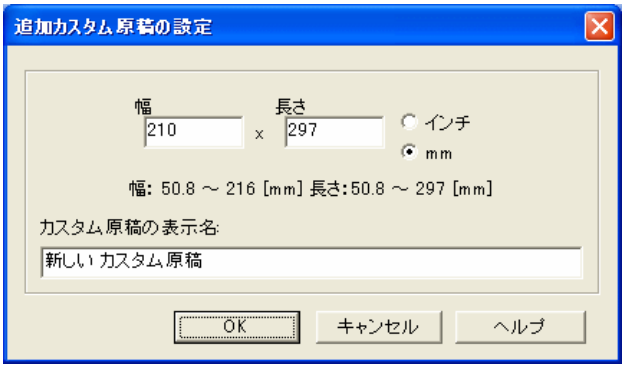
「出力原稿サイズ」に任意の原稿サイズを、最大 5 個まで登録できます。ボタンをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。



＜カスタム原稿サイズを追加する場合＞

1. [追加]ボタンをクリックします。

2. 以下の画面が表示されます。



- 原稿のサイズを入力します。

  幅　：　50.8～216 mm （2～8.5 インチ）、

  長さ　：　50.8～297 mm （2～11.69 インチ）

  の範囲で設定することができます。

- 「カスタム原稿の表示名：」に、表示させたい名前を入力します。

  ⇒入力した表示名が「出力画像サイズ」のリストに追加されます。

3. 設定が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

   ⇒ 新しいカスタム原稿サイズが登録されます。

4. [閉じる]ボタンをクリックして、「カスタム原稿の追加と削除」の画面を閉じます。

＜カスタム原稿サイズを削除する場合＞

1. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、削除したい原稿サイズ名を選択して、[削除]ボタンをクリックします。
2. 確認の画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
3. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、原稿サイズが削除されているのを確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。

＜設定を変更する場合＞

1. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、設定を変更したい原稿サイズ名を選択して、[変更]ボタンをクリックします。
2. 「追加カスタム原稿の設定」の画面が表示されますので、変更したい項目を変更します。
3. 設定が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。
4. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面が表示され、設定が変更されます。[閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

6.5. A3 キャリアシートの清掃について

「A3 キャリアシート」は、繰り返し使用しているうちに、表面や、内部に汚れやホコリが付着する場合があります。そのまま使いつづけると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、定期的に清掃するようにしてください。

6.5.1. 清掃方法

乾いたやわらかい布や、「クリーナ F1(別売)」または中性洗剤を少量しみこませたやわらかい布を用いて、A3 キャリアシート表面や内部の汚れやホコリを、軽くふき取ります。

- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 強くこすると、A3 キャリアシートが傷付いたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤で清掃した後は、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。

6.5.2. 清掃用品

クリーナ F1 の品名、商品番号は以下の通りです。

品　名	容　量	商品番号
クリーナ F1	100 ml	0631151

ご購入につきましては、以下のホームページを参照していただくか、本製品を購入された販売代理店、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/consumables.html

富士通コワーコ株式会社

TEL:　0120-505-279(お客様総合センター)

http://jp.fujitsu.com/group/coworco/

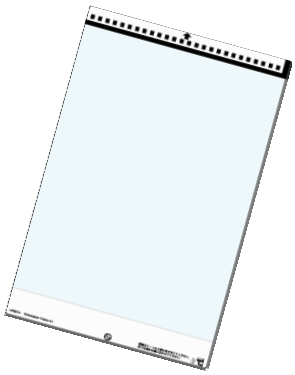
電話お問い合わせ受け付け時間:月～金／9:00～17:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)

6.6. 「A3 キャリアシート」のご購入について

本製品に添付されている「A3 キャリアシート」が、破損、磨耗等によって、読み取りができなくなった場合は、A3 キャリアシートのみを別途ご購入いただくことができます。

A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することをお勧めします。
ただし、使用状況によって異なります。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

A3 キャリアシート(別売)の品名、商品番号は以下の通りです。

品　名	数 量	手配型名
ScanSnap A3 キャリアシート 	5枚	FI-511ES

ご購入につきましては、以下のホームページを参照していただくか、本製品を購入された販売代理店、または当社 PFUダイレクトにお問い合わせください。

http://scansnap.fujitsu.com/jp/purchase/index.html

株式会社PFU　　PFU ダイレクト

TEL: 0120-14-4541

FAX: 042-788-7731

E-Mail : shop@pfu.fujitsu.com

電話お問い合わせ受け付け時間:月～金／9:00～12:00, 13:00～17:00

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

7. トラブルと対策

ScanSnap を使用中に発生するトラブルとその対策について、fi-5110EOX2 以降に追加された内容を記載します。(ご使用の機種によっては、装置に添付されている「オペレーターガイド」に既に記載されている内容も含まれています。また、[e-スキャン]ボタンに関する記載は、fi-5110EOX3/S500 が対象となります。)

修理を依頼される前に、以下の項目を点検してください。

項目を点検しても症状が改善されない場合、ご購入の販売代理店、またはPFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

症状	点検項目	対処法
原稿上の細い線がかすれてしまう。 (例:表の罫線が見えない。)	カラー読み取りで、活字や罫線つきの表、手書き文字が含まれる原稿を読み取っていませんか。	このような場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面で、[読み取りモード]タブの[オプション]→「文字をくっきりします」をチェックしてください。 それでもかすれる場合には、読み取りモードを変更してください。
白黒で読み取れない。	[e-スキャン]ボタンで読み取っていませんか? [e-スキャン]ボタンで読み取る場合は、常にカラーで読み取られます。	白黒で読み取る場合は、[スキャン]ボタンを使って読み取ってください。 (※ただし、e-文書として使用することはできません。)
ファイルサイズの設定ができない。	[e-スキャン]ボタンで読み取っていませんか? [e-スキャン]ボタンでは、「ファイルサイズ」の設定はできません。圧縮率は「画質の選択:」が「ファイン」の場合「2」、「スーパーファイン」の場合「3」で読み取られます。	ファイルサイズの設定を変える場合は、[スキャン]ボタンを使って読み取ってください。 (※ただし、e-文書として使用することはできません。)
読み取った画像の文字が読めない。	文字の小さい原稿を読み取っていませんか?	小さい文字がつぶれてしまうような場合は、「画質の選択:」を、「スーパーファイン」または「エクセレント」にして読み直してください。
設定した内容が読み取りに反映されない。	[スキャン]ボタンの設定を行い、[e-スキャン]ボタンで読み取っていませんか?または、[e-スキャンボタン]の設定を行い、[スキャン]ボタンで読み取っていませんか?	右クリックメニューで、以下を選択してから設定してください。 ・ [スキャン]ボタンで読み取る場合は、[スキャンボタンの設定] ・ [e-スキャン]ボタンで読み取る場合は、[e-スキャンボタンの設定]
現在の設定が「読み取り設定」として保存できない。	[e-スキャン]ボタンで読み取っていませんか? [スキャン]ボタンがクイックメニューモードに設定されていませんか? 上記の場合、設定内容は、「読み取り設定」を保存することができません。	「読み取り設定」に任意の設定を保存したい場合は、右クリックメニューから「クイックメニューを使用」のチェックをはずし、[スキャン]ボタンの操作モードを「左クリックメニューモード」に切り替えてください。
原稿がうまく搬送されない、つまる。	スキャナ内部が汚れていませんか? 薄い紙、破れた紙、折れ曲がった紙などを読み取っていませんか?	スキャナ内部を清掃してください。 搬送性の悪い原稿は、キャリアシートを使用して一枚ずつ読み取ってください。
A3 キャリアシートで読み取ると原稿づまりが頻繁に発生する。	-	PPC 用紙(再生紙)など 50 枚程度を連続給紙した後に、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。※PPC 用紙(再生紙)は、印刷済みのものでも無地のものでもかまいません。

症状	点検項目	対処法
読み取った原稿に対して、出力した画像データの幅が広くなる。	原稿サイズを「サイズ自動選択」にして、[e-スキャン]ボタンで読み取っていませんか？	・ 読み取った画像をお好みのサイズにしたい場合は、Adobe Acrobat などのアプリケーションで、トリミング処理を行って画像の必要な部分を切り取ってください。 ・ 本原稿を再度読み取る場合は、定形サイズやカスタム原稿サイズを指定して再度読み取りを行ってください。
A3 キャリアシートで読み取ると「原稿サイズ異常」のメッセージが出たり、画像の一部が切れたりしている。	A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取っていませんか？	A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を1枚ずつ挟んで読み取ってください。
原稿に黒い跡が残る。	鉛筆書きの原稿を読み取っていませんか？	A3 キャリアシートに挟んで読み取ることを推奨します。A3 キャリアシートを使わずに読み取る場合は、できる限り頻繁にローラを清掃してください。（清掃方法については、装置添付の「オペレーターガイド」を参照してください。
画像が欠ける／画像に斜めの線が入る／原稿の幅が大きく出力される。	「原稿サイズの選択：」で「サイズ自動検出」（fi-5110EOX シリーズは「サイズ自動選択」）を選択して読み取った際に、原稿が斜めに傾いていませんでしたか？（サイドガイドできちんと原稿をそろえて読み取っていますか？）	サイドガイドで原稿をしっかりそろえて読み取ってください。 幅や長さの違う原稿を同時に読み取る場合は、幅の狭い原稿が、まっすぐ読み取られるように原稿をセットしてください。原稿がまっすぐ搬送されない場合は、幅の同じ原稿に分けて読み取ることをお奨めします。
クイックメニューが表示されなくなった。	「左クリックメニューモード」に切り替わっていませんか？	右クリックメニューで、[クイックメニューを使用]にチェックを入れてください。
	ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR、楽2ライブラリのいずれかが起動していませんか？	左記のアプリケーションが起動されていてアクティブ状態になっていると、自動連携されて、起動中のアプリケーションが読み取りに使用されます。そのため、クイックメニューは表示されません。クイックメニューを表示したいときは、左記のアプリケーションを終了するか、非アクティブ状態にしてください。 「3.5. アプリケーションの自動連携について」を参照してください。
左クリックメニューが表示されない。	「クイックメニューモード」に切り替わっていませんか？（読み取ったあとにクイックメニューが表示されませんか？）	右クリックメニューで、[クイックメニューを使用]のチェックを外してください。
	「読み取りと保存に関する設定」画面が開いていませんか？	「読み取りと保存に関する設定」画面を閉じてください。
[スキャンボタンの設定]で、アプリケーションの選択ができない。	「クイックメニューモード」で使用していませんか？	アプリケーションを指定して読み取る場合は。「左クリックメニュー」を使用してください。 右クリックメニューで、「クイックメニューを使用」のチェックを外すと、「左クリックメニューモード」になります。
クイックメニューで、名刺読み取りができない。	クイックメニューからは、名刺を読み取ることができません。	名刺ファイリング OCR を起動して、アクティブ状態にしてから、[スキャン]ボタンを押して読み取ってください。

症状	点検項目	対処法
ScanSnap で読み取ったファイルが、対象アプリケーションで開けない。 (例:PDF ファイルを Adobe Acrobat で開こうとするとエラーが発生する)	ファイル保存先として、ネットワーク経由で、他のパソコンやハードディスクのフォルダを指定していませんか？その際に、ScanSnap で読み取ったファイルを保存中に、LAN ケーブルが抜けるなどの原因で、エラーが発生しませんでしたか？ このようなネットワーク上のエラーが発生した場合、ファイルが正しく保存されず、保存途中の異常ファイルがフォルダに残る可能性があります。	ファイル保存先のフォルダを確認し、異常ファイルを削除して、再度読み取りを行ってください。
「Word/Excel 文書に変換」を行うと、メモリ不足を示すメッセージが表示されたり、「Not Enough Memory!」 の文字が変換中のインジケータ画面に表示されたりする。 また、変換結果を確認すると、変換が最後まで正しく行われていない。	ご使用のパソコンには、推奨サイズ以上のメモリが搭載されていますか？	推奨サイズに満たない場合は、メモリを増設してください。
	他のアプリケーションを起動していませんか？ 他のアプリケーションを起動していると、その分本機能に使用できるメモリの量が少なくなってしまいます。	他のアプリケーションを終了して、読み取ってください。
	一度に大量の原稿を読み取りましたか？ 「Word/Excel 文書に変換」機能は、他の処理に比べて、多くのメモリを使用します。一度に大量の処理を行うと、メモリが不足する場合があります。	「5.5. Word／Excel 文書に変換する」の「まって！」を参考にして、仮想メモリの設定を変更してください。
	上記の対処方法では、改善されませんか？	上記 3 つの方法で改善されない場合は、パソコンのメモリを増設してください。

※この他にも、ホームページの「よくあるご質問」コーナーにて、最新の情報を随時アップしていきます。詳しくは、以下の ScanSnap ホームページをご覧ください。

http://scansnap.fujitsu.com/jp/

8. 添付アプリケーションについて

本製品には、以下のソフトウェアが添付されております。

- 名刺ファイリング OCR V2.1 fi-5110EOX fi-5110EOX2 fi-5110EOX3 S500

  ScanSnap で読み取った名刺の文字を認識して、データとして管理するためのアプリケーションです。

- ScanSnap Organizer V3.1 fi-5110EOX fi-5110EOX2 fi-5110EOX3 S500

  ScanSnap で読み取った画像を、閲覧、整理するためのアプリケーションです。

- ABBYY FineReader for ScanSnap V3.0 fi-5110EOX fi-5110EOX2 fi-5110EOX3 S500

  ScanSnap で読み取った画像を、Word/Excel 文書に変換するためのアプリケーションです。

「名刺ファイリング OCR」、「ScanSnap Organizer」、「ABBYY FineReader for ScanSnap」につきましては、各ソフトウェアに添付されている「ユーザーズガイド」を参照してください。

なお、ScanSnap Organizer の検索機能を使用するには、Adobe Acrobat 7.0 以降が必要です。

問い合わせについて

当社では、お客様に安心して当社製品をお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えております。

本製品をご使用になって、万が一ご不明な点がございましたら、株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。

お問い合わせ窓口	
受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス＆サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120－37－9089 （携帯電話からおかけの場合：042－788－7746）
受付時間	月～金／ 9:00～12:00 13:30～17 :00 （土・日・祝祭日・年末年始，当社休業日を除く）
ホームページ	http://scansnap.fujitsu.com/jp/

※上記窓口では、ABBYY®製品に関するお問い合わせにはお答えすることができません。

ABBYY FineReader for ScanSnap に関するお問い合わせにつきましては、

『ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド』→「技術サポート」→「ABBYY 支店」を参照してください。

（『ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド』は、[スタート]メニューから、

[すべてのプログラム]→[ABBYY FineReader for ScanSnap (TM) 3.0]→[ユーザーズガイド]の順に選択すると表示されます。）

なお、本内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または

PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

ScanSnap アップグレード
ユーザーズガイド

P3PC-1872-01Z0
発行日　2007 年 2 月
発行責任　株式会社 PFU

- 本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。